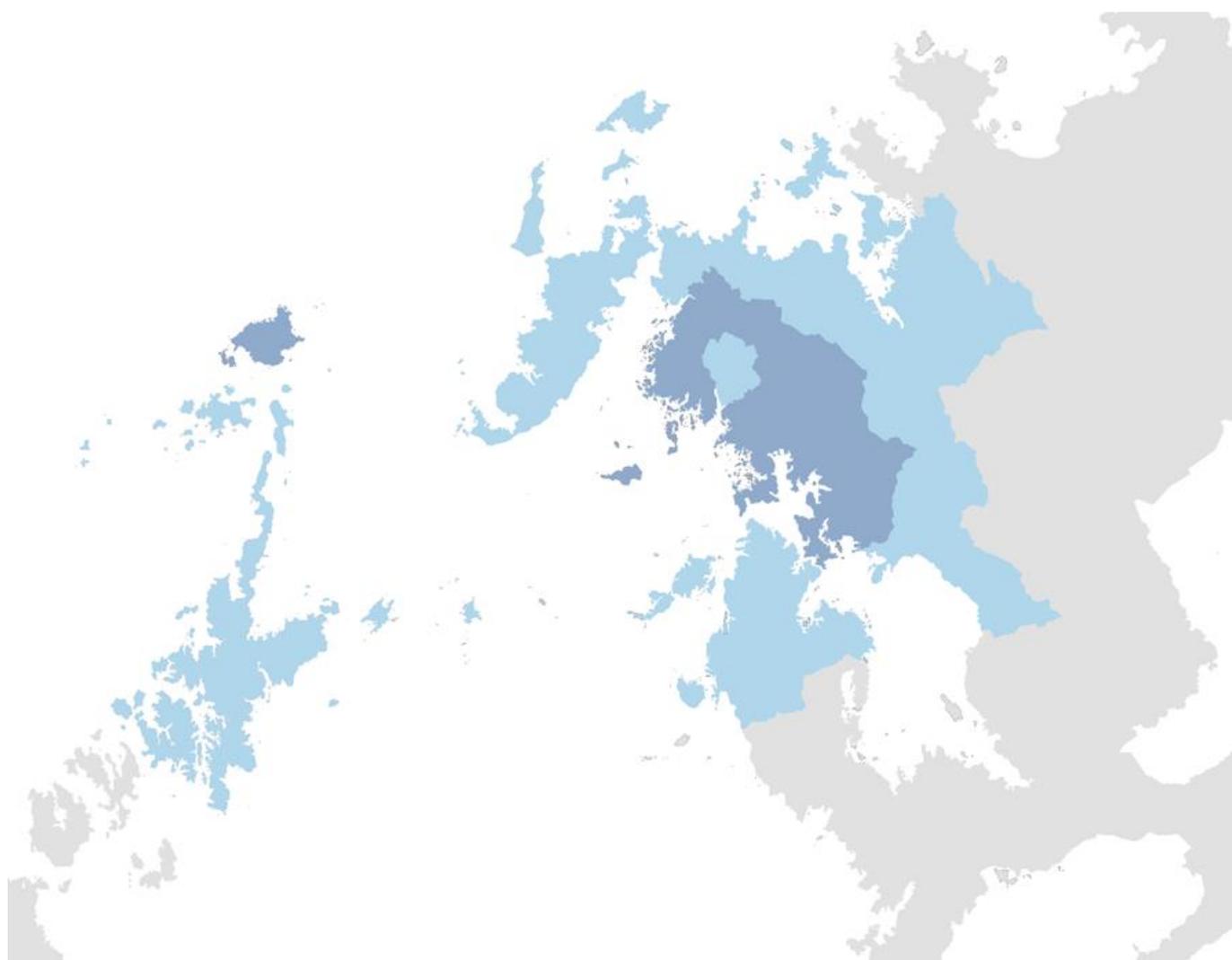




# 西九州させぼ

## 広域都市圏ビジョン（第2期）





# 目 次

<b>第1章 都市圏ビジョンの概要</b> .....	<b>1</b>
1 策定の趣旨.....	2
2 連携中枢都市圏の名称・構成市町.....	3
3 計画期間.....	3
<b>第2章 第1期ビジョンの総括</b> .....	<b>5</b>
1 圏域人口動態分析.....	6
2 KPI達成水準調査.....	7
3 構成市町による連携事業評価アンケート調査.....	7
<b>第3章 西九州させぼ広域都市圏の将来像</b> .....	<b>9</b>
<b>第4章 将来像の実現に向けた具体的取組</b> .....	<b>13</b>
1 施策体系.....	14
2 重要業績評価指標（KPI）.....	17
3 推進する具体的取組.....	20
役割1 圏域全体の経済成長のけん引.....	22
役割2 高次の都市機能の集積・強化.....	30
役割3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	38
4 県による助言及び支援.....	65
<b>第5章 圏域の現状</b> .....	<b>67</b>
1 西九州させぼ広域都市圏と構成市町の概要.....	68
2 圏域の人口動態.....	81
3 圏域の産業の状況.....	86
4 圏域の都市機能の集積状況.....	100
<b>【附属資料】 KPIの解説</b> .....	<b>107</b>



# 第1章

## 都市圏ビジョンの概要

# 第1章 都市圏ビジョンの概要

## 1 策定の趣旨

我が国においては、人口減少、少子高齢化社会が急速に進んでおり、国立社会保障・人口問題研究所によると、我が国の総人口は、令和2（2020）年国勢調査時点の1億2,615万人が、令和52（2070）年には約8,700万人にまで減少し、わずか50年で令和2年の69.0%にまで人口が減少すると推計されています。

このような人口減少、少子高齢化社会の進行は、我が国全体の活力の低下や、経済規模の縮小を招き、地方においては地域経済の急激な活力低下、地域社会の衰退が懸念される一方、高齢化による社会保障費などの増大によって、行政サービスを持続的・安定的に提供できなくなるという現実的かつ具体的な課題に直面することになります。

このようリスクに対しては、行政区域の枠を超え、社会的・経済的に関係性のある市町と横の繋がりを築き、医療や交通、産業といった分野において、行政サービスや都市機能を効率良く活用しながら、地域の社会・経済を支えていくことが重要となります。

そのため、長崎県佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町、佐賀県伊万里市及び有田町の12市町は、国が提唱する「連携中枢都市圏構想」の主旨や、今後訪れる課題への危機感を共有した中で、人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成するために、佐世保市を中心とする「西九州させば広域都市圏」（以下、「圏域」という。）を平成31（2019）年に形成し、「西九州させば広域都市圏ビジョン」（以下、「第1期ビジョン」という。）を策定した中で、西九州北部地域等の各市町が行政区域の枠を超え、様々な分野において協力・事業の推進に取り組んできました。

第1期ビジョンにおいて、ビジョンによる取組を推進することで、令和5年1月1日時点の圏域内人口を460,534人以上とする目標を定めていましたが、少子高齢化に加え、若者の進学・就職を機とした都市部等への転出超過による「社会減」が続いたことから、実績では目標値を13,261人下回る447,273人となりました。人口減少、少子高齢化社会は我が国全体の大きな課題ではありますが、本圏域においても顕著に表れました。

このようなことから、次期ビジョン策定にあたっては、最終的な目標を圏域人口だけでなく、経済を高めることを目標として、人口が減少しても域内で経済が循環し、域内の誰もが豊かに暮らすことのできる圏域づくりを目指すことを基本的な考え方としました。

この「西九州させば広域都市圏ビジョン（第2期）」（以下、「第2期ビジョン」という。）は、そのような大きな方向性を定め、「①圏域全体の経済成長のけん引」、「②高次の都市機能の集積・強化」、「③圏域全体の生活関連機能サービスの向上」といった3つの大きな役割のもと、圏域の各市町が連携して各事業への取組を推進していくための中長期的な広域計画として、第1期ビジョンに続いて策定するものです。

## 2

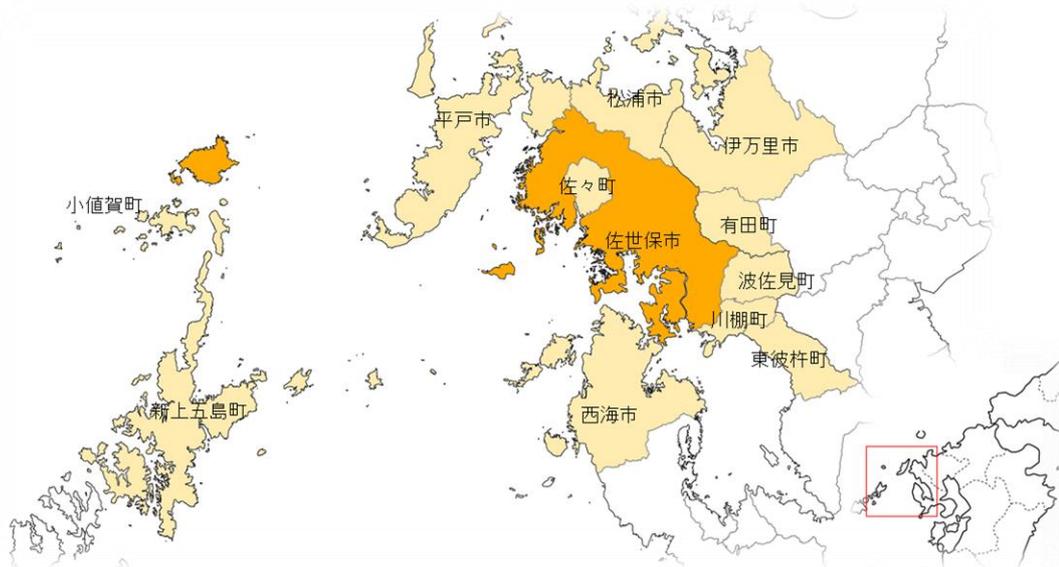
## 連携中枢都市圏の名称・構成市町

## (1) 連携中枢都市圏の名称

## 「西九州させぼ広域都市圏」

## (2) 連携中枢都市圏の構成市町【合計5市7町】

長崎県	佐世保市(連携中枢都市)、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町
佐賀県	伊万里市、有田町

(3) 構成市町の面積 (km<sup>2</sup>)・人口密度 (人/km<sup>2</sup>)

	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
面積 (令和5年)	426.01	235.12	130.55	241.84	74.29	37.25	56.00	25.50	32.26	213.99	255.26	65.85	1793.92
構成比	23.7%	13.1%	7.3%	13.5%	4.1%	2.1%	3.1%	1.4%	1.8%	11.9%	14.2%	3.7%	100.0%
人口	243,223	29,365	21,271	26,275	7,721	13,377	14,291	2,288	13,912	17,503	52,629	19,010	460,865
人口密度	571	125	163	109	104	359	255	90	431	82	206	289	257

(出典)「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」、「令和2年国勢調査」

## 3

## 計画期間

計画期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。(※毎年度所要の変更有り)



## 第2章

### 第1期ビジョンの総括

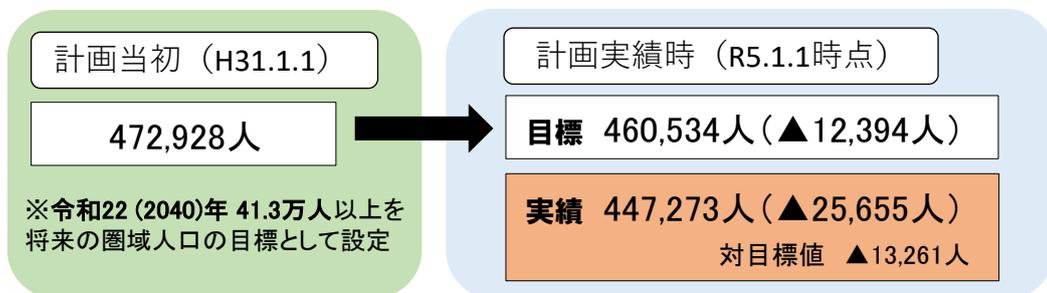
# 第2章 第1期ビジョンの総括

第2期ビジョンの策定にあたり、第1期ビジョンを以下の3つの視点で総括を行いました。



## 1 圏域人口動態分析

第1期ビジョンでは令和22（2040）年の目標人口41.3万人以上を達成するため、令和5年は46.1万人以上とする目標を設定していましたが、実績では44.7万人と目標に比べ約1.3万人少ない結果となりました。



ビジョンによる取組を推進し、都市部への転出抑制を図ることで目標人口の達成を目指す。

社会移動状況(H31～R4)  
〔転入超過〕佐々町 〔転出超過〕佐々町以外の11市町



### 人口減少の主な要因

（推計値との差が大きい※年齢層）

- ・女性20～29歳の転出
- ・男性25～29歳、45～54歳の転出
- ・母親となる年齢層の女性人口の減少等に伴う0～4歳人口の減少

※5歳階級別男女別人口について国立社会保障人口問題研究所の推計値と実績差が3%以上の差があるものを抽出

### 転出要因(長崎県移動理由アンケート調査)

- ・男女とも「就職」、「転勤」が多く、女性は夫の転勤等に伴う移動も多い。
- ※圏域内に希望する就職先・転職先が少ないことが背景にあると推察。

## 2 KPI 達成水準調査

第1期ビジョンのKPIの達成状況を見ると、「役割」のKPIは4指標中3指標で目標を達成しましたが、コロナ禍の影響もあり「施策」のKPIでは12指標中、目標を達成したのは3指標と厳しい結果となりました。

役割	施策	指標名	ビジョン策定時	KPI			
				目標値	実績値	達成度	
1 圏域全体の経済成長のけん引	圏域内総生産額	146,982 千万円	現状値より向上	159,043 千万円	108.2%	達成	
	① 産業クラスターの形成、イノベーション実現 新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした 戦略産業の育成	新規創業者数	249 人/年	1,564 人	506 人	32.4%	
	② 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	農水産物総生産額	28,592 百万円/年	28,781 百万円/年	32,433 百万円/年	112.7%	達成
	③ 戦略的な観光施策	観光入込客数	14,834 千人/年	17,068 千人/年	8,187 千人/年	48.0%	
2 高次の都市機能の集積・強化	圏域滞在人口率(平日)	103%	現状値より向上	105%	101.9%	達成	
	圏域滞在人口率(休日)	103%	現状値より向上	105%	101.9%	達成	
	① 高度な中心拠点の整備・広域的 公共交通網の構築	入港船舶回数	89 回	370 回	6 回	1.6%	
		事業進捗率	— %	100%	50%	50.0%	
	② 高等教育・研究開発の環境整備	大学等との共同研究等による 地域課題の解決率	— %	50%	10%	25.0%	
	③ その他、都市機能の集積・強化に係る施策	事業進捗率	— %	100%	16.7%	16.7%	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域人口の社会動向 (転入者数-転出者数)	▲4,501/5 年	現状値より向上	▲9,906/5 年	—		
	① 生活機能の強化	佐世保市以外の住民の 病児保育室登録者数	44/年	66/年	30/年	45.5%	
		図書館の貸出利用者数	474,915/年	480,000/年	354,003/年	73.8%	
		計画種苗に対する供給率	85%	85%	85%	100.0%	達成
	② 結びつきやネットワークの強化	移住者数	351/年	371/年	429/年	115.6%	達成
③ 圏域マネジメント能力の強化	交流職員等の人数	— 人	4 人	0 人	0.0%		

### 【総括】

- ・「役割」は、3役割（4指標）のうち2役割（3指標）で達成。
- ・「施策」は、9施策（12指標）のうち3施策（3指標）で達成。

## 3 構成市町による連携事業評価アンケート調査

構成市町による連携事業評価アンケート調査では、セミナー等の連携事業で高い評価が得られましたが、参加市町が少ない連携事業や取組方法が不明確な連携事業などで評価が低く、更なる改善が求められています。

	総括
圏域全体の 経済成長のけん引	全体的に高評価の連携事業が多い。 道の駅事業は参加市町が少なく連携効果が得られにくい。
高次の都市機能の 集積・強化	評価が低い連携事業については、取組方法が分からないなどの意見が得られた。 ビジョンにおける連携事業の位置付けについて再確認が必要である。
圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	全体的に評価が高い連携事業が多く、特に医療や福祉、教育分野などでセミナー等の連携事業の評価が高い。一方で低評価の連携事業については改善が必要である。

◎構成市町による連携事業評価アンケート調査

役割	施策	連携事業	総合評価(5点満点) 全体平均 3.4	
圏域全体の 経済成長の けん引	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	1 創業支援の連携	3.3	
		2 農水産物等特産品販路拡大	3.1	
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	3 道の駅広域連携	2.0	
		4 共同物産展の開催	3.9	
	戦略的な観光施策	5 広域連携による周遊観光の推進	3.6	
高次の 都市機能の 集積・強化	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の 構築	6 クルーズ船入港体制整備	3.7	
		7 特定複合観光施設(IR)誘致推進	2.8	
		8 名切地区再整備	2.5	
		9 俵ヶ浦半島開発	2.5	
		10 大学等による地域課題解決に向けた研究の推進	2.0	
	高等教育・研究開発の環境整備	11 世界遺産の保全活用	3.0	
		12 工業団地の造成・企業誘致の推進	3.0	
		その他、都市機能の集積・強化に係る施策	13 圏域における交流拠点機能の連携	3.0
			14 ポートセールスの推進	4.0
			15 再生可能エネルギーの推進	4.0
			16 平戸城大規模改修	5.0
圏域全体の 生活関連機 能サービス の向上	生活機能の強化	17 地域医療の確保に関する取組	4.0	
		18 在宅医療・介護連携推進	3.9	
	福祉	19 障がい福祉サービスの充実	4.2	
		20 療育機能の改善	4.2	
		21 病児・病後児保育室の利用に関する連携	4.0	
		22 幼児教育センターのサービス提供	4.0	
		23 ファミリー・サポート・センターの充実	3.5	
	教育・文化	24 図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)	4.2	
		25 図書館相互利用サービス(利用者登録・貸出)	3.0	
		26 図書館相互利用サービス(貸出・返却の配送サービス)	3.3	
		27 子どものための音楽鑑賞体験教室	4.5	
		28 島瀬美術センター特別展開催	3.4	
	地域振興	29 栽培漁業の広域連携	4.4	
		30 自治体 PPS(新電力会社)による域内経済循環	2.8	
		31 新規漁業者等就業支援事業	2.7	
		32 水産資源の増殖対策及び漁業生産環境等改善	3.8	
	災害対策	33 災害時における相互応援体制の確立	4.0	
		34 防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上	4.0	
	環境	35 エコアクション21 (事業所における環境マネジメントシステムの取得促進)	1.7	
		36 親子でエコチャレンジ(家庭における地球温暖化対策)	4.0	
	結びつきや ネットワークの強化	地域公共交通	37 海上交通(航路)の維持・活性化	3.0
		ICT インフラ	38 オープンデータ活用の推進に係る取組	3.4
			39 情報通信インフラの共同利用	1.6
		地域内外の住民との 交流・移住促進	40 広域圏サポーターの創出	4.1
			41 移住・定住連携窓口の広域圏活用	3.6
			42 婚活サポート推進	2.8
圏域マネジメント 能力の強化	人材の育成	43 男女共同参画推進啓発	3.0	
	圏域内市町の職員等の交流	44 人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成	1.9	
		45 教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)	4.0	
	圏域マネジメント能力の強化	46 公民連携プラットフォームの形成	2.6	

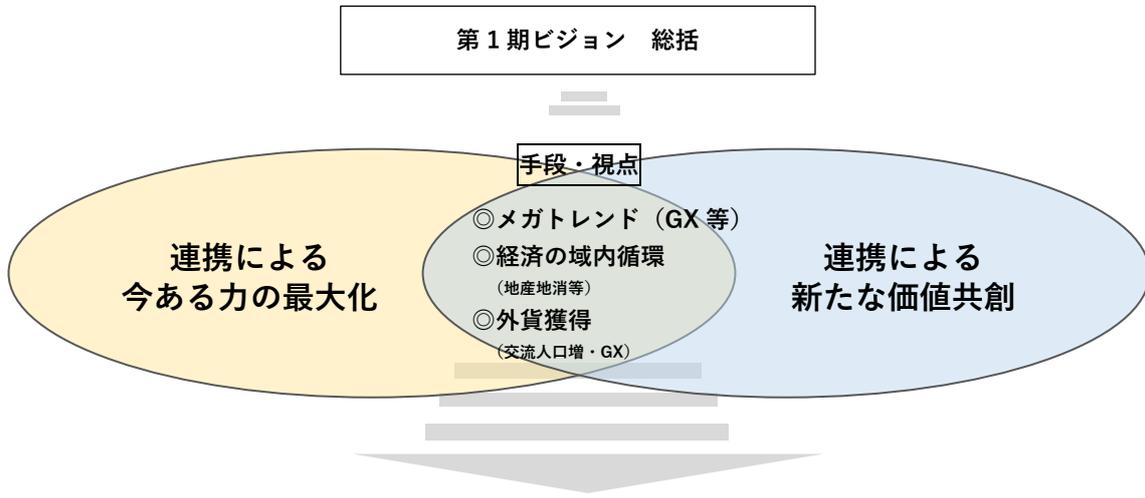
## 第3章

# 西九州させぼ広域都市圏の将来像

# 第3章 西九州させば広域都市圏の将来像

第1期ビジョンでは、「あなたが かえるまち 西九州」をスローガンに構成市町がそれぞれ主役となりながらも、相互に圏域住民の生活を支えあえる魅力的な圏域の発展を目指して取り組んできました。

第2期ビジョンでは、全国的に人口減少が加速する中、「人口が減少しても域内で経済が循環し豊かに暮らせる圏域づくり」を目指すことを基本方針とし、“メガトレンド取込”“経済の域内循環”“外貨獲得”の3つの視点で圏域の経済を高めることを目標として取り組みます。



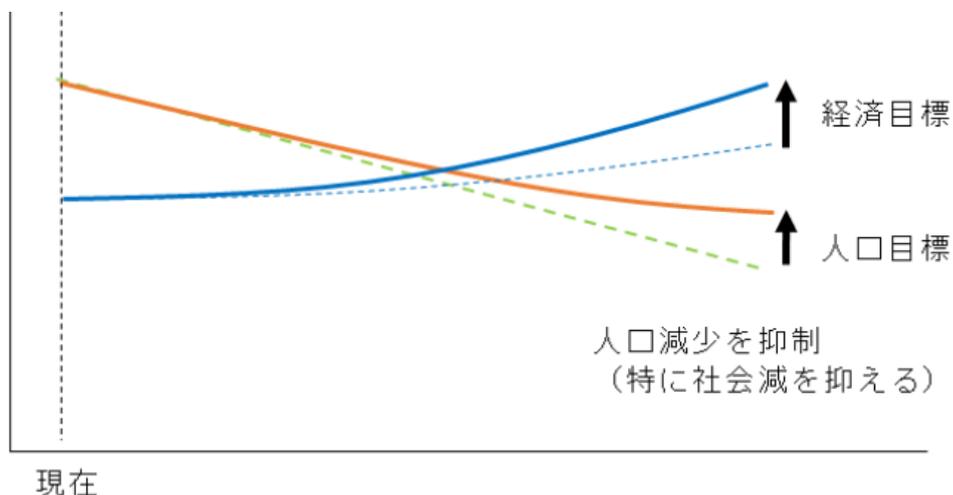
## 第2期ビジョン

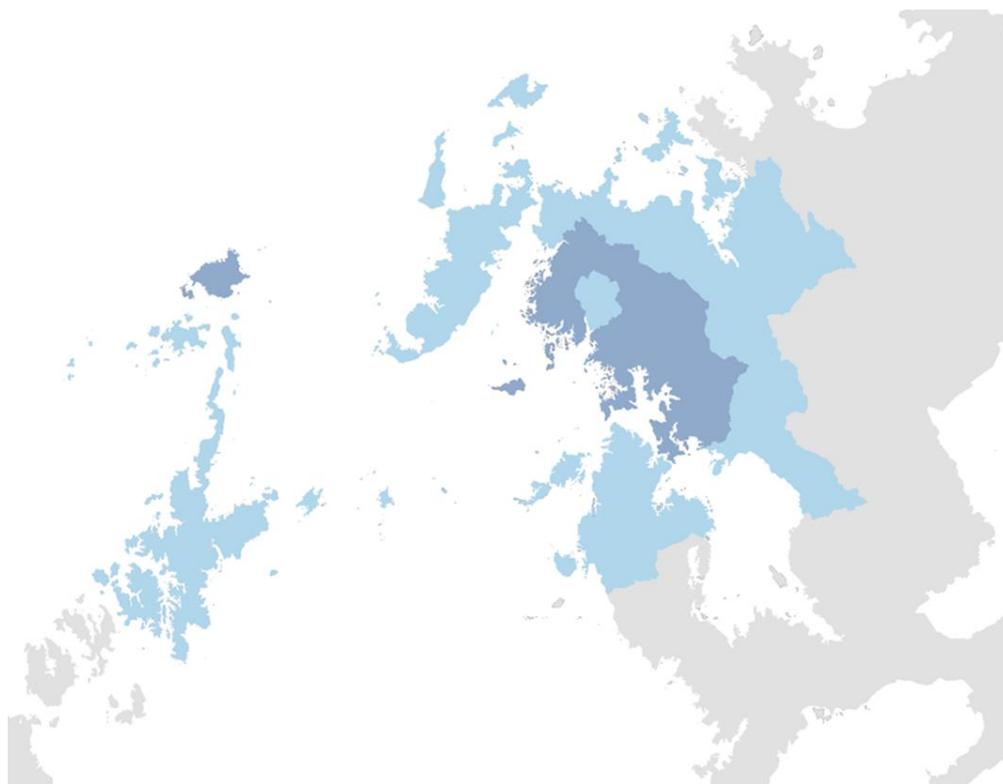
～目指す将来の姿～

### あなたが かえるまち 西九州

- 「変える」暮らしや地域をより良く変える
- 「還る」他の地域に出たとしても再び圏域に還る場所がある
- 「替える」圏域内に住まいを替える

(将来目標設定の考え方)  
圏域の人口目標に加え経済の向上を目標として、  
人口が減少しても豊かに暮らせる圏域づくりを目指します。





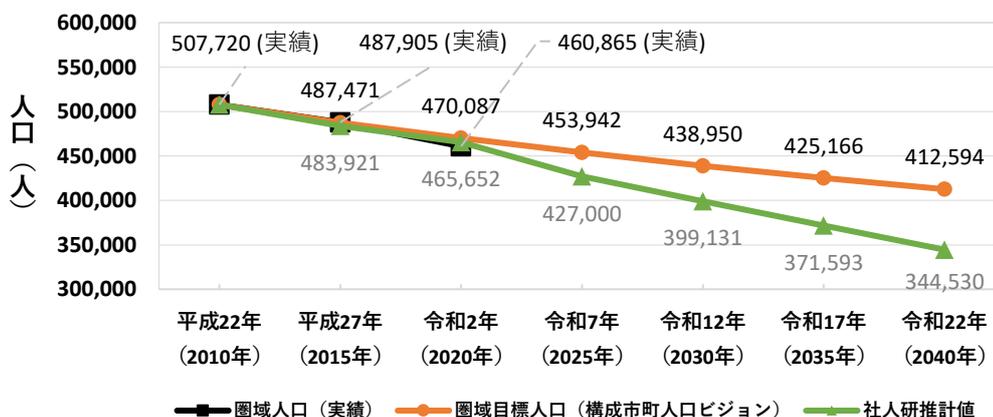
### 将来の圏域人口の目標

#### 西九州させぼ広域都市圏の目標人口

令和22(2040)年 **41.3** 万人以上

構成市町が策定している人口ビジョンをもとに、圏域の令和22(2040)年の目標人口を41万3千人以上と設定します。

社人研推計値と比較し、約6万8千人多くなっていますが、各市町が策定した総合戦略や、当都市圏ビジョンに位置付けた具体的な取組を推進し、首都圏等の都市部への転出抑制を図っていくことで目標人口の達成を目指します。



(出典)「令和2年国勢調査」、「構成市町人口ビジョン」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年12月)



## 第4章

### 将来像の実現に向けた具体的取組

## ビジョン

目指す将来の姿

あなたが  
かえるまち  
西九州

〔目標〕

圏域人口

令和 22(2040)年

41.3

万人以上

1人あたり

所得額

向上

## 役割

## 圏域全体の経済成長のけん引

(目指す圏域の状況)

産業が活発化し、圏域の経済状況が向上

圏域内総生産額 1,564,805 百万円/年

→現状値より向上

## 高次の都市機能の集積・強化

(目指す圏域の状況)

施設、アクセス機能等が充実し、圏域の魅力が向上

公示地価 77,017 円/m<sup>2</sup>

→現状値より向上

## 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(目指す圏域の状況)

住民サービスが高まり、圏域の暮らしやすさが向上

圏域人口の社会動態 ▲1,603 人/年

→現状値より向上

### 施策

- 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備
- 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- 戦略的な観光施策
- その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策
- 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- その他、都市機能の集積・強化に係る施策

**生活機能の強化に係る政策分野**

**結びつきやネットワークの強化に係る政策分野**

**圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野**

### 施策の KPI

全施策の KPI 達成率	25%/年 → 100%/年
利益を上げた企業の割合	41%/年 → 50%/年
農水産物総生産額	41,113 百万円/年 → 52,480 百万円/年
観光消費額	81,054 百万円/年 → 152,300 百万円/年
大学生・高校生の地元就職率	24%/年 (大学生) → 50%/年 (大学生) 33%/年 (高校生) → 68%/年 (高校生)
佐世保駅 (JR・MR) 利用者数	1,459,495 人/年 → 1,459,000 人/年
圏域滞在人口率	平日: 103% → 平日: 106% 休日: 104% → 休日: 106%
圏域の 20~29 歳の社会動態	▲722 人/年 → +440 人/年
移住者数	647 人/年 → 640 人/年
各研修等参加者の評価 (満足度)	-% → 100%/年

### 連携事業

1	西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会等運営
2	創業支援の連携
3	農水産物等特産品販路拡大
4	共同物産展の開催
5	広域連携による周遊観光の推進
6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
7	圏域内企業の認知度向上
8	高度な交流拠点整備の検討
9	佐世保市・佐々町地域公共交通活性化
10	世界遺産の保全活用
11	伊万里港ポートセールスの推進
12	海洋エネルギーの推進
13	アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)推進
14	佐世保中央公園の利用促進
15	地域医療の確保に関する取組
16	在宅医療・介護連携推進
17	障がい福祉サービスの充実
18	療育機能の改善
19	病児・病後児保育室の利用に関する連携
20	幼児教育センターのサービス提供
21	ファミリー・サポート・センターの充実
22	図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)
23	図書館相互利用サービス
24	少年科学館事業・理科学習支援
25	サテライトあすなろ教室運営(学校適応指導教室)
26	中心市文化芸術プログラムの広域連携
27	スポーツ施設相互利用検討
28	栽培漁業の広域連携
29	赤潮監視装置設置
30	災害時における相互応援体制の確立
31	防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上
32	圏域内のエコライフ推進(「させぼエコラボ」環境啓発ツールの広域展開)
33	ごみの広域処理に関する研究
34	広域圏サポーターの拡大
35	移住・定住連携窓口の広域圏活用
36	離島地域の移住・観光における広域連携の研究
37	男女共同参画啓発
38	人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成
39	教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)
40	公民連携プラットフォームの形成



## 2 重要業績評価指標（KPI）

圏域の社会状態や指標の方向性をもってビジョンへの貢献度を分析するために「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの役割にKPIを設定し、さらに各施策においてもKPIを設定することで、各役割への貢献度を測定します。

なお、各連携事業においても事業の直接的な成果や活動等の実績をKPIとして設定し、確認していくことで施策の達成に向けた取組に反映していきます。

### 【役割のKPI】

役割	目指す圏域の状態	指標	現状値	目標値	出典等
圏域全体の経済成長のけん引	産業が活発化し、圏域の経済状況が向上	圏域内総生産額	1,564,805 百万円/年 (令和2年度)	現状値より 向上 (令和10年度)	長崎県・佐賀県 市町民経済計算
高次の都市機能の集積・強化	施設、アクセス機能等が充実し、圏域の魅力が向上	公示地価	77,017 円 /㎡ (令和5年)	現状値より 向上 (令和10年)	国交省「標準地・ 基準地検索システム」
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	住民サービスが高まり、圏域の暮らしやすさが向上	圏域人口の社会動態	▲1,603 人 /年 (令和4年)	現状値より 向上 (令和10年)	長崎県「異動人口調査」 佐賀県「推計人口」

## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

### 【施策のKPI】

#### ①産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
全施策のKPI達成率	25%/年	100%/年	西九州させぼ 広域都市圏ビジョン

#### ②産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
利益を上げた企業の割合	41%/年	50%/年	法人市町民税 納税法人数等実績

#### ③地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
農水産物総生産額	41,113 百万円/年	52,480 百万円/年	長崎県・佐賀県 市町民経済計算

#### ④戦略的な観光施策

指標名	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
観光消費額	81,054 百万円/年	152,300 百万円/年	各市町観光統計

#### ⑤その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
大学生・高校生の 地元就職率	24%/年 (大学生) 33%/年 (高校生)	50%/年 (大学生) 68%/年 (高校生)	大学生・高校生の 進路状況実績

## (2) 高次の都市機能の集積・強化

### 【施策のKPI】

#### ① 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
佐世保駅(JR・MR)利用者数	1,459,495人/年	1,459,000人/年	佐世保駅(JR・MR)利用者実績

#### ② その他、都市機能の集積・強化に係る施策

指標名	現状値 (令和4年)	目標値 (令和10年)	出典等
圏域滞在人口率	平日：103% 休日：104%	平日：106% 休日：106%	RESAS(地域経済分析システム)

## (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

### 【施策のKPI】

#### ① 生活機能の強化に係る政策分野

指標名	現状値 (令和4年)	目標値 (令和10年)	出典等
圏域の20～29歳の社会動態	▲722人/年	+440人/年	長崎県「異動人口調査」 佐賀県「推計人口」

#### ② 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
移住者数	647人/年	640人/年	移住者数実績

#### ③ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

指標名	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	出典等
各研修等参加者の評価(満足度)	-%	100%/年	連携事業No.37,39,40の受講者アンケート結果

# 3

## 推進する具体的取組

第2期ビジョンの基本方針である「人口が減少しても域内で経済が循環し豊かに暮らせる圏域づくり」のもと、ビジョン目標の達成に向け、西九州させほ広域都市圏の構成市町で連携し、様々な事業に取り組みます。

第2期ビジョンでは各連携事業に KPI を設定し、毎年度指標を確認することで施策 KPI の達成に向けた進捗管理を行います。

### (見方)

施策  
1-1

**産学官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備**

連携協約に規定する取組内容

産学官民一体となった懇談会等の設置及び西九州させほ広域都市圏ビジョンの進捗管理に関すること

● 施策名と連携協約に規定する取組内容

NO  
1

**西九州させほ広域都市圏ビジョン懇談会等運営**

● 事業名

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
全施策の KPI 達成率	25%/年	100%/年

● 事業の進捗管理を行うための重要業績評価指標

(事業概要)

- 産学官民による西九州させほ広域都市圏ビジョン懇談会等を設置し、ビジョンに対する意見を聴取する。その意見をビジョンへ反映するとともに、ビジョンの進捗管理を行う。

西九州させほ広域都市圏協議会(首長会) ← 西九州させほ広域都市圏ビジョン懇談会  
 報告・決定 ↑ 全施策の KPI の達成 ↓ 調整協議  
 西九州させほ広域都市圏協議会(幹事会) ← (分野毎に市町間で協議)  
 工業 観光 ほか  
 農業 医療

● 事業概要とそのイメージを表現する概要図

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12

● 本事業に参加する関係市町

連携による効果	圏域の将来像の実現に向けた各種連携事業の効果的な推進					
事業費見込額(千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計
	915	915	915	915	1,376	5,036

● 事業による効果と5年間の事業費(見込額)。補助制度等がある場合はその制度名

国及び県補助制度等	—
-----------	---

役割分担	佐世保市	推進体制の整備・運営及び連携中枢都市圏ビジョンを推進する。
	関係市町	推進体制への参加、連携中枢都市圏ビジョンを推進する。

● 事業における佐世保市と関係市町の役割分担

## 圏域全体の経済成長のけん引

1 西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会等運営 .....	23
2 創業支援の連携 .....	24
3 農水産物等特産品販路拡大 .....	25
4 共同物産展の開催 .....	26
5 広域連携による周遊観光の推進 .....	27
6 自治体新電力を活用したGX事業の構築 .....	28
7 圏域内企業の認知度向上 .....	29

## 高次の都市機能の集積・強化

8 高度な交流拠点整備の検討 .....	31
9 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化 .....	32
10 世界遺産の保全活用 .....	33
11 伊万里港ポートセールスの推進 .....	34
12 海洋エネルギーの推進 .....	35
13 アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）推進 .....	36
14 佐世保中央公園の利用促進 .....	37

## 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

15 地域医療の確保に関する取組 .....	39
16 在宅医療・介護連携推進 .....	40
17 障がい福祉サービスの充実 .....	41
18 療育機能の改善 .....	42
19 病児・病後児保育室の利用に関する連携 .....	43
20 幼児教育センターのサービス提供 .....	44
21 ファミリー・サポート・センターの充実 .....	45
22 図書館相互レベルアップ（研修・講習会の共同開催） .....	46
23 図書館相互利用サービス .....	47
24 少年科学館事業・理科学習支援 .....	48
25 サテライトあすなろ教室運営（学校適応指導教室） .....	49
26 中心市文化芸術プログラムの広域連携 .....	50
27 スポーツ施設相互利用検討 .....	51
28 栽培漁業の広域連携 .....	52
29 赤潮監視装置設置 .....	53
30 災害時における相互応援体制の確立 .....	54
31 防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上 .....	55
32 圏域内のエコライフ推進（「させぼエコラボ」環境啓発ツールの広域展開） .....	56
33 ごみの広域処理に関する研究 .....	57
34 広域圏サポーターの拡大 .....	58
35 移住・定住連携窓口の広域圏活用 .....	59
36 離島地域の移住・観光における広域連携の研究 .....	60
37 男女共同参画啓発 .....	61
38 人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成 .....	62
39 教職員研修の共有連携（教育センター研修の活用） .....	63
40 公民連携プラットフォームの形成 .....	64

## 役割 1

# 圏域全体の経済成長のけん引

- 人口減少、少子高齢化の進行に伴い、圏域内の消費の低下による地域経済の活力低下が見込まれており、また、労働人口の減少による生産性の低下も懸念されています。
- このような圏域内経済の停滞を防ぐため、圏域内企業の競争力強化に向けた支援や、新たなビジネスチャンスの創出に努める必要があります。また、圏域としての一体感を強めるためにも、圏域内の情報共有や連携を図ることが求められています。
- このような中、圏域全体の経済成長をけん引するため、地場企業等の支援や地域の農水産物や豊かな観光資源を活用した取組、また GX などの変革に対応する取組を推進することで、経済基盤の強化を図り、圏域全体の経済力を向上させ、地域の活性化を目指します。



施策  
1-1

産学官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備

連携協約に規定する取組内容

産学官民一体となった懇談会等の設置及び  
西九州させぼ広域都市圏ビジョンの進捗管理に関すること

NO  
1

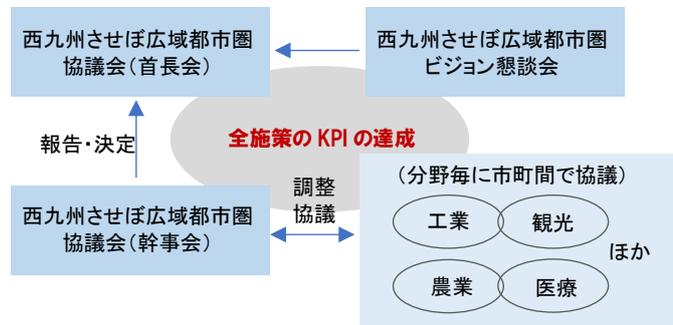
西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会等運営

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
全施策のKPI達成率	25%/年	100%/年

(事業概要)

- 産学官民による西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会等を設置し、ビジョンに対する意見を聴取する。その意見をビジョンへ反映するとともに、ビジョンの進捗管理を行う。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
連携による効果	圏域の将来像の実現に向けた各種連携事業の効果的な推進												
事業費見込額(千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	合計							
	900	900	900	900	1,289	4,889							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	推進体制の整備・運営及び連携中枢都市圏ビジョンを推進する。											
	関係市町	推進体制への参加、連携中枢都市圏ビジョンを推進する。											

施策  
1-2

産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

連携協約に規定する取組内容

地場産業の生産性向上、新規創業の支援等に関すること

NO  
2

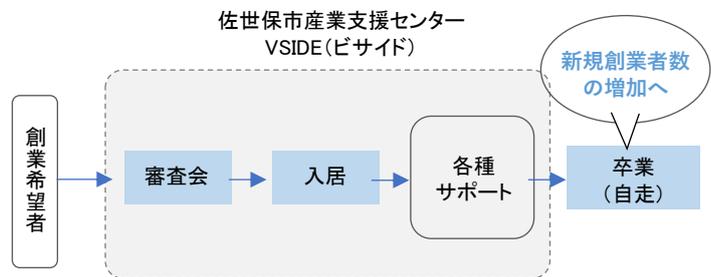
## 創業支援の連携

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
新規創業者数	202人/年	1,560人(累積)

(事業概要)

- 佐世保市産業支援センター（愛称：VSIDE（ビサイド））事業の圏域内での広域展開。
- 佐世保市産業支援センター内に設置しているインキュベーション（創業支援）施設への関係市町の創業希望者も入居の対象とする。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●		●		●	●	●	●	●		●	●
連携による 効果	関係市町の創業希望者が産業支援センターを利用して起業することで、コーディネーターの適切な支援を受けて、安定的な経営を目指すことができる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	22,682	22,682	22,682	22,682	22,682	113,410							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	佐世保市産業支援センター事業の広域展開、創業関連のイベント等の情報提供をはじめとする相互連携を行う。											
	関係市町	各市町の各種支援機関（商工会や金融機関等）から創業希望者に対するインキュベーション施設の情報提供を行う。											

施策  
1-3

地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

連携協約に規定する取組内容 多様な地域資源を活用した地場産品のPR、販路拡大及び消費拡大に関すること

NO  
3

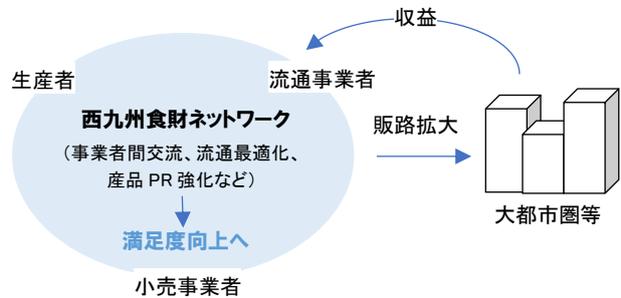
農水産物等特産品販路拡大

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
西九州食財ネットワークの 会員の満足度	—	80%/年

(事業概要)

- 生産者、流通事業者、行政等が一体となった「西九州食財ネットワーク」に参画することで、西九州させば広域都市圏の一次産業を中心とした交流を図り、流通の最適化、市町や品目の枠組みを超えた産品のPRを行い、生産者の所得向上を図る。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●		●	●			6
連携による 効果	販路拡大による圏域内生産者の所得向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	1,046	1,046	1,046	1,046	1,046	5,230							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	西九州食財ネットワークの事務局として、ホームページの維持管理、会計、問い合わせの初期窓口等を行う。											
	関係市町	関係市町で開催する交流会の運営及び管内事業者との連絡調整を行う。											

施策 1-3 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

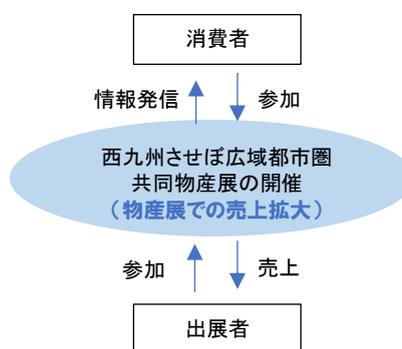
NO 4 共同物産展の開催

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
共同物産展での売上額	8,347 千円/年	10,000 千円/年

(事業概要)

- ・ 関係市町が一堂に会した物産展の開催を図る。
- ・ 各市町の特産品の物販及び情報発信に取り組む。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	圏域内における特産品の認知度向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	連携する既存イベントを実施する団体との調整及び実施に向けた企画内容等の調整を行う。											
	関係市町	自市町の出展事業者との調整及び出展内容の調整を行う。											

施策

1-4

戦略的な観光施策

連携協約に規定する取組内容

国内外からの観光誘客拡大による周遊観光の推進及び観光消費額の拡大に関すること

NO  
5

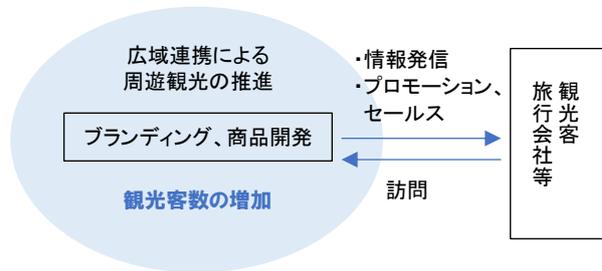
広域連携による周遊観光の推進

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
圏域における観光客数	8,186,661 人/年	14,838,000 人/年

(事業概要)

- ・ 圏域内に点在する観光施設や体験メニュー、イベントなど観光素材の棚卸を行い市場の特性に応じた磨き上げに取り組みながら旅行商品化を図る。
- ・ 本圏域で最大の集客力を誇るハウステンボスの来訪客の取り込みを含め、広く圏域内の周遊促進につなげる。
- ・ 圏域内の観光素材を活用した訪日観光客へのプロモーションを行い、佐世保市を起点とした域内周遊観光の促進による地域経済活性化を図る。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による効果	造成した旅行商品を機に来訪した観光客の周遊による圏域の経済活性化												
事業費見込額(千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	16,754	16,754	16,754	16,754	16,754	83,770							
国及び県補助制度等	地方創生交付金												
役割分担	佐世保市	圏域内のコンテンツ造成・販路開拓・プロモーション等にかかる企画立案と各関係市町との調整を行う。											
	関係市町	観光素材の棚卸・磨き上げによるコンテンツ造成(事業者、団体等との調整)を行う。											

施策

1-5

その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

連携協約に規定する取組内容

GX関連の取組など、圏域全体の経済成長をけん引するための取組に関すること

NO  
6

## 自治体新電力を活用したGX事業の構築

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
本事業を通じて組成した事業費・民間投資額	—	800,000千円(累積)

(事業概要)

- 令和5年5月GX※(グリーントランスフォーメーション)推進法が成立する等、国をあげた脱炭素化及びそれを通じた経済成長、社会変革が進められようとしている。そのような中、エネルギーマネジメントやコンサルの担い手として西九州させぼパワーズ(NSP)を活用し、圏域に国からの財政支援や民間投資を呼び込むGX事業構築に取り組む。



※GX… カーボンニュートラルに関する取組を通じて、地域課題の解決や経済成長、社会変革に繋げるもの。

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	ボトルネックとなっている初動期の調査検証・ノウハウ共有をNSPによる地域貢献事業として実施し、またノウハウ・調査結果の概要を関係市町で共有することによって、機動的かつ効率的にGX事業を構築できる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	399	399	399	399	399	1,995							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	各関係市町・NSPとの各種調整、ノウハウ集等を関係市町へ共有する。											
	関係市町	FS(実現可能性調査)実施等に要するデータの提供、プラットフォームへ参加する。											

NO  
7

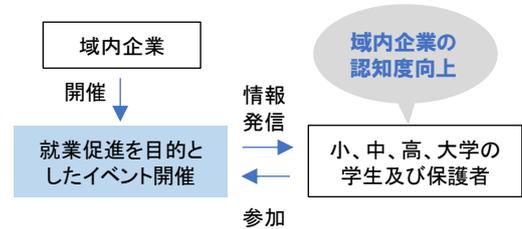
## 圏域内企業の認知度向上

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
参加者に対するアンケート調査結果（認知度件数割合）	—	80%/年

（事業概要）

- 市内企業等が実施する、就業促進等を目的としたイベントに対する補助の対象地域を圏域に拡大。
- 参加市町数に応じた補助の上乗せにより、圏域内企業の認知を高めることで、地元定着を図る。
- イベントの対象者は小・中学生、高校生、大学生等及び子供の進路に影響力がある保護者を想定。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●		●	●	●	●	●		●			
連携による効果	圏域内企業の認知が高まることで、地元や圏域内での就職を考えるきっかけとなり、若年層の地元定着に繋がる。												
事業費見込額（千円）	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	600	600	600	600	600	3,000							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	連携体制の整備、補助事業を実施する。											
	関係市町	事業周知、企業等への呼びかけを行う。											

## 役割 2

# 高次の都市機能の集積・強化

- 本圏域が有する特徴的な、文化・芸術・教育などの高次の都市機能について、その質と数量を高めることで、都市の魅力と競争力を向上させるとともに、市民の生活の質向上と地域への誇りを育むことを目指します。
- 本圏域の連携中枢都市である佐世保市域においては、中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿を見据えたうえで広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指します。また、連携中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。
- 各構成市町の特徴的な都市機能についても、圏域全体の魅力向上に資する取組を行い、圏域の都市機能を向上させます。



施策

2-1

高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

連携協約に規定する取組内容

高度な交流拠点機能の整備推進及び広域的公共交通網の構築等に関すること

NO  
8

高度な交流拠点整備の検討

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
—	—	—

（事業概要）

- ・ 連携中枢都市である佐世保市における交流拠点の整備について検討する。
- ・ 圏域内の周遊促進、滞在時間の延長、国内外からの新たな観光客の呼び込みなどにより、観光等周辺産業への経済波及効果や雇用創出効果、交流人口及び関係人口の拡大による賑わい創出効果が期待できるような拠点整備について検討し、早期事業化につなげる。

経済波及効果  
交流人口の拡大

高度な中心拠点の整備の検討

- ・ 情報共有
- ・ 圏域の課題抽出
- ・ 協議調整

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	交流人口等の拡大、圏域内の周遊促進による地域経済の活性化												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	圏域全体への経済的波及効果や交流人口等の拡大に資する拠点整備について検討する。											
	関係市町	中心市の取組に対して必要な協力をを行う。											

施策 2-1 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

NO  
9

# 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
地域公共交通計画の達成率	—	90%

(事業概要)

- 佐世保市及び佐々町においては、両市町を跨って運行している路線バスや地域鉄道が存在している。
- これら基幹公共交通を共通で有し、佐世保市と地形的にも密接な関係にある佐々町と連携し、広域的な観点から「地域公共交通計画」及びその実施計画を策定し、計画に基づく事業の確実な実施と進捗管理を行うことで、持続可能な地域公共交通の実現を目指す。

公共交通の利用者減少、費用増加、人材不足等の課題

地域公共交通計画、利便増進計画の策定

路線バス・地域鉄道の最適化、利用者増加へ

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●									●			
連携による 効果	計画区域内における公共交通の利便性及び持続可能性の向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	14,545	463	463	463	17,152	33,086							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会を主体的に運営する。											
	関係市町	中心市と連携し、佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会の運営に協力する。											

施策

2-2

その他、都市機能の集積・強化に係る施策

連携協約に規定する取組内容

圏域内における特徴的都市機能の集積及び強化に関すること

NO  
10

# 世界遺産の保全活用

KPI (重要業績評価指標)

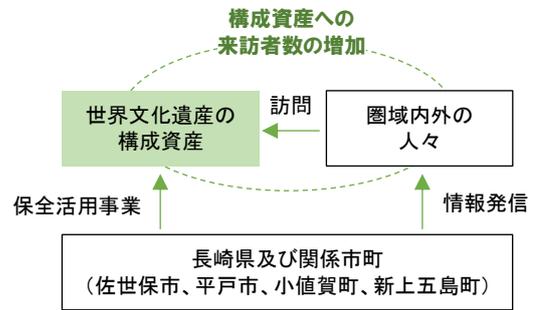
	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
構成資産への来訪者数	56,658 人/年	71,500 人/年

(事業概要)

- 平成30年7月に、世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の保全・活用を図る。

【構成資産】

「平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)」「平戸の聖地と集落(中江ノ島)」(以上 平戸市)、「野崎島の集落跡」(小値賀町)、「頭ヶ島の集落」(新上五島町)、「黒島の集落」(佐世保市)



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●						●		●		
連携による 効果	世界遺産の次世代への継承、交流人口の拡大												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	77,952	67,126	65,026	64,526	64,526	339,156							
国及び県補助 制度等	文化的景観保全推進事業補助金(国・県)、世界遺産整備活用事業補助金(県)												
役割分担	主体市町 (関係市町)	都市機能の集積・強化のため、必要な取組を行う。											
	佐世保市	県を中心とした取組並びに主体市町の取組に対し、圏域全体の魅力向上に資するため、必要に応じて可能な範囲で参画し、広報等の協力を行う。											
	関係市町	県を中心とした取組並びに主体市町の取組に対し、圏域全体の魅力向上に資するため、必要に応じて可能な範囲で参画し、広報等の協力を行う。											

施策 2-2 その他、都市機能の集積・強化に係る施策

NO  
11

# 伊万里港ポートセールスの推進

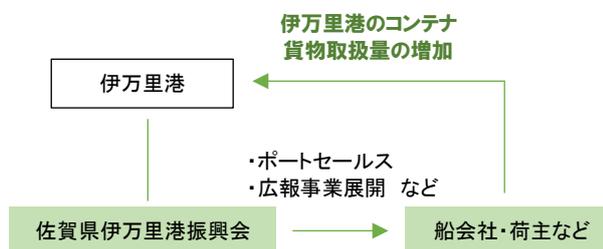
KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
伊万里港のコンテナ 貨物取扱量(実入)	33,020TEU※/年	43,000TEU/年

※TEU… 20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位

(事業概要)

- 伊万里港のコンテナ取扱量の拡大を図るために、伊万里市と佐賀県伊万里港振興会により、船社や荷主等へ積極的にポートセールスを行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●		●									●	
連携による 効果	圏域の都市機能向上、経済活性化												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補 助制度等	県負担金												
役割分担	主体市町 (関係市町)	伊万里港のコンテナ取扱量の拡大を図るためのポートセールスを行うほか、関係市町にコンテナ助成事業のチラシを配布するなど、新たに伊万里港を利用する企業の発掘に努める。											
	佐世保市	主体市町の取組に対し、圏域の都市機能を相乗的に高め、全体の魅力向上に資するため、必要に応じ、可能な範囲で広報等の協力を行う。											
	関係市町	企業誘致などの機会を利用して伊万里港のコンテナ助成事業等を紹介するなど、可能な範囲で広報等の協力を行う。また、主体市町と連携した伊万里港の利用拡大を図る取組を進める。											

NO  
12

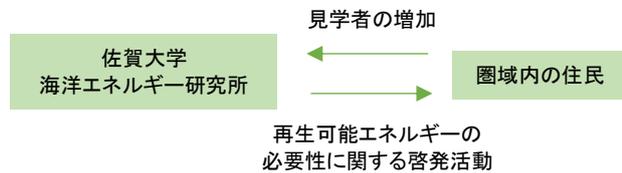
## 海洋エネルギーの推進

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
海洋エネルギー研究所への圏域内住民の年間見学者数	88人/年	100人/年

（事業概要）

- 佐賀大学の海洋エネルギー研究所との連携事業の実施により、再生可能エネルギーの必要性を住民に啓発しながら導入を推進する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●											●	
連携による 効果	新たな産業、雇用の創出、再生可能エネルギーの活用を起点とした地域の活性化												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	主体市町 (関係市町)	都市機能の集積・強化のため、必要な取組を行う。											
	佐世保市	主体市町の取組に対し、圏域の都市機能を相乗的に高め、全体の魅力向上に資するため、必要に応じ、可能な範囲で広報等の協力を行う。											

施策 2-2 その他、都市機能の集積・強化に係る施策

NO  
13

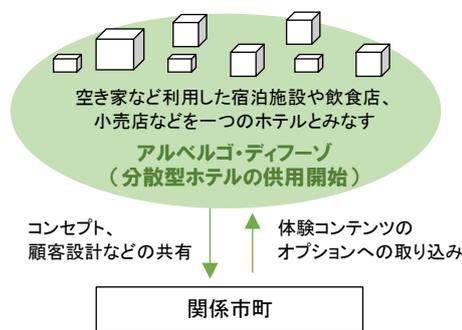
# アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)推進

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
分散型ホテルの供用開始数	0	2 (累積)

(事業概要)

- 2018年の旅館業法改正(分散型宿泊施設設置に係る規制緩和)により、全国的にも注目されている分散型ホテル(空き家等を利用し、宿泊施設や飲食店、小売店などの面的な観光機能整備)を、圏域における新たな観光拠点として整備、推進するもの。先駆的な平戸市において整備、供用開始し、その取組について、定期的な情報共有の機会を作ることで、広域観光周遊における高付加価値観光の実現を目指す。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●		●		●		●		●	●
連携による 効果	・西九州エリア一体を観光拠点化するブランディングの実現 ・宿泊拠点地域以外での観光客消費喚起												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	10,000	10,000	10,000	—	—	30,000							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	分散型ホテルや空き家対策事業の先行事例等研究、圏域内の取組の共有化を目的とした定期的な意見交換を実施する。											
	関係市町	分散型ホテルの供用開始(平戸市)。定期的な協議に積極的に参加し、各市町での実施可能性の検討、事業着手となった場合の他の関係市町との事業概要等の共有、広域周遊・滞在促進に繋がる関連素材を発掘する。											

NO  
14

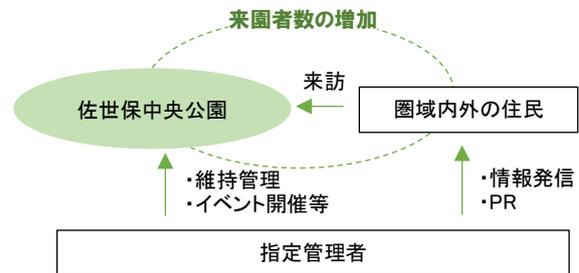
## 佐世保中央公園の利用促進

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
中央公園の来園者数	310千人/年	— ※目標値はマネジメント計画（毎年度）で設定

（事業概要）

- 名切地区再整備の一環としてリニューアルした中央公園について、圏域内唯一の屋内遊び場をはじめとした公園のPRに努めるとともに、魅力的なイベントの開催など幅広い活用を図り、広域的な利用を促進するもの。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	賑わいの創出に寄与												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	19,746	19,746	19,746	19,746	19,746	19,746	19,746	98,730					
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	公園指定管理者(SPC)と連携した取組を進める。											
	関係市町	住民の公園利用促進のために必要な協力を行う。											

## 役割 3

# 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 圏域全体の生活関連機能サービスの向上は、さまざまな世代や生活スタイルの人々が安心して生活できる環境を創出するために必要不可欠なものです。
- また、人口減少、少子高齢化の進行に伴い、医療需要の増加や、地域の担い手の減少が見込まれ、このような状況に対応するためにも、生活関連機能サービスの提供体制の充実と、それらのサービスが一人ひとりに適切に届くよう、地域の特性やニーズに応じた効率的かつ公平なサービス提供体制の構築が求められています。
- そのような状況に対応できるよう、民間活力の活用等の検討を視野に入れた取組や共通課題に対する研修の共同開催、行政資源の相互利用による住民サービスの向上を図り、圏域全体の行政業務の効率化、安定的な行政運営を図っていきます。



施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<地域医療>>

連携協約に規定する取組内容

<<地域医療>>地域医療体制の維持及び確保に関すること

NO  
15

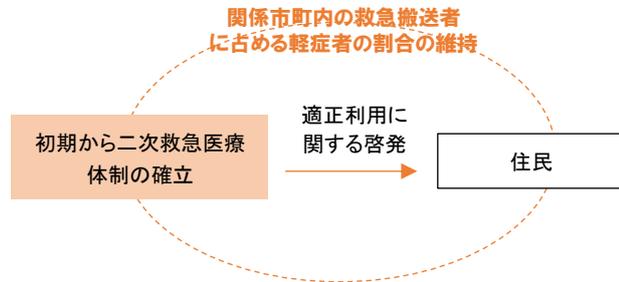
## 地域医療の確保に関する取組

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年)	目標値(令和10年)
関係市町内の救急搬送者に占める軽症者の割合	31.9%/年	31.9%/年

(事業概要)

- 関係市町が連携し、初期から二次救急医療体制に関して検討し、住民への普及啓発も併せ、圏域として地域医療を守るための取組を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
連携による 効果	圏域内の地域医療提供体制の確保・充実												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	6,291	13,246	13,246	13,246	13,246	59,275							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	中心市として各種事業の調整・推進を行う。											
	関係市町	中心市と連携し、各種事業の協力・推進を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<介護>>

連携協約に規定する取組内容

<<介護>> 在宅医療・介護サービスの充実及び質向上に関すること

NO  
16

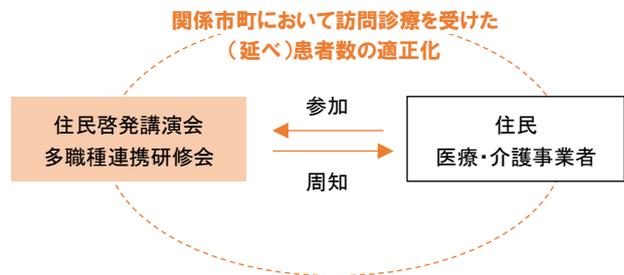
## 在宅医療・介護連携推進

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町において訪問診療を受けた(延べ)患者数	30,500人/年	33,700人/年

(事業概要)

- 関係市町が連携し、多職種連携研修会や住民啓発講演会等を実施し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に提供・選択できるような体制構築を推進する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●						●		●	●
連携による 効果	圏域内の在宅医療・介護関係者の連携推進												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	2,067	2,065	2,065	2,065	2,065	10,327							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	中心市として各種事業の調整・推進を行う。											
	関係市町	中心市と連携し、各種事業の協力・推進を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<福祉>>

連携協約に規定する取組内容 <<福祉>> 出産、子育て環境、障がい者等への支援等の福祉の充実に関すること

NO  
17

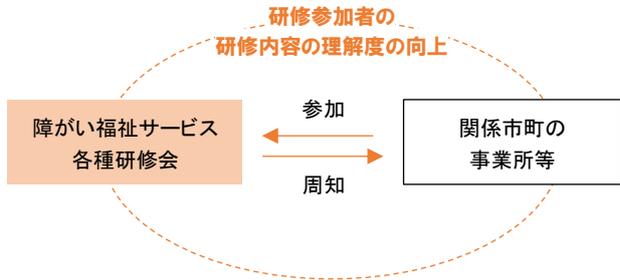
## 障がい福祉サービスの充実

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
研修参加者の研修内容理解度	94%/年	100%/年

(事業概要)

- 障がい福祉サービス利用者は広域の障がい福祉サービス事業所を利用していることから、事業所間の共通理解の醸成と事業所の質(力量)の向上を目的に、各種研修会を広域的に実施する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●		●				
連携による 効果	障がい福祉サービス事業所間の共通理解の醸成と事業所の質(力量)の向上が図られることにより、広域の事業所利用者の満足度向上につながる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	170	170	170	170	170	850							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	各種研修の企画・運営を行う。											
	関係市町	各種研修の企画と管内事業所への参加呼びかけを行う。											

施策 3-1 生活機能の強化に係る政策分野 <<福祉>>

NO  
18

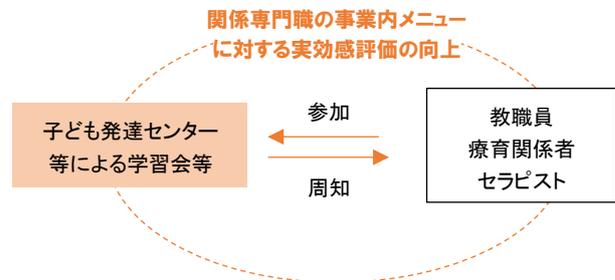
## 療育機能の改善

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係専門職の事業内メニューに対する実効感評価	—	平均点4以上/年 (5段階評価)

(事業概要)

- 子ども発達センター医師及び各医療専門職による学習会や、関係市町内の専門職による知見共有の場の提供により、圏域内の療育機能を向上させる。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●			●	●	●				7
連携による 効果	子ども発達センター専門職の知見を核としながら、関係市町の専門職等と共同による地域内の療育機能を向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	13	13	13	13	13	65							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	佐世保市子ども発達センターの医療専門職による知見の提供及び関係づくりのための場の企画と提供を行う。											
	関係市町	知見共有及び関係づくりのための場への参画と、自ら関わるケース等から得た知見の提供を行う。											

NO  
19

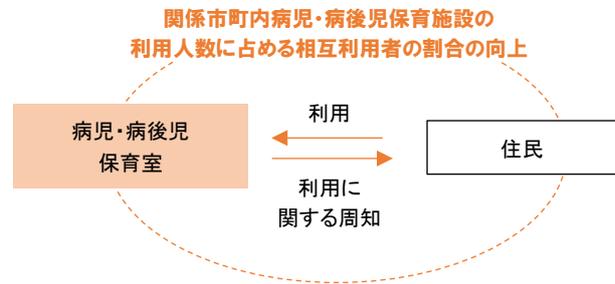
## 病児・病後児保育室の利用に関する連携

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町内病児・病後児保育施設の利用人数に占める相互利用者の割合	4.58%/年	6%/年

（事業概要）

- ・ 病期中または回復期の児童を家庭で保育ができない場合、病児・病後児保育施設で預かることで、保護者の育児と就労の両立を支援するとともに、子どもの健康管理に寄与する。
- ・ 病児・病後児保育施設の相互利用を可能とし、関係市町の住民が居住地や勤務先に近い施設を利用できるなど、利用者の需要に合わせたサービスの提供を行う。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●		●		●	●
連携による効果	関係市町の住民が居住地や勤務先に近い関係市町内の病児・病後児保育施設を利用できる。												
事業費見込額(千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	3,178	3,178	3,178	3,178	3,178	15,890							
国及び県補助制度等	子ども・子育て支援交付金(国・県)												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民に向けて病児・病後児保育施設の相互利用や施設情報を広報する。</li> <li>・ 自市町内病児保育室の利用実績に基づき、負担金の精算を行う。</li> <li>・ 病児・病後児保育室の利用実績及び負担金精算実績を取りまとめ、関係市町に報告する。</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民に向けて病児・病後児保育施設の相互利用を広報する。</li> <li>・ 自市町内病児・病後児保育室の利用状況を佐世保市に報告し、利用実績に応じた負担金の精算を行う。</li> </ul>											

施策 3-1 生活機能の強化に係る政策分野 <<福祉>>

NO  
20

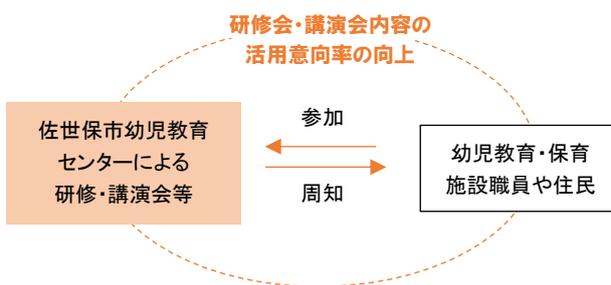
# 幼児教育センターのサービス提供

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
研修会・講演会内容の活用意向率	—	100%/年

(事業概要)

- ・圏域内における乳幼児教育・保育の質の向上を目指した佐世保市幼児教育センター主催の研修・講演会等開催。  
(乳幼児教育・保育施設職員向けの研修会や住民向けの講演会等への各関係市町の参加呼びかけによる合同開催)
- ・佐世保市開催の既存の研修会等をベースとし、年度ごとに佐世保市幼児教育センターにて計画し、年に2回程度実施。
- ・各関係市町からの参加者枠をある程度確保出来る内容(比較的規模の大きい内容)のものとして開催する。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	11
連携による効果	圏域内における乳幼児教育・保育の質の向上を目指した研修・講演会を実施することで、関係市町における保育の質の向上及び子育て支援の充実を図る。												
事業費見込額(千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	研修会等の主体的運営を行う。											
	関係市町	参加者の募集・集約、佐世保市への報告及び研修会等の運営協力を行う。											

NO  
21

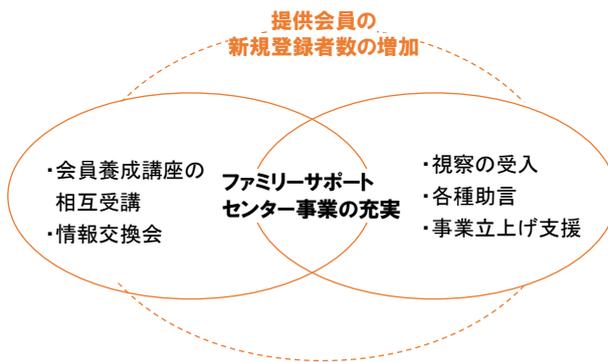
## ファミリー・サポート・センターの充実

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
提供会員の新規登録者数	9人/年	15人/年

（事業概要）

- ・ 佐世保市を含む4市3町において、圏域におけるファミリーサポートセンター事業の充実を図る。
- ・ 3市1町（佐世保市・平戸市・西海市・波佐見町）においては、会員養成講座等を相互に受講可能とする。また、情報交換会を開催するなど、ファミリーサポートセンター実施団体同士の交流を図る。
- ・ 1市2町（松浦市・川棚町・佐々町）においては、視察の受け入れや助言等、事業立ち上げの支援を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●		●	●		●			
連携による 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施市町間では、会員養成講座等の相互受講を可能とすることにより、新規登録希望者への受講機会拡充及び会員の資質向上が図られる。</li> <li>・ 事業未実施の市町に対して事業立ち上げへの支援を行っていくことで、圏域における事業の普及が図られる。</li> </ul>												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補助 制度等	子ども・子育て支援交付金(子育て援助活動支援事業)												
役割分担	佐世保市	会員養成講座等の相互受講及び事業立ち上げ支援を行う。											
	関係市町	会員養成講座等の相互受講及び事業立ち上げ支援を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<教育・文化・スポーツ>>

連携協約に規定する取組内容

<<教育・文化・スポーツ>>  
教育、文化及びスポーツの振興に関すること

NO  
22

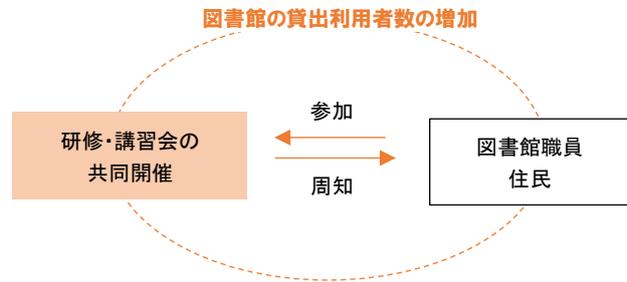
## 図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
図書館の貸出利用者数	354,003人/年	480,000人/年

(事業概要)

- 佐世保市及び関係市町において、図書館職員や図書館利用者等を対象とした研修・講習会を共同開催する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●		●		●		
連携による 効果	図書館職員等の資質向上及び読書活動の意義の啓発												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	314	314	314	314	314	1,570							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の招聘、関係市町間の調整</li> <li>研修会・講習会開催のテーマの選定、案内・広報・周知</li> <li>会場の提供、準備</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会・講習会のテーマの選定、広報・周知</li> <li>会場の提供、準備</li> </ul>											

NO  
23

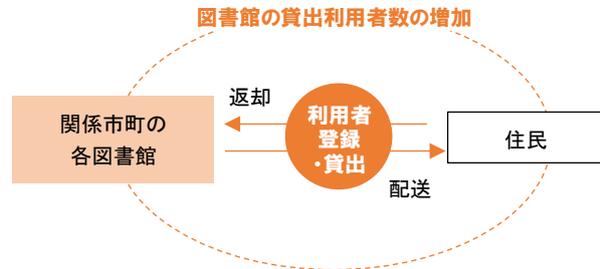
## 図書館相互利用サービス

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
図書館の貸出利用者数	354,003人/年	480,000人/年

（事業概要）

- ① 佐世保市及び関係市町相互において利用者登録・貸出を行う。
- ② 各関係市町の図書館で返却された資料及び相互貸借資料の配送を実施する。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	①	●		●	●	●	●	●		②	②	10
連携による効果	関係市町間の相互利用による利便性の向上												
事業費見込額(千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	合計							
	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	18,450							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係市町住民からの申請に基づく利用者登録・資料貸出</li> <li>配送事業者との契約事務、関係市町間の調整</li> <li>相互貸借資料の配送、地元返却図書の返却受付・配送</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐世保市民からの申請に基づく利用者登録・資料貸出</li> <li>相互貸借資料の配送、地元返却図書の返却受付・配送</li> </ul>											

施策 3-1 生活機能の強化に係る政策分野 <<教育・文化・スポーツ>>

NO  
24

# 少年科学館事業・理科学習支援

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町の魅力の周知度	—	90%/年

(事業概要)

少年科学館「星きらり」を活用して、圏域の小・中学生に次の取組を進める。

- ・ 広域圏学習、地元学習、環境学習を盛り込み、プラネタリウム無料招待券が付与された「少年科学館リーフレット」の配布。(小4・中1)
- ・ 新たな少年科学館イベントの招待券送付(小5・中2)
- ・ 小値賀町小4児童の佐世保市理科学習支援事業への参加 (負担金事業)



- ・ プラネタリウム無料観覧券(小4・中1)
- ・ イベントの招待等(小5・中2)
- ・ 小値賀町小4児童

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	小・中学生の理科・科学学習支援に加え、圏域への愛情や誇りと地元で働き・暮らす意識の醸成につながる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	991	991	991	—	—	2,973							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的な事業実施と希望する市町の受入</li> <li>・ 関係市町との役割分担を踏まえた事業実施</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担を踏まえた事業実施</li> </ul>											

NO  
25

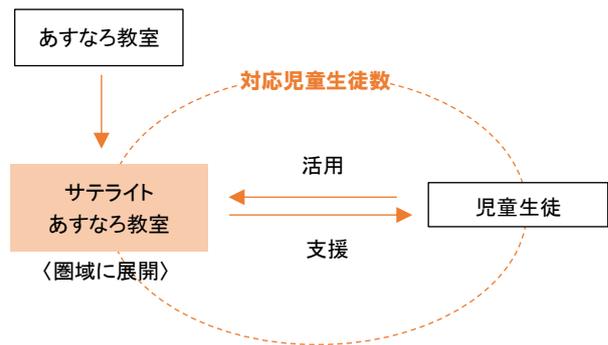
## サテライトあすなろ教室運営(学校適応指導教室)

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
対応児童生徒数	445人/年	745人/年

(事業概要)

- 佐世保市において不登校児童生徒への支援として行っている取組のうち、「サテライトあすなろ教室(学校適応指導教室)運営」を圏域に展開し、指導員数名を配置することで、より多くの児童生徒への支援の手を広げ、佐世保市・関係市町が抱える課題解決及び将来の圏域に寄与する人材の育成につなげるもの。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●								●			
連携による 効果	教育を受ける多様な選択肢の拡充及び将来の圏域を担う人材の育成												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	6,034	6,034	6,034	6,034	6,034	30,170							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	体制の整備・運営(協議・調整・確認)を行う。											
	関係市町	運営(協議・調整・確認)、事業の周知、学校との連携、該当保護者・児童生徒の誘導を行う。											

施策 3-1 生活機能の強化に係る政策分野 <<教育・文化・スポーツ>>

NO  
26

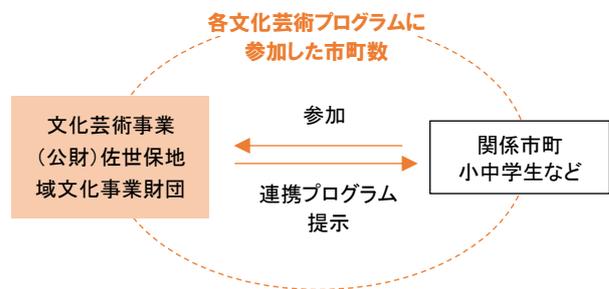
## 中心市文化芸術プログラムの広域連携

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
各文化芸術プログラムに参加した市町数	11/年	15/年

(事業概要)

- ・ 佐世保市主要文化施設の指定管理者である「(公財)佐世保地域文化事業財団」(以下、「財団」)が実施する文化芸術事業に触れる機会を関係市町の小中学生等へ提供する。
- ・ 関係市町においては、毎年度、財団が事業計画の中から連携プログラムとして提示したもののうち、予算の範囲内で希望する事業に参加する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	10
連携による 効果	文化芸術に触れる機会の創出による圏域内における人材育成の広がり												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	指定管理者(財団)及び関係市町との調整を行う。											
	関係市町	中心市と連携し、必要な協力を行う。											

NO  
27

# スポーツ施設相互利用検討

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
—	—	—

（事業概要）

- ・ 使用料の設定があるスポーツ施設及び住民のみに開放された施設に関し、市町間の相互利用を図ることで利便性につなげる。

住民の利便性の向上

スポーツ施設の相互利用の検討

- ・ 施設情報共有
- ・ 課題抽出
- ・ 協議調整

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●		●	●									●
連携による 効果	関係市町と連携し、施設使用料や利用条件等を見直すことで、利便性が向上し満足度に繋がる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	相互利用の提案・協議・調整を行う。											
	関係市町	相互利用に向けた協議・調整を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<地域振興>>

連携協約に規定する取組内容 <<地域振興>>  
地域振興の充実に関すること

NO  
28

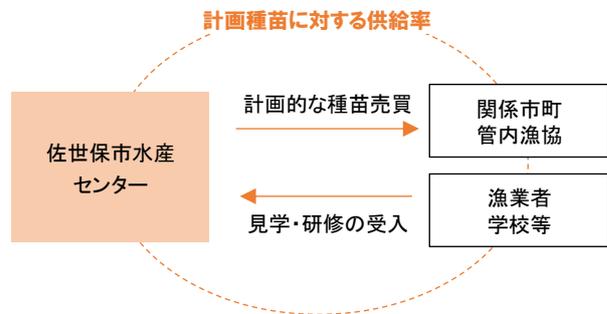
## 栽培漁業の広域連携

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
計画種苗に対する供給率	85%/年	100%/年

(事業概要)

- 栽培漁業の推進による水産資源の維持・増殖のため、関係市町への「余剰種苗の提供」から「計画生産」に移行し、種苗供給の安定化を目指す。
- 県や関係市町では対応できない圏域に特化した栽培漁業に関する技術・種苗の開発。
- 漁業の担い手確保に向けた漁業者、学校、学生の各種見学、研修の受入れ。
- 漁業者に低コストの養殖用種苗を安定供給することにより、経営の多角化を図り、資源保護の推進、所得向上を目指す。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●				●				
連携による 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培漁業による海域全体の水産資源の維持と漁場環境の保全</li> <li>計画的な種苗供給による漁獲量の確保、安定化</li> </ul>												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	10,057	10,057	10,057	10,057	10,057	50,285							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係市町に対する計画生産による種苗の安定供給の実施</li> <li>生産技術開発・支援や情報の提供</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産センターからの種苗の計画的な購入</li> <li>種苗購入や情報提供希望者の取りまとめ</li> </ul>											

NO  
29

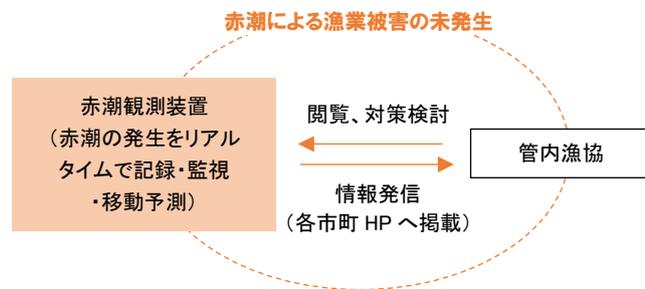
## 赤潮監視装置設置

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
赤潮による漁業被害の件数	0/年	0/年

（事業概要）

- 関係市町の各海域に赤潮監視装置を設置し、赤潮の発生をリアルタイムで記録・監視することによって、赤潮による漁業被害を最小限にする。また、関係市町の赤潮情報をリンクさせることで潮流による赤潮の移動予測を行うもの。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●										
連携による 効果	赤潮は潮流と共に北上する傾向があるため、南端に設置した赤潮監視装置の計測結果を監視することで、赤潮の発生状況を事前に察知することが可能となり、事前に発生を予測し対策をたて、漁業被害を抑えることができる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	7,739	7,739	7,739	7,739	7,739	38,695							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	契約事務及び設置後の管理を行う。											
	関係市町	設置後の管理を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<災害対策>>

連携協約に規定する取組内容

<<災害対策>>

災害発生時の相互応援体制の構築、広域避難体制の確立等、災害対策の充実に関すること

NO  
30

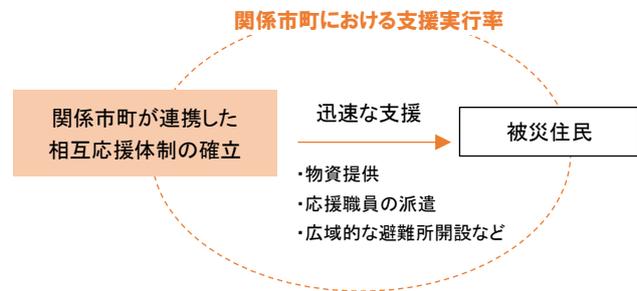
## 災害時における相互応援体制の確立

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町における支援実行率	—	100%/年（又は実績なし）

（事業概要）

- 関係市町が大規模災害に被災し、独自では災害応急対応が困難な場合に、水や食料等の物資の提供、応援職員の派遣、広域における避難所開設などの応援体制により、被災住民への迅速な支援を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	非常事態時における相互応援体制の確保												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	平時の応援準備、会議等の調整及び実施、災害時の即時応援											
	関係市町	平時の応援準備、会議等への積極的参加、災害時の即時応援											

NO  
31

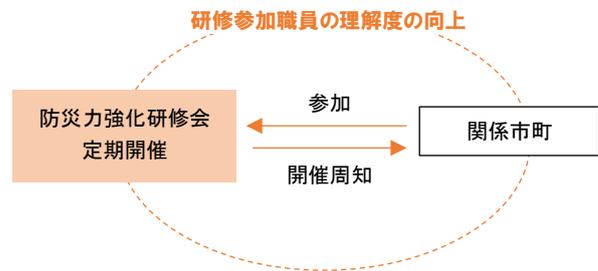
## 防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
研修参加職員の理解度	—	100%/年

（事業概要）

- 多発・激甚化する災害への備えとして、圏域として更なる防災力の強化を図ることを目的とした「市町の防災力強化研修会」の定期的開催を図る。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	研修費用等の分担、災害対応にあたる職員の資質向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	686	686	686	686	686	3,430							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	職員研修に関する事務手続き等及び実施、費用負担を行う。											
	関係市町	職員研修への積極的な参加、費用負担を行う。											

施策

3-1

生活機能の強化に係る政策分野 <<環境>>

連携協約に規定する取組内容

<<環境>>

低炭素・循環型社会の構築等に向けた環境対策の推進に関すること

NO  
32

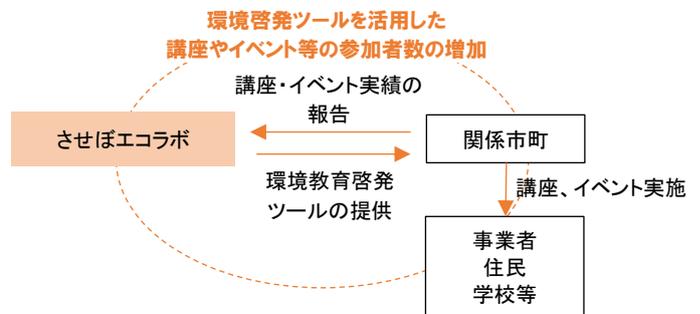
## 圏域内のエコライフ推進 （「させぼエコラボ」環境啓発ツールの広域展開）

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
環境啓発ツールを活用した講座やイベント等の参加者数	—	620人/年

（事業概要）

- 佐世保市地球温暖化防止活動推進センター「させぼエコラボ」が講座等で使用している環境教育啓発ツールを提供することで、圏域内のカーボンニュートラルを始めとした環境教育の充実を図る。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●		●			
連携による 効果	関係市町と環境教育啓発ツールを共有することで、より少ないコストで圏域内での啓発効果を生み出すことができる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>キックオフ会議の開催</li> <li>環境教育啓発ツール及び手法の共有</li> <li>啓発実績報告の取りまとめ</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境啓発の実施</li> <li>啓発実績の報告</li> </ul>											

NO  
33

## ごみの広域処理に関する研究

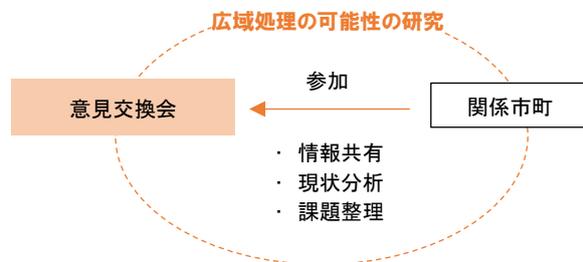
KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
—	—	—

（事業概要）

持続可能な地域づくりを目指して、住民生活に密接する圏域内のごみの広域処理について研究を行う。

1. 意見交換会の開催
2. 情報共有、現状分析など



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
連携による 効果	圏域内の将来的な広域処理の可能性について研究し、持続可能な地域づくりに寄与する。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	18	18	—	—	—	36							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換会の開催</li> <li>広域化の可能性の研究(情報共有・現状分析・課題整理など)</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換会への出席</li> <li>広域化の可能性の研究(情報共有・現状分析・課題整理など)</li> </ul>											

施策

3-2

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 <<地域内外の住民との交流・移住促進>>

連携協約に規定する取組内容

<<地域内外の住民との交流・移住促進>>  
圏域内外の交流の促進及び圏域情報発信・PRによる  
移住促進に関すること

NO  
34

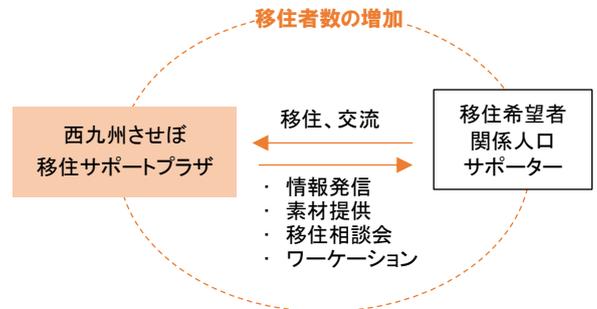
## 広域圏サポーターの拡大

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町の移住者数	514人/年	500人/年

(事業概要)

- 西九州させば移住サポートプラザが事務局となり、各関係市町の魅力を集約・整理し、一体感をもった情報発信(HP、SNS、メディア等)を行う事で、移住者の増加を図るとともに、将来の移住につながる「関係人口」としての「広域圏サポーター」の拡大を図る。
- 移住検討者のニーズに応じ、各関係市町を巡る個別移住体験ツアーの実施や、ワーケーションの推進のほか首都圏等で開催される共同移住相談会において各関係市町を紹介し、移住者の増加を図る。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
連携による 効果	圏域の魅力の一体的な情報発信及び魅力体験・紹介等による移住定住促進												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	9,641	9,641	9,641	9,641	9,641	48,205							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	西九州させば移住サポートプラザによる事業を実施する。											
	関係市町	事務協力(情報・素材提供等)、事業実施協力(参加・支援等)を行う。											

NO  
35

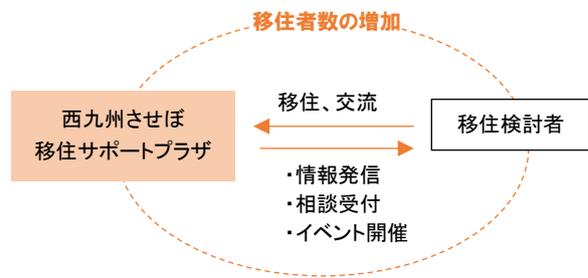
## 移住・定住連携窓口の広域圏活用

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関係市町の移住者数	647人/年	640人/年

（事業概要）

- 西九州させぼ移住サポートプラザ（交流スペース）における圏域内各地のパンフレット等展示、イメージ動画展示（動画再生）及び移住相談受付、移住定住イベントの共同実施等を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	西九州させぼ移住サポートプラザにおける広報及び窓口機能等による移住定住促進												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西九州させぼ移住サポートプラザにおける圏域内各地の広報</li> <li>・移住相談受付・各関係市町への案内等橋渡し</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務協力(情報・素材提供等)、事業実施協力(橋渡し受入等)</li> </ul>											

施策 3-2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 <地域内外の住民との交流・移住促進>

NO  
36

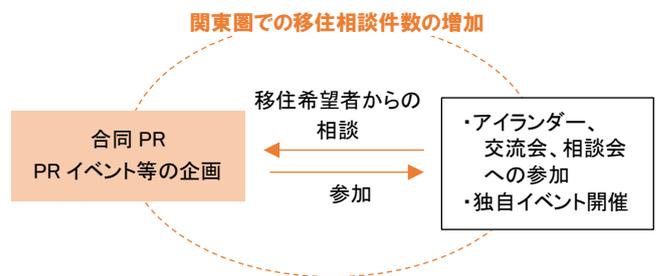
離島地域の移住・観光における広域連携の研究

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
関東圏での移住相談件数	8/年	30/年

(事業概要)

- 各島における移住、観光などの現状把握を行い、効果的なPR等について合同で研究を行う。
- 研究結果を基に、毎年11月に東京で開催される全国の島々が集まり、島の魅力をアピールする国主催の交流イベント「アイランダー」に3島連携で参加するほか、独自イベント(交流会、相談会)を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●							●		●			
連携による 効果	五島列島に所在する各島の特色を活かしながら一体的にPRすることで、スケールメリットが働き、関東圏での認知度を向上させることができる。ひいては交流・関係人口の増加につながり、過疎化に一定の歯止めをかけることも期待できる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	2,837	3,051	3,051	3,051	3,051	15,041							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	3島の事務取りまとめ、イベント関係の連絡調整を行う。											
	関係市町	各島の研究、イベント関係の連絡調整を行う。											

施策

3-3

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 <<人材の育成>>

連携協約に規定する取組内容

<<人材の育成>>

啓発機会の創出による圏域人材や団体の育成及び確保に関すること

NO  
37

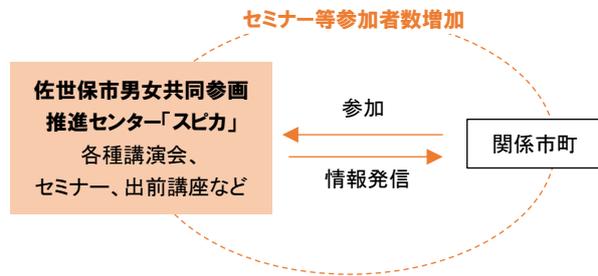
## 男女共同参画啓発

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
セミナー等参加者数	17人/年	70人/年

(事業概要)

- ・ 佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」を拠点とし、男女共同参画の意識啓発を推進する。
- ・ 佐世保市で実施している講演会やセミナー等の情報提供。
- ・ 佐世保市が企画し、各市町で出前講座やセミナー等を開催。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
連携による 効果	・ 各関係市町担当者の人的負担軽減												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	47	47	47	47	47	235							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	セミナーの企画、講師との調整、開催時の運営支援を行う。											
	関係市町	開催場所の設定、広報、講師謝金の支払いを行う。											

施策

3-3

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 <圏域内市町村の職員等の交流>

連携協約に規定する取組内容

<圏域内市町村の職員等の交流>  
圏域内自治体職員間等の交流促進や研修等による公務能力の向上に関すること

NO  
38

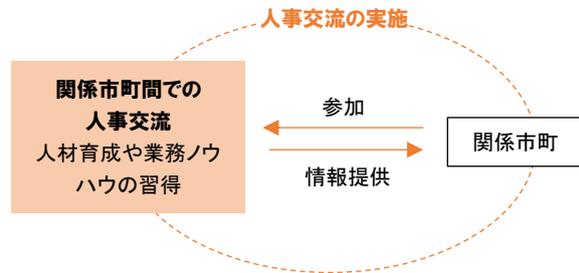
## 人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
人事交流の実施率	0%/年	100%/年

(事業概要)

- 行政課題の克服や、ノウハウの蓄積に寄与する分野のマッチング、関係市町間での人事交流を行い、実務を通じて人材育成や業務ノウハウの習得を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●						●	●	●				
連携による 効果	職員の資質向上、ネットワークの構築による組織の活性化												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	—	—	—	—	—	—							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	人事交流のとりまとめを行う。											
	関係市町	自市町の特色ある分野の紹介及び人事交流の人選等を行う。											

NO  
39

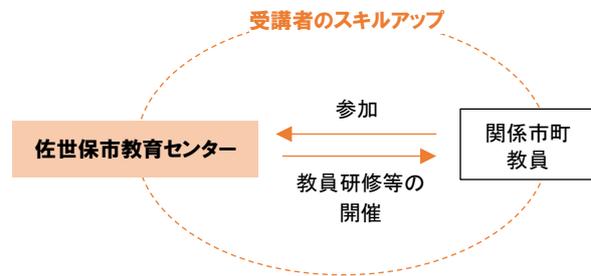
## 教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
受講者の研修目標達成率	—	100%/年

(事業概要)

- 関係市町の教員に対し、佐世保市教育センターで開催する研修の一部を共有し、研修の機会を増やします。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
連携による 効果	関係市町教員の研修の機会が増えることから教員の資質向上が期待できる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	733	733	733	733	733	3,665							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	研修の企画及び運営を行う。 (案内状の送付及び受講者登録、資料印刷など)											
	関係市町	自市町における受講希望者の確認・人数調整を行う。											

施策

3-3

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 《圏域マネジメント能力の強化》

連携協約に規定する取組内容

《圏域マネジメント能力の強化》  
行政サービスの効率化や最適化等、公共マネジメントの強化に関すること

NO  
40

## 公民連携プラットフォームの形成

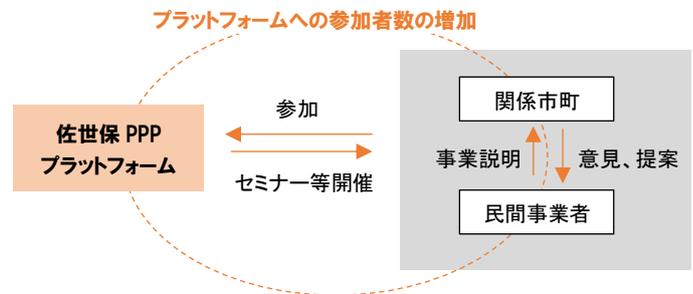
KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
プラットフォームへの参加者数	141人/年	180人/年

（事業概要）

- 佐世保市が保有するPPP\*プラットフォーム機能の広域展開を図ることにより、圏域全体での公民連携を促進する。

\*PPP… Public Private Partnershipの略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	プラットフォームを活用した公共施設のPPP導入促進による、圏域の公共サービスの向上												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	2,343	2,343	2,343	2,343	2,343	11,715							
国及び県補助 制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPPプラットフォームの企画・運営及び案件形成支援</li> <li>PPP/PFIに関する職員の理解促進及び推進に向けた検討</li> </ul>											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPPプラットフォームの活用</li> <li>PPP/PFIに関する職員の理解促進及び推進に向けた検討</li> </ul>											

## 4 県による助言及び支援

県は、当該県内の市町における連携中枢都市圏の形成や連携中枢都市圏に関する取組について情報提供や助言を行うとともに、積極的な支援を行うことが期待されています。

特に、産業振興、医療、地域公共交通、インフラの整備等都道府県が広域自治体として担任する事務については、連携中枢都市圏に関する取組と円滑に連携できるよう調整を図るなど、連携中枢都市圏の取組を支援することが期待されています。

また、本圏域のように、2以上の都道府県の区域にわたり連携中枢都市圏が形成される場合、例えば、県ごとに設定する医療圏と当該連携中枢都市圏の圏域が重複しないことなどが想定されますが、その際、両県は、連携中枢都市圏の取組が円滑に進むよう、連携中枢都市圏を形成する市町の希望を尊重しながら、関係市町と十分に協議調整を行うことが期待されます。

加えて、連携中枢都市圏の取組を進めるため、例えば、県の権限に属する事務であって、連携中枢都市に移譲されているが近隣の市町には移譲されていない事務について、連携中枢都市と近隣の市町が合意しているときは、関係市町の求めに応じ、県は条例による事務処理特例制度を活用して積極的に権限移譲を進めていくことが期待されています。

このことを踏まえ、「西九州させば広域都市圏」は、長崎・佐賀両県の積極的な関与と支援を求めていくとともに、県と圏域における中心市の役割分担等について、適切な調整を図っていくこととします。



## 第5章

### 圏域の現状

# 第5章 圏域の状況

## 1 西九州させぼ広域都市圏と構成市町の概要

### (1)西九州させぼ広域都市圏の概要

本圏域は九州北西部に位置し、古くから連綿と人々が住み続けてきた地域です。先史時代から利用された洞窟遺跡の数は日本一であり、世界最古級の土器（豆粒文土器）が出土しています。

また、大陸との交流も盛んで、数多くの大陸文化との融合の形跡が弥生時代のお墓や住居の形から確認されている地域です。

平安時代から戦国時代においては、本地域に海を舞台として活躍した松浦党が出現し、江戸時代には、その流れを汲む平戸松浦氏による平戸藩 6 万 3 千石の領地として存続してきました。

五島地域においては、宇久島を領有した宇久氏を始祖とする五島家の統治が行われ、捕鯨などにより栄える一方、潜伏キリシタンによる開拓などが有名です。

また、近年では、世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」や、「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」、日本遺産「日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～」、そして、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定された九十九島等、数多くの魅力ある地域資源を有しています。

産業面でも国内有数の漁獲量を誇る水産業や、農業においてもお茶、みかん、肉用牛等の産地であるとともに、歴史のある造船業等、工業・商業分野でも多様な産業が集積しています。

これらを育んできた豊かな大地は地震が少なく、自然災害に強い土壌と気候に恵まれており、私たちの安全な暮らしを支えています。

## (2)構成自治体の概要

## 1



## 佐世保市

【連携中枢都市】

面積：426.01 km<sup>2</sup> 人口：243,223 人（令和2年国勢調査等）

佐世保市は、圏域の中央部、長崎県の北部に位置し、面積約 426 km<sup>2</sup>、人口約 24 万人を有しています。

明治 22 年に海軍佐世保鎮守府が設置されて以降、戦前は海軍とともに発展し、戦後は平和産業港湾都市として造船や炭鉱を柱とした産業の発展を経て、現在は、長崎県北部地域、佐賀県西部地域の中心的都市となっており、平成 28 年 4 月に中核市へ移行しました。

また、大小 208 の島々が織りなす美しい景観を誇る多島海「西海国立公園九十九島」、世界文化遺産の構成資産である「黒島の集落」、日本最大級のテーマパーク「ハウステンボス」、日本遺産に認定された「佐世保鎮守府」や「三川内焼」を有する観光都市であると同時に、みかんや牡蠣等の農水産物にも恵まれ、また、造船をはじめとした製造業や、直線に連続した日本一長いアーケードに商業機能が集積する産業都市でもあります。

市内には米軍基地があり、また、広範囲な地域から人が流入して成長した都市であることから、異文化に寛大で多様性に富んでいます。

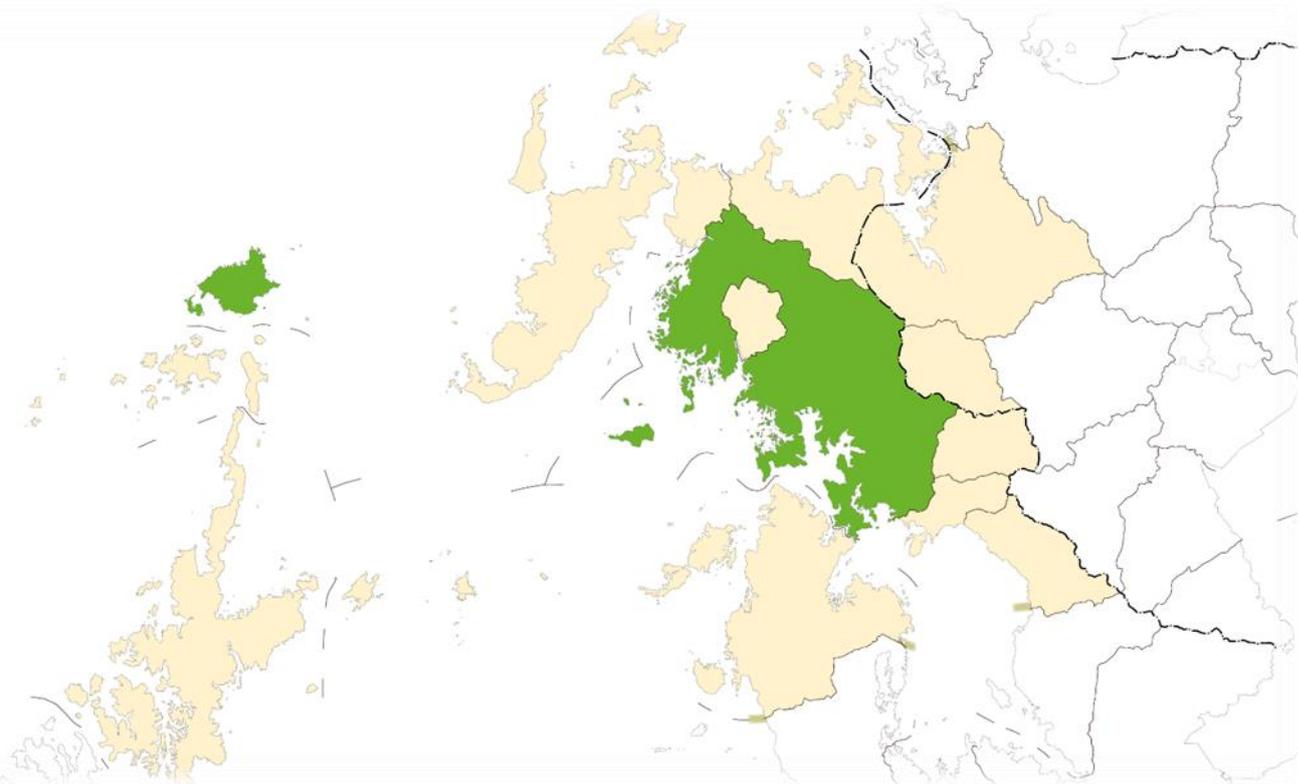
今後も都市機能の一層の高度化による多種多様な産業の展開が見込まれ、地域発展をけん引する力が蓄積されています。



西海国立公園九十九島



ハウステンボス



平戸市は、圏域の北西部、長崎県の北部に位置し、面積約 235 km<sup>2</sup>、人口約 3 万人を有しています。

古くから大陸交流の玄関口として栄え、平安時代から中国や朝鮮との交易の中継地となり、遣隋・遣唐使の寄港地として栄えました。また、中国で新しい仏教を学んだ空海や栄西なども立ち寄った場所でもあります。

16 世紀には、日本に初めて来航したポルトガル船が平戸に入港し、南蛮貿易が行われました。17 世紀前半には、オランダやイギリスの商館が設置されるなど海外文化やキリスト教伝来の窓口となり、市内には田平天主堂、宝亀教会など 14 の教会が存在します。

生月地区や大島地区には捕鯨で栄えた歴史があり、江戸時代後期には益富組、井元氏鯨組など西海捕鯨の中心地として名を馳せ、特に生月地区の益富組は日本最大の規模に達しました。

長崎県内でも有数の観光地として知られ、年間約 145 万人の観光客が訪れています。また、平成 30 年 7 月に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のうち、構成資産である「平戸の聖地と集落（春日集落と安満岳、中江ノ島）」を有しており、国内外から観光客が来訪しています。

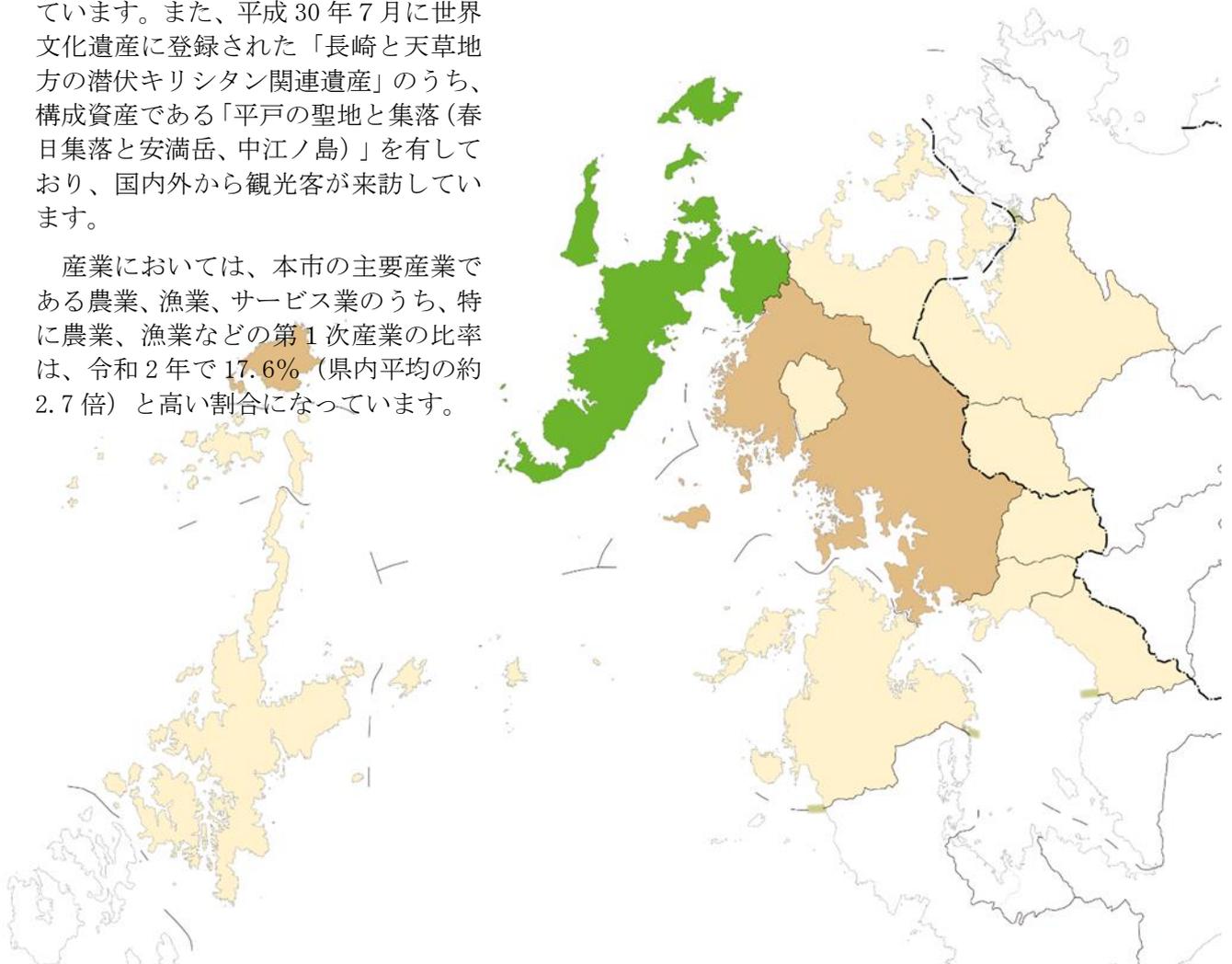
産業においては、本市の主要産業である農業、漁業、サービス業のうち、特に農業、漁業などの第 1 次産業の比率は、令和 2 年で 17.6%（県内平均の約 2.7 倍）と高い割合になっています。



寺院と教会の見える風景



平戸大橋



# 3 松浦市

面積：130.55 km<sup>2</sup> 人口：21,271 人（令和2年国勢調査等）

松浦市は、圏域の北部、長崎県の北部に位置し、面積約131 km<sup>2</sup>、人口約2万1,000人を有しています。

中世に九州北西部で活動した水軍・松浦党発祥の地であり、鎌倉時代に起きた蒙古襲来（元寇）においては、元軍の大船団が松浦市鷹島沖に集結した際、暴風雨により沈没・退却したことで知られています。

明治から昭和にかけては石炭産業を主力として栄えましたが、現在は、日本有数の水揚げ量を誇る松浦魚市場、海外炭を燃料とする国内最大規模の火力発電所を擁する水産物とエネルギーの一大供給基地となっています。

また、高い技術力を持つ企業の誘致にも取り組み、本市から国内外へ向け、数多くの「メイドイン松浦」の製品が出荷されています。

現在、市内では高規格道路「西九州自動車道」の整備が進められており、伊万里松浦道路が開通すると福岡市中心部と約70分で行きわたることになります。

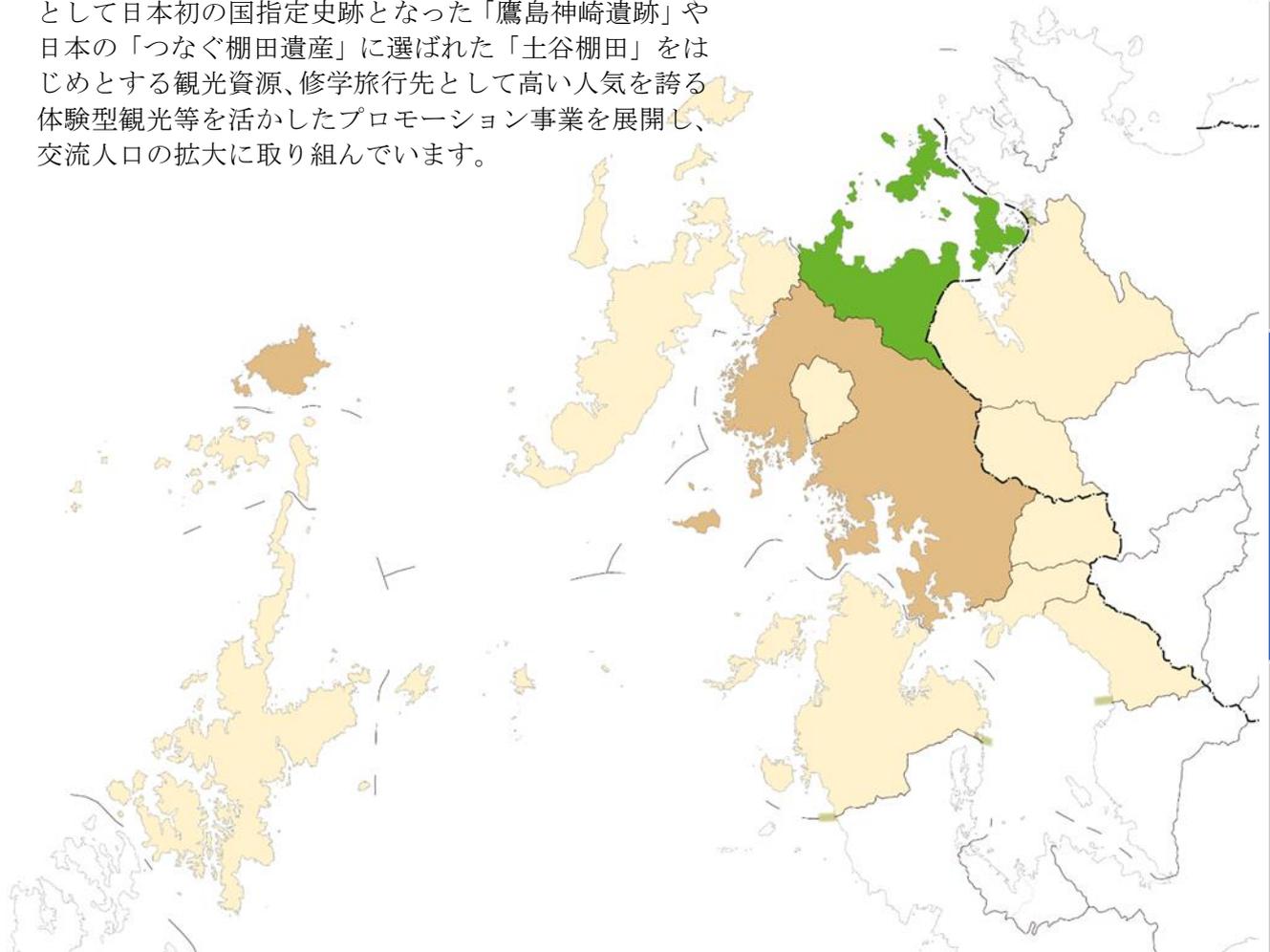
この強みを活かし、福岡都市圏をメインターゲットとして、市場で高い評価を受けている農水産物、海底遺跡として日本初の国指定史跡となった「鷹島神崎遺跡」や日本の「つなぐ棚田遺産」に選ばれた「土谷棚田」をはじめとする観光資源、修学旅行先として高い人気を誇る体験型観光等を活かしたプロモーション事業を展開し、交流人口の拡大に取り組んでいます。



土谷棚田



松浦魚市場・松浦市水産加工団地



# 4 西海市

面積：241.84 km<sup>2</sup> 人口：26,275 人（令和2年国勢調査等）

西海市は、圏域の南部、長崎県西彼杵半島の北部に位置し、面積約242 km<sup>2</sup>、人口約2万6,000人を有しています。

東岸は大村湾に、西岸は外海の五島灘、角力灘、北岸は佐世保湾に面し、複雑な地形を持った海岸線や、点在する大小さまざまな島等、美しく優れた自然景観を有しています。

1562年に日本最初のキリシタン大名である大村純忠が横瀬浦にポルトガルとの貿易港を開口したことから、西海市は南蛮貿易やキリスト教と縁の深い歴史を持っています。江戸時代には大村藩に属しており、大村藩の捕鯨基地としても栄えました。

町村制が施行された明治22年4月時点では、13村で構成されていました。その後の合併、編入、町名変更を経て昭和44年1月に西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町構成となり、平成17年4月1日に5町が対等合併し西海市となりました。

西海市には、全国と比べても高い造船技術を持つ大島造船所を始めとして、松島火力発電所、ダイヤソルトといった優良企業があります。そういった民間と協力し、人材の確保及び育成について、トップランナーを目指します。

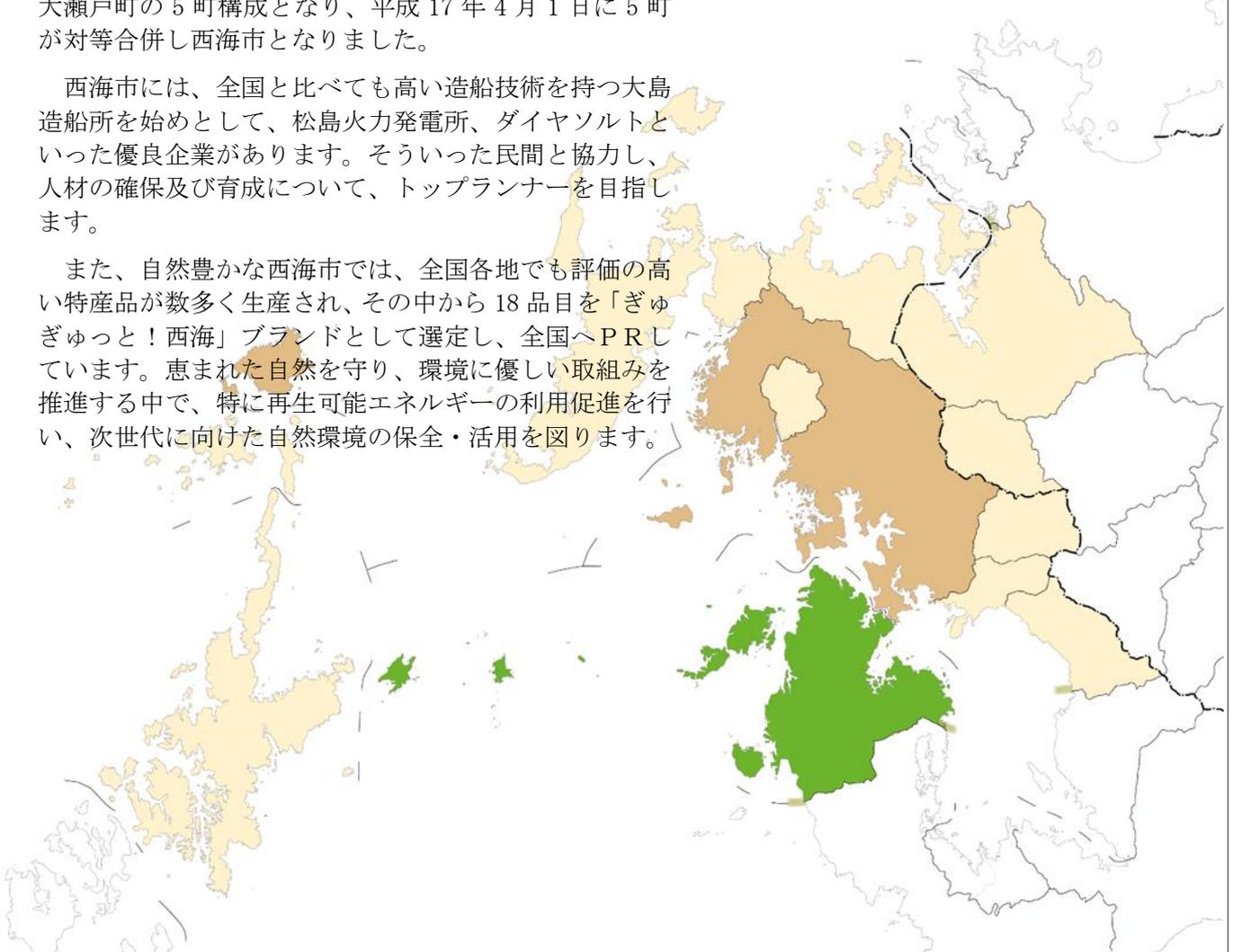
また、自然豊かな西海市では、全国各地でも評価の高い特産品が数多く生産され、その中から18品目を「ぎゅぎゅっと！西海」ブランドとして選定し、全国へPRしています。恵まれた自然を守り、環境に優しい取組みを推進する中で、特に再生可能エネルギーの利用促進を行い、次世代に向けた自然環境の保全・活用を図ります。



大島大橋



国指定天然記念物七釜鍾乳洞



## 5

## 東彼杵町

面積：74.29 km<sup>2</sup> 人口：7,721人（令和2年国勢調査等）

東彼杵町は、圏域の南東部、長崎県の中央部に位置し、面積約74 km<sup>2</sup>、人口約8,000人を有しています。

古くは長崎街道の宿場町として、また、平戸街道の起点として栄えた町です。江戸初期から明治にかけては、五島近海で獲れた鯨の集積基地として栄え、現在も町内にはこうした街道や鯨にまつわる歴史の面影が各所に残されています。

東彼杵町は、2つの国道のほか、長崎自動車道が町を縦断、南西に臨む波静かな大村湾の海岸線には、長崎・佐世保を繋ぐJR大村線が走り、隣接する大村市にある長崎空港にも車で30分と、陸海空の交通アクセスに恵まれた町です。

基幹産業である農業は、お茶、いちご、アスパラガスなどの生産が盛んで、特にお茶に関しては、長崎玉緑茶の生産量の大半を占め、「そのぎ茶」ブランドで親しまれています。全国茶品評会において、平成29年度以降、蒸し製玉緑茶の部で5度の農林水産大臣賞を受賞。さらには消費者が選ぶ日本一おいしいお茶「日本茶アワード」でも4度の「日本茶大賞」に輝いています。

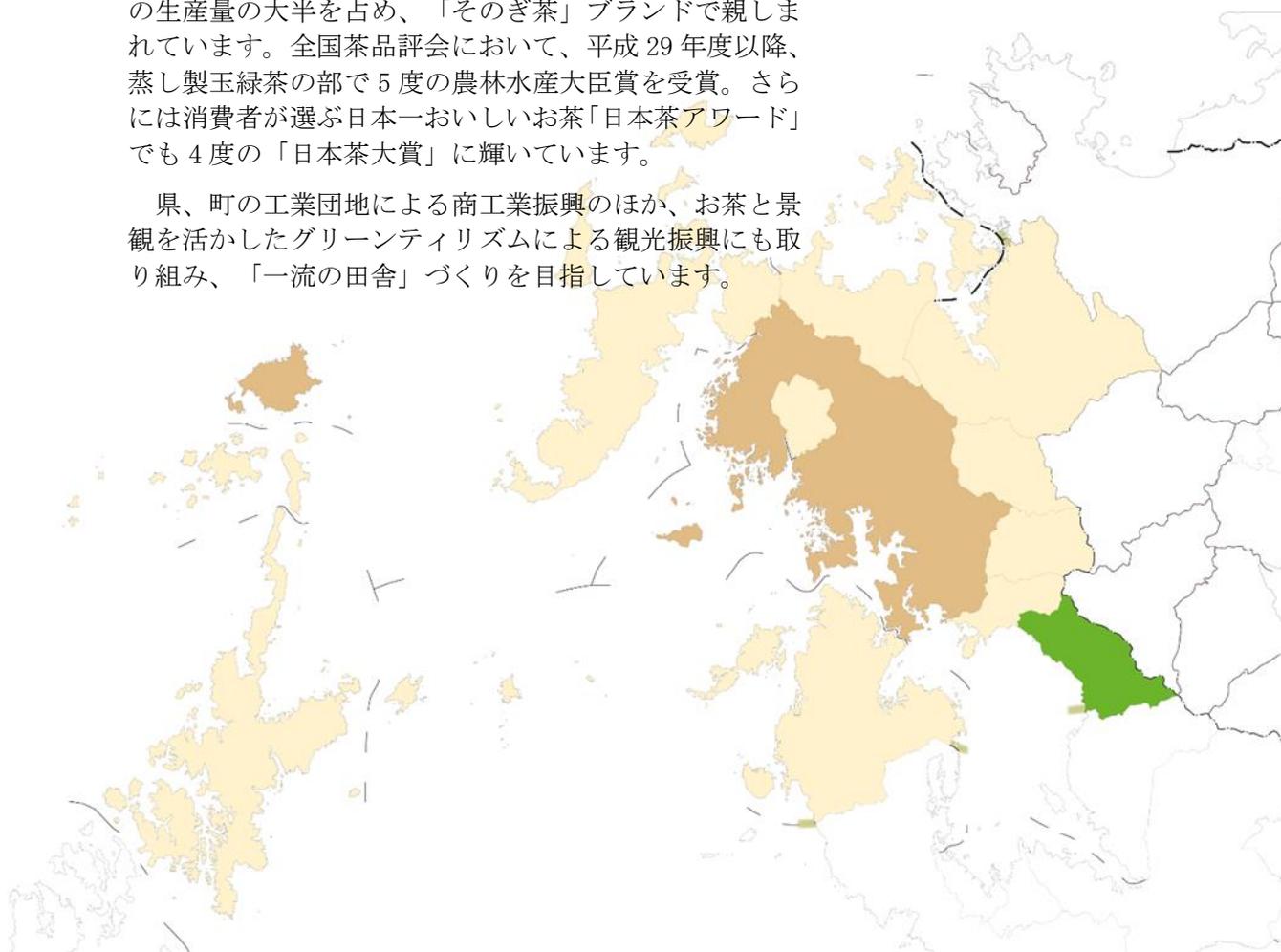
県、町の工業団地による商工業振興のほか、お茶と景観を活かしたグリーンティリズムによる観光振興にも取り組み、「一流の田舎」づくりを目指しています。



そのぎ茶



千綿駅（井口一也氏撮影）



# 6



## 川棚町

面積：37.25 km<sup>2</sup> 人口：13,377 人（令和2年国勢調査等）

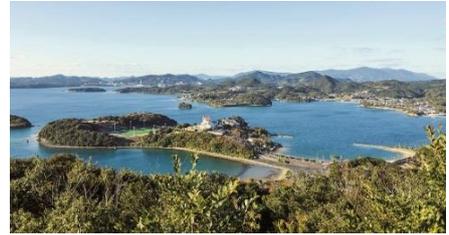
川棚町は、圏域の南東部、長崎県の中央部に位置し、面積約 37 km<sup>2</sup>、人口約 1 万 3,000 人を有しています。

佐世保市に隣接し、南は波静かな大村湾に面し、東には九州のマッターホルンと呼ばれる虚空蔵山がそびえ、西の大崎半島一帯は県立自然公園に指定され、町の中心を川棚川が貫流している豊かな自然環境が調和した風光明媚な町です。

肥前風土記のなかで、はるか昔「川岸之村」と呼ばれていたと記されている本町は、昭和9年に町制を施行し、川棚町としての歩みを始めました。第二次世界大戦中であつた昭和17年に海軍工廠ができたのをはじめ、軍関係の施設が町内のいたるところにでき、町制施行時に7千6百人程度であつた人口は当時3万人にまでふくれあがりました。

また、行政区域については、昭和18年に東彼杵町小音琴郷の一部を編入、昭和35年及び昭和37年に波佐見町中山郷の一部を編入し、現在に至っています。

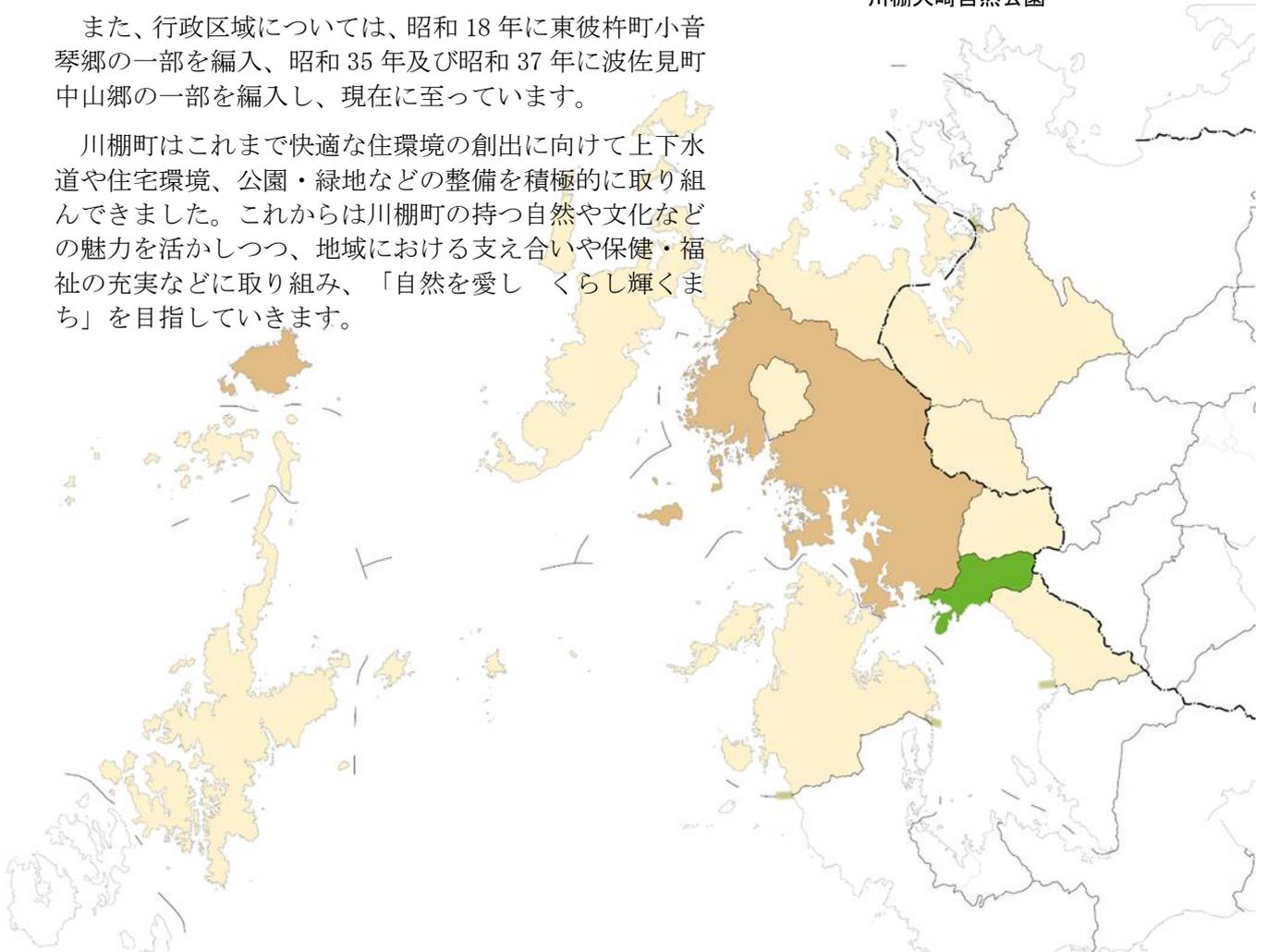
川棚町はこれまで快適な住環境の創出に向けて上下水道や住宅環境、公園・緑地などの整備を積極的に行ってきました。これからは川棚町の持つ自然や文化などの魅力を活かしつつ、地域における支え合いや保健・福祉の充実などに取り組み、「自然を愛し 暮らし輝くまち」を目指していきます。



川棚大崎自然公園



川棚大崎自然公園



# 7 波佐見町

面積：56.00 km<sup>2</sup> 人口：14,291 人（令和2年国勢調査等）

波佐見町は、圏域の東部、長崎県の中央部に位置し、面積約56 km<sup>2</sup>、人口約1万4,000人を有しています。

江戸時代は「波佐見村」として大村藩に属し、明治期に「上波佐見村」と「下波佐見村」に分かれた後、昭和31年（1956）に合併し「波佐見町」となり、現在、町政施行後60年を数えます。

波佐見町は、400年の歴史を誇る窯業と農業の町でもあり、波佐見焼は全国の日用食器の約12%のシェアを持ち、普段使いの器として、その時代のニーズに合わせてデザインした手の届きやすい焼き物をつくっています。また、日本の棚田百選に選ばれた「鬼木棚田」をはじめ、田園風景の広がる緑豊かな街並みを形成しています。

さらに、今の波佐見町は“観光が楽しい町”でもあります。「桜陶祭」、「波佐見陶器まつり」、「皿山器替えまつり」など、作り手とふれあいながら波佐見焼を購入できるイベントのほか、「鬼木棚田まつり」をはじめとした豊かな自然や清流を楽しむイベントを、年間を通して楽しむことができます。

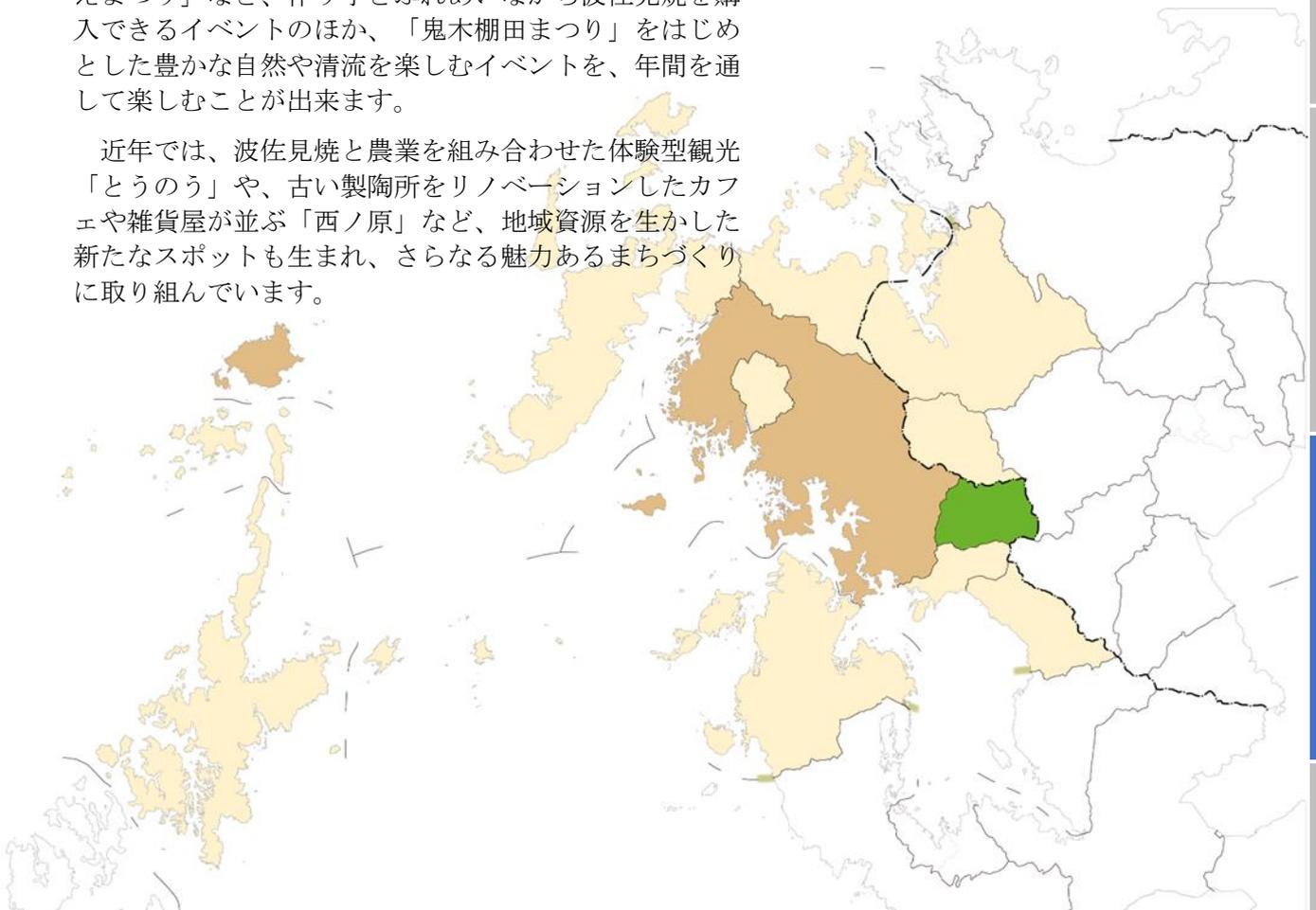
近年では、波佐見焼と農業を組み合わせた体験型観光「とうのう」や、古い製陶所をリノベーションしたカフェや雑貨屋が並ぶ「西ノ原」など、地域資源を生かした新たなスポットも生まれ、さらなる魅力あるまちづくりに取り組んでいます。



波佐見陶器まつり



鬼木棚田



# 8 小 小値賀町

面積：25.50 km<sup>2</sup> 人口：2,288 人（令和 2 年国勢調査等）

小値賀町は、圏域の西部、長崎県五島列島北部に位置し、面積約 26 km<sup>2</sup>、人口約 2,300 人を有しています。

長崎県で最も小さな自治体でもあり、小値賀本島を中心に大小 17 の島々で構成される火山活動によって生じた珍しい群島で、島嶼部でありながら地形は平坦であり、複雑な海岸線が織りなす美しい自然環境に恵まれ、島のほとんどが西海国立公園に指定されています。

小値賀町には、旧石器時代から人々が連綿と営み続けた歴史・文化があり、肥前風土記にもその名が記され、往古は遣唐使の寄港地でもありました。藩政時代は、平戸藩松浦家の所領であり、廃藩置県後、笛吹・前方・柳の 3 村に分かれ自治制が敷かれていましたが、大正 15 年に 3 村が合併して小値賀村となり、昭和 15 年に町制を施行し、平成 31 年に町制施行 80 周年を迎えました。

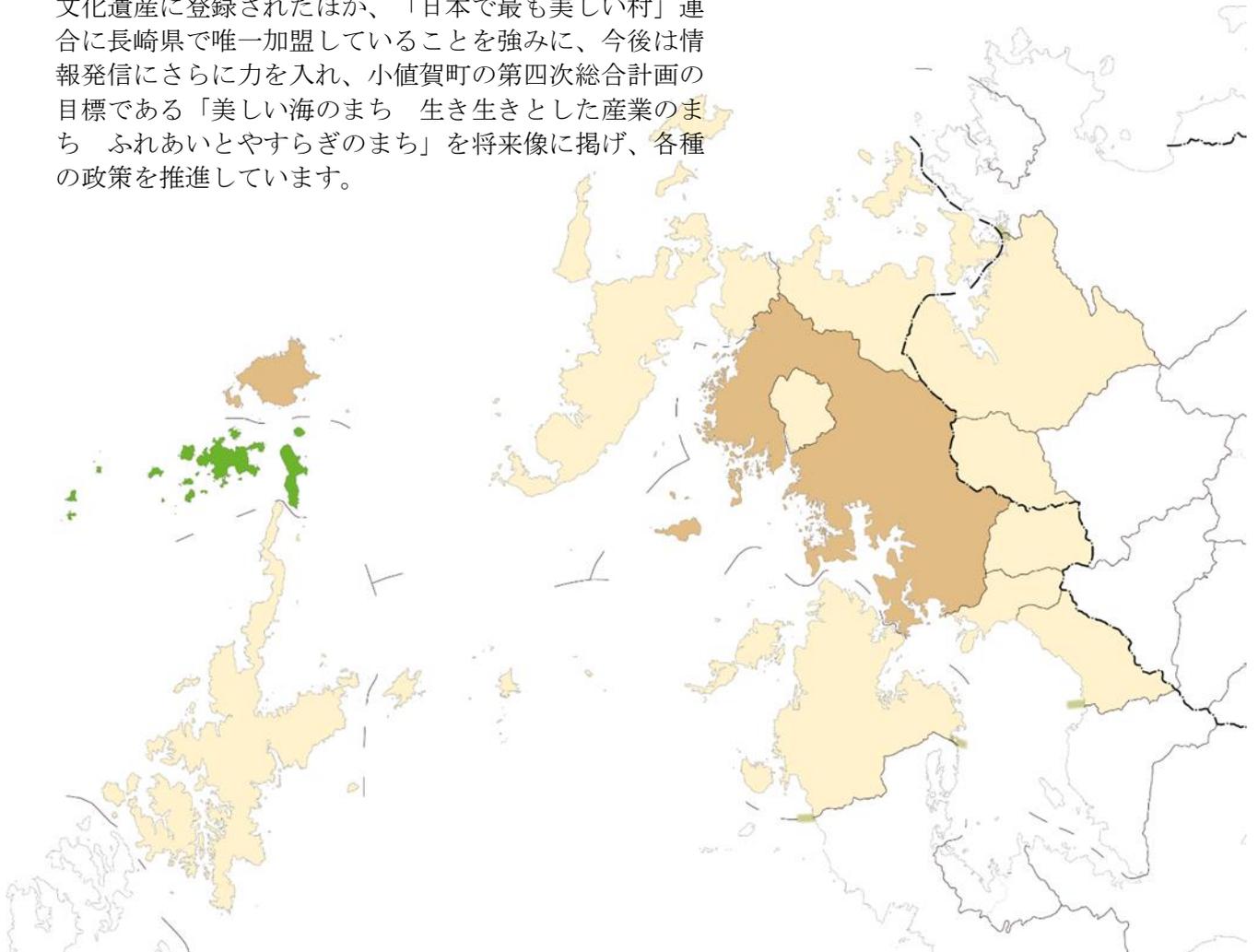
平成 30 年 7 月には「野崎島の集落跡」を構成資産を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されたほか、「日本で最も美しい村」連合に長崎県で唯一加盟していることを強みに、今後は情報発信にさらに力を入れ、小値賀町の第四次総合計画の目標である「美しい海のまち 生き生きとした産業のまち ふれあいとやすらぎのまち」を将来像に掲げ、各種の政策を推進しています。



旧野首教会



姫の松原



# 9 佐々町

面積：32.26 km<sup>2</sup> 人口：13,912人（令和2年国勢調査等）

佐々町は、圏域の中央部、長崎県の北部に位置し、面積約32 km<sup>2</sup>、人口約1万4,000人を有しています。

佐世保市に隣接し、古くは佐々村、市瀬村が明治22年に合併して佐々村となり、大正から昭和にかけての炭鉱全盛期には、人口が2倍に膨れ上がるほどの勢いで急速に発展し、昭和16年に町政を施行しました。

近年は、佐世保市のベットタウンとして発展してきましたが、平成23年9月に西九州自動車道佐々インターチェンジの供用が開始されたことにより、佐世保市などへのアクセスが格段に向上したことで、今後更なる発展が期待されます。

また、町の中央を北東から南へかけ、国見山（佐世保市世知原町）に源流を発する延長21.9 kmにおよぶ佐々川が貫流し、川に沿って平野が開け、町が展開しています。

まちのシンボルである佐々川は、生物多様性に富んでおり、春の風物詩であるシロウオのほか、カブトガニやハクセンシオマネキなどの絶滅危惧種も多数生息しています。

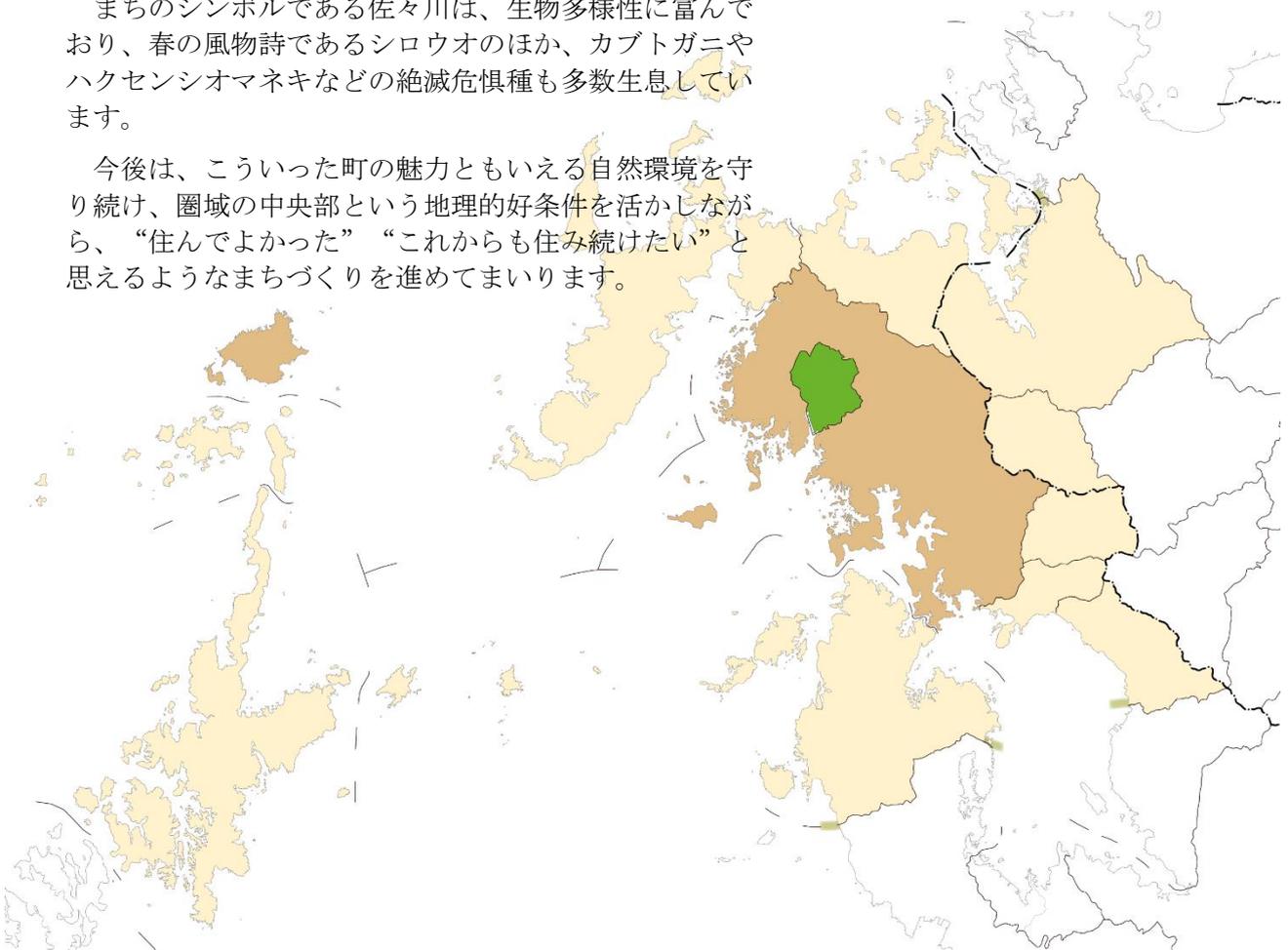
今後は、こういった町の魅力ともいえる自然環境を守り続け、圏域の中央部という地理的好条件を活かしながら、“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と思えるようなまちづくりを進めてまいります。



佐々川のシロウオ漁・河津桜



皿山菖蒲園



# 10 新上五島町

面積：213.99 km<sup>2</sup> 人口：17,503 人（令和2年国勢調査等）

新上五島町は、圏域の南西部、長崎県五島列島北部に位置し、面積約 214 km<sup>2</sup>、人口約 1 万 7,000 人を有しています。

中通島と若松島を中心とする 7 つの有人島と 60 の無人島から構成され、全般に細長く、急峻な山々が連なり、東は五島灘、西は東シナ海に面しており、海岸延長は約 429km におよび、遠浅で砂浜が美しい蛤浜海水浴場やリアス式海岸の入江が織りなす美しい景観の若松瀬戸など海と山の豊かな自然を擁し、その大部分が西海国立公園に指定されています。

世界文化遺産に認定された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である頭ヶ島の集落には、キリシタンの歴史を物語る教会や遺産があり、町内では異なる宗教が地元の方々の生活に溶け込み、共存してきた「祈りの島」としての歴史があります。

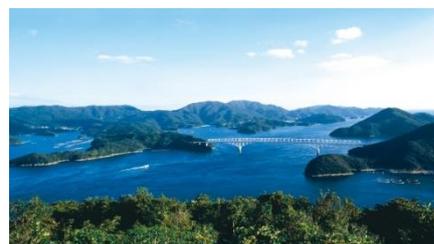
新上五島町は、日本有数の好漁場として水産資源に非常に恵まれており、漁船漁業と養殖業が営まれ、多種多様な水産物が水揚げされています。

また、遣唐使が伝えたとも言われる五島うどんの産地であり、日本三大うどんの一つにも挙げられており、椿油が表面に塗られ、コシの強さ、のどごしの良さが特徴です。

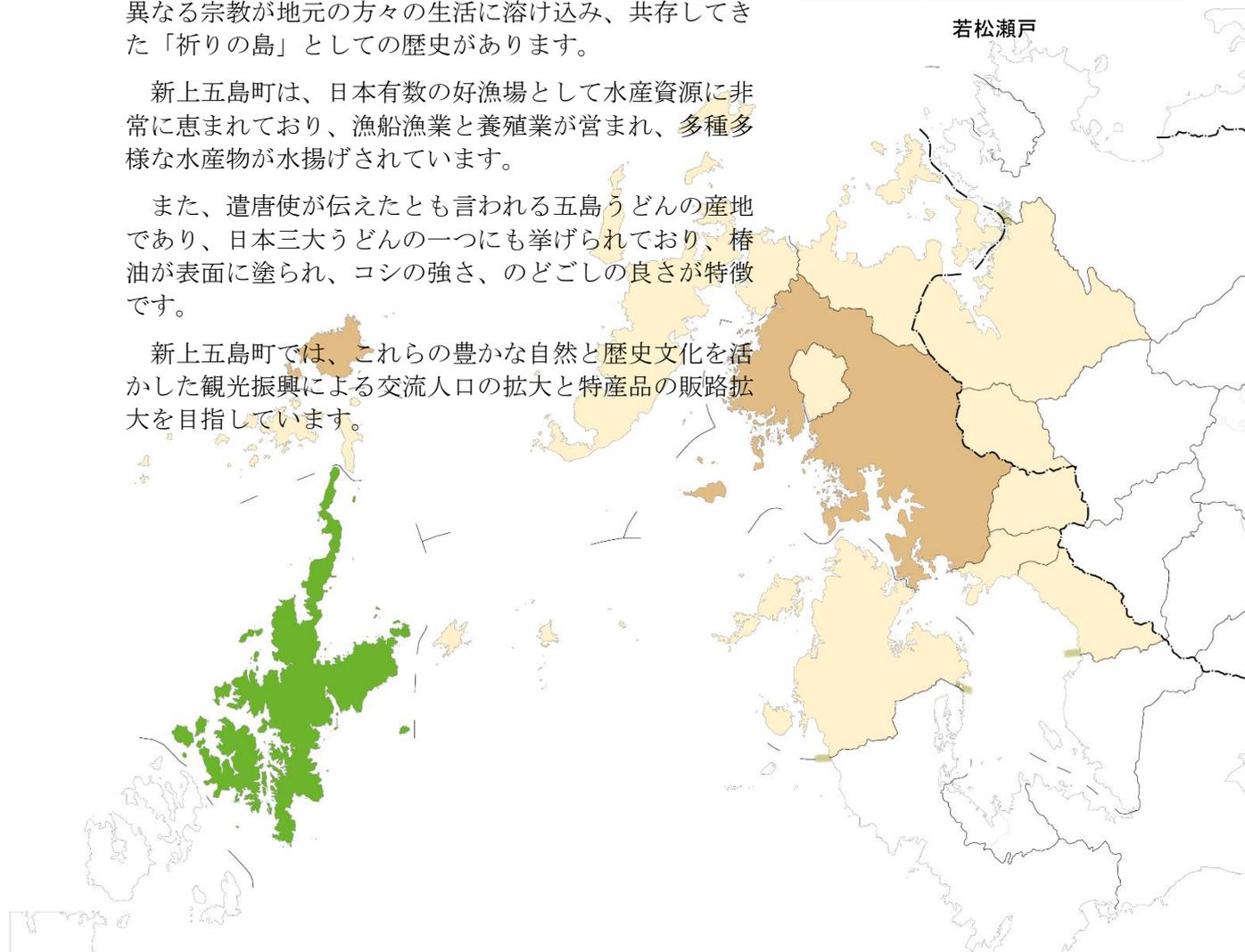
新上五島町では、これらの豊かな自然と歴史文化を活かした観光振興による交流人口の拡大と特産品の販路拡大を目指しています。



頭ヶ島天主堂



若松瀬戸



# 11 伊万里市

面積：255.26 km<sup>2</sup> 人口：52,629人（令和2年国勢調査等）

伊万里市は、圏域の北東部、佐賀県の西北部に位置し、面積約255 km<sup>2</sup>、人口約5万3,000人を有しています。

中心市街地は江戸時代に当時は「伊万里」と称される肥前磁器の積み出し港として栄え、また、大川内山では陶磁美の粋を結晶させた「鍋島」を生み出すなど、文化的な都市として繁栄してきました。「伊万里焼」の名称は国内のみならず世界的にも著名であり、平成28年には「日本磁器のふるさと 肥前」として近隣市町とともに日本遺産に認定されました。

伊万里ブランドとして名高い伊万里牛や伊万里梨に代表される農業が市内各地で営まれています。

今日では、臨海部を中心に製造業が集積し、伊万里港においては、国の重点港湾および日本海側拠点港に選定されるとともに、韓国・釜山、中国・大連、上海などとの国際コンテナ定期航路が開設され、九州でも有数のコンテナ取扱港となっています。

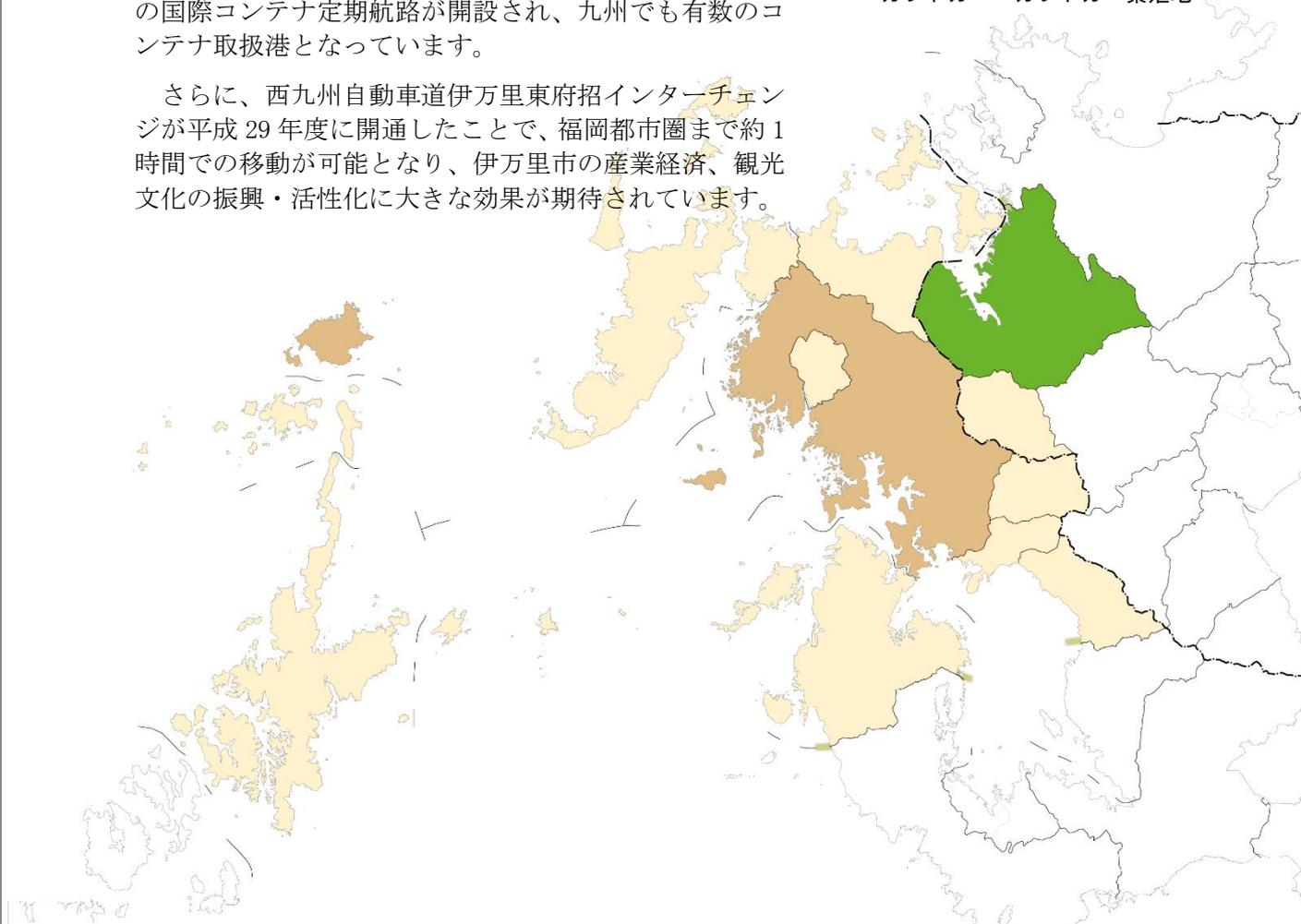
さらに、西九州自動車道伊万里東府招インターチェンジが平成29年度に開通したことで、福岡都市圏まで約1時間での移動が可能となり、伊万里市の産業経済、観光文化の振興・活性化に大きな効果が期待されています。



伊万里津大橋



カブトガニ・カブトガニ繁殖地



# 12 有田町

面積：65.85 km<sup>2</sup> 人口：19,010 人（令和2年国勢調査等）

有田町は、圏域の東部、佐賀県の西部に位置し、面積約66 km<sup>2</sup>、人口約1万9,000人を有しています。

平成18年3月1日に、旧有田町と旧西有田町が合併し、新しい「有田町」が誕生しました。美しい景観を誇る田園地帯や、黒髪連山など豊かな自然に恵まれた町です。

古くからやきものの町として有名な有田町は、1616年に朝鮮人陶工李参平らによって泉山に陶石が発見され、日本で初めて磁器が焼かれました。以来、佐賀藩のもとで、磁器生産が本格化し、谷あいには「有田千軒」と呼ばれる町並みが形成され、繁栄を極めました。

この町並みは、現在も歴史的価値の高い建物が数多く残っており、平成3年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に、平成29年には国際記念物遺跡会議（イコモス）の国内委員会の後世に残したい「日本の20世紀遺産20選」に選定されています。

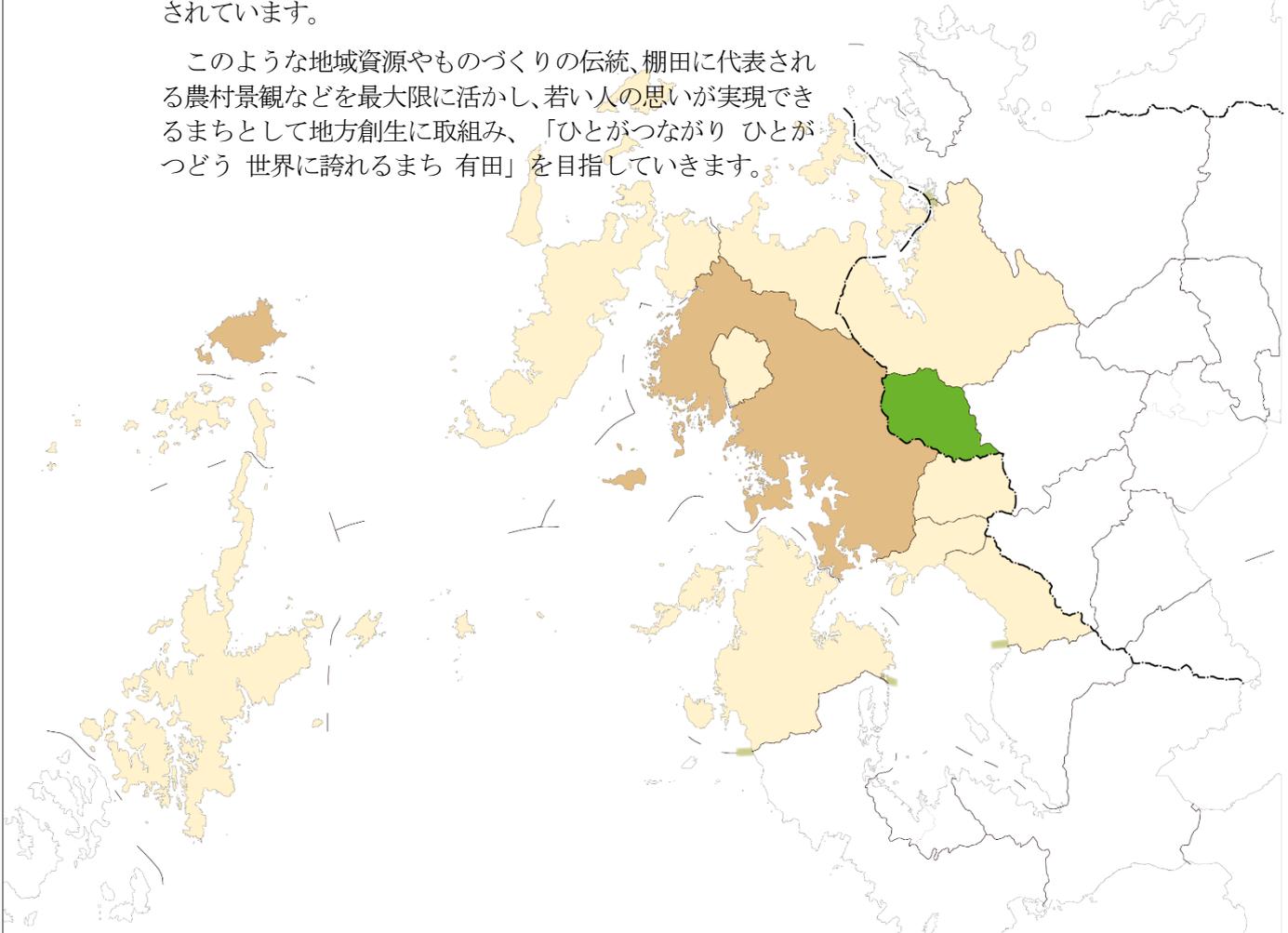
このような地域資源やものづくりの伝統、棚田に代表される農村景観などを最大限に活かし、若い人の思いが実現できるまちとして地方創生に取組み、「ひとつがつながり ひとつが つどう 世界に誇れるまち 有田」を目指していきます。



内山地区の町並み



岳の棚田（Tシャツアート）



## 2 圏域の人口動態

### (1) 圏域の総人口及び将来推計人口の推移

圏域の総人口は、現在に至るまで減少傾向が続いており、将来推計においても減少し続け、令和32（2050）年には、30万人を下回ると予測されています。

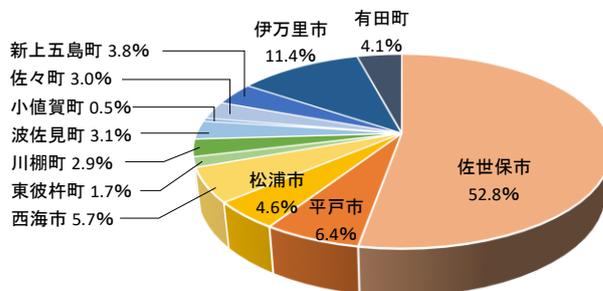
構成市町の中では、令和2年国勢調査において佐々町が唯一増加傾向にありましたが、長期的には全ての構成市町が減少に転じています。

〔図表 1-1 圏域構成市町の総人口及び将来推計人口推移〕

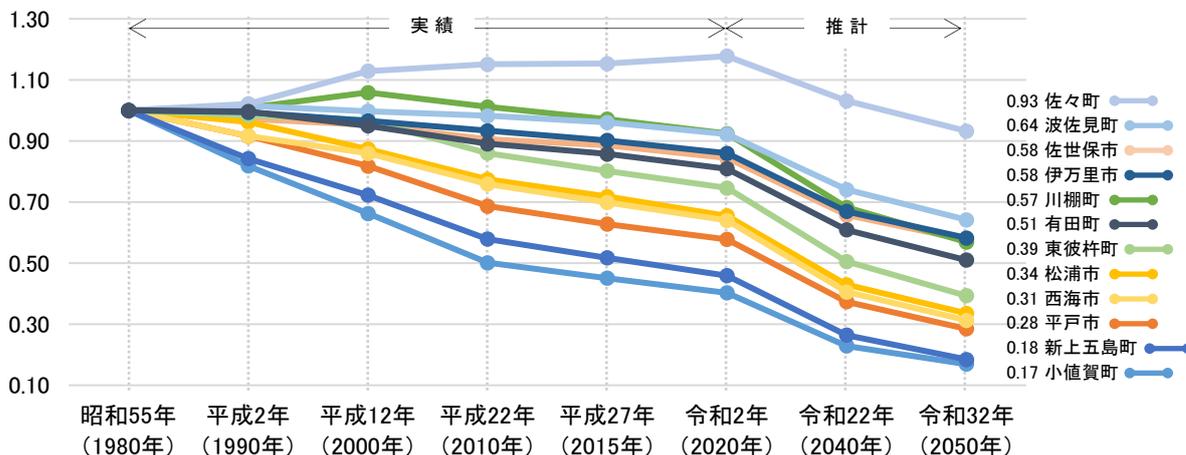
	実績						推計	
	昭和55年 (1980年)	平成2年 (1990年)	平成12年 (2000年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)
佐世保市	288,231	280,261	274,399	261,101	255,439	243,223	189,500	165,944
平戸市	50,849	46,572	41,586	34,905	31,920	29,365	18,999	14,473
松浦市	32,478	31,254	28,370	25,145	23,309	21,271	13,944	10,888
西海市	41,064	37,610	35,288	31,176	28,691	26,275	16,641	12,827
東彼杵町	10,353	10,188	10,026	8,903	8,298	7,721	5,229	4,073
川棚町	14,479	14,599	15,325	14,651	14,067	13,377	9,883	8,232
波佐見町	15,498	15,728	15,462	15,227	14,891	14,291	11,479	9,942
小値賀町	5,684	4,651	3,765	2,849	2,560	2,288	1,300	963
佐々町	11,812	12,068	13,335	13,599	13,626	13,912	12,184	11,017
新上五島町	38,140	32,123	27,559	22,074	19,718	17,503	10,074	7,024
伊万里市	61,243	60,882	59,143	57,161	55,238	52,629	40,992	35,675
有田町	23,495	23,413	22,314	20,929	20,148	19,010	14,305	11,980
圏域合計	593,326	569,349	546,572	507,720	487,905	460,865	344,530	293,038

〔図表 1-2 圏域の人口構成比及び将来推計人口推移〕

(人口構成比: 令和2年国勢調査)



(人口推移: 昭和55(1980)年を1.0とした場合)



(出典)「令和2年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年12月)

## (2) 圏域の年齢別の人口及び将来推計人口の推移

圏域の年齢別の人口は、年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15歳～64歳）及び老年人口（65歳以上）の全ての年代で減少傾向が続くと予測されていますが、75歳以上（後期高齢者）の人口は、令和12（2030）年までは増加し、以降、減少に転じる予測となっています。

また、年齢別人口構成比の推移については、生産年齢人口は顕著な減少傾向、年少人口は令和12年までは減少し、それ以降は約10%台を維持、老年人口は顕著な増加傾向で予測されています。

〔図表2-1 圏域の年齢別人口長期推移〕

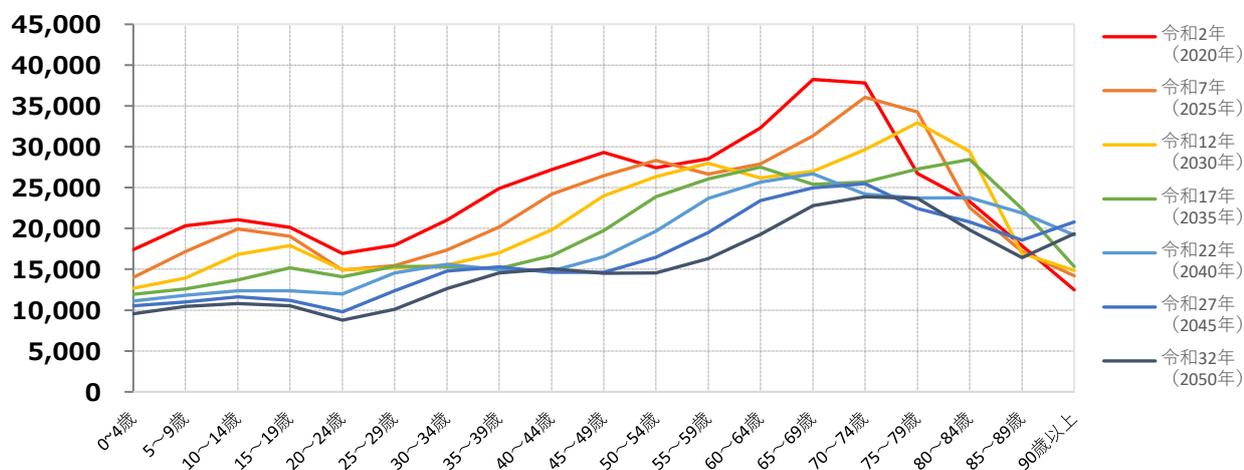
(単位:人)

	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)
総数	460,865	427,000	399,131	371,593	344,530	318,269	293,038
0～4歳	17,390	14,018	12,692	11,920	11,098	10,526	9,540
5～9歳	20,342	17,151	13,937	12,608	11,831	11,017	10,467
10～14歳	21,062	19,918	16,831	13,689	12,375	11,610	10,813
15～19歳	20,110	19,018	17,909	15,172	12,366	11,191	10,524
20～24歳	16,948	14,890	14,957	14,098	11,987	9,771	8,790
25～29歳	17,941	15,458	15,188	15,381	14,534	12,383	10,083
30～34歳	21,008	17,366	15,519	15,307	15,603	14,792	12,623
35～39歳	24,908	20,150	16,996	15,111	14,941	15,306	14,547
40～44歳	27,204	24,191	19,835	16,674	14,781	14,644	15,055
45～49歳	29,305	26,468	23,995	19,733	16,546	14,636	14,526
50～54歳	27,408	28,319	26,316	23,877	19,668	16,451	14,530
55～59歳	28,506	26,639	27,973	26,055	23,682	19,512	16,303
60～64歳	32,312	27,899	26,189	27,520	25,681	23,392	19,290
65～69歳	38,233	31,308	26,991	25,378	26,693	24,959	22,780
70～74歳	37,819	36,031	29,668	25,664	24,186	25,476	23,880
75～79歳	26,737	34,237	32,928	27,272	23,719	22,446	23,687
80～84歳	23,300	22,564	29,403	28,437	23,761	20,811	19,821
85～89歳	17,865	17,159	16,927	22,385	21,880	18,558	16,441
90歳以上	12,467	14,216	14,877	15,312	19,198	20,788	19,338
0～14歳	58,794	51,087	43,460	38,217	35,304	33,153	30,820
15～64歳	245,650	220,398	204,877	188,928	169,789	152,078	136,271
65歳以上※	156,421	155,515	150,794	144,448	139,437	133,038	125,947
75歳以上	80,369	88,176	94,135	93,406	88,558	82,603	79,287

※65歳以上は75歳以上人口含む

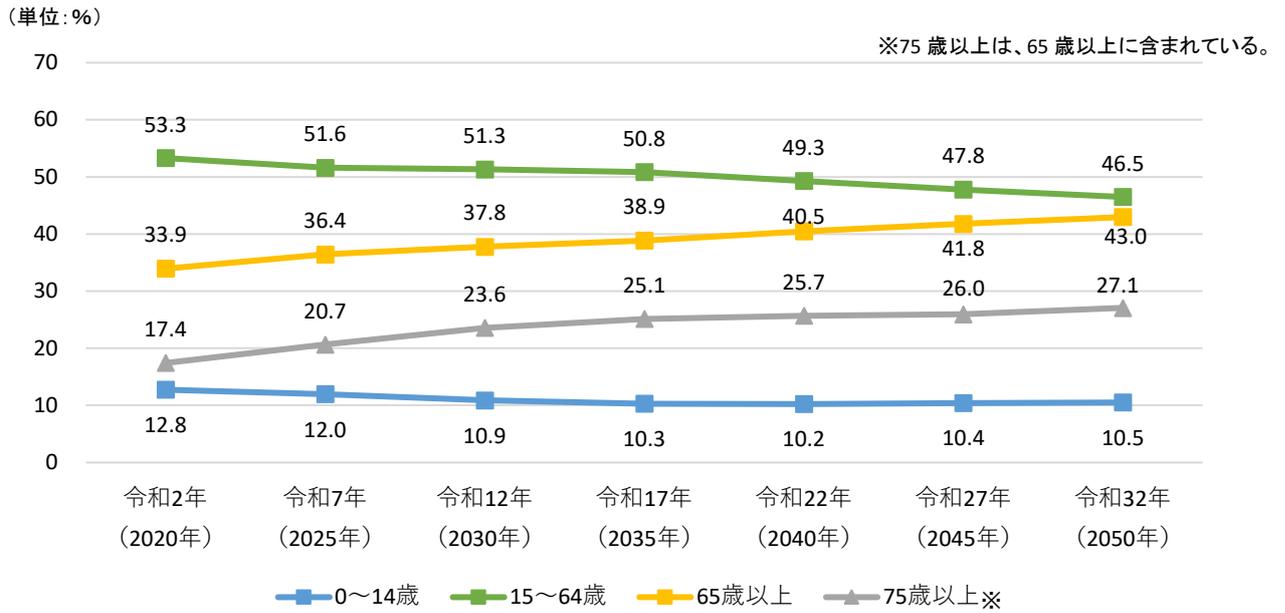
(単位:人)

〔図表2-2 圏域の年齢別人口長期推移〕



(出典)「令和2年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年12月)

〔図表2-3 圏域の年齢別人口構成比率推移〕

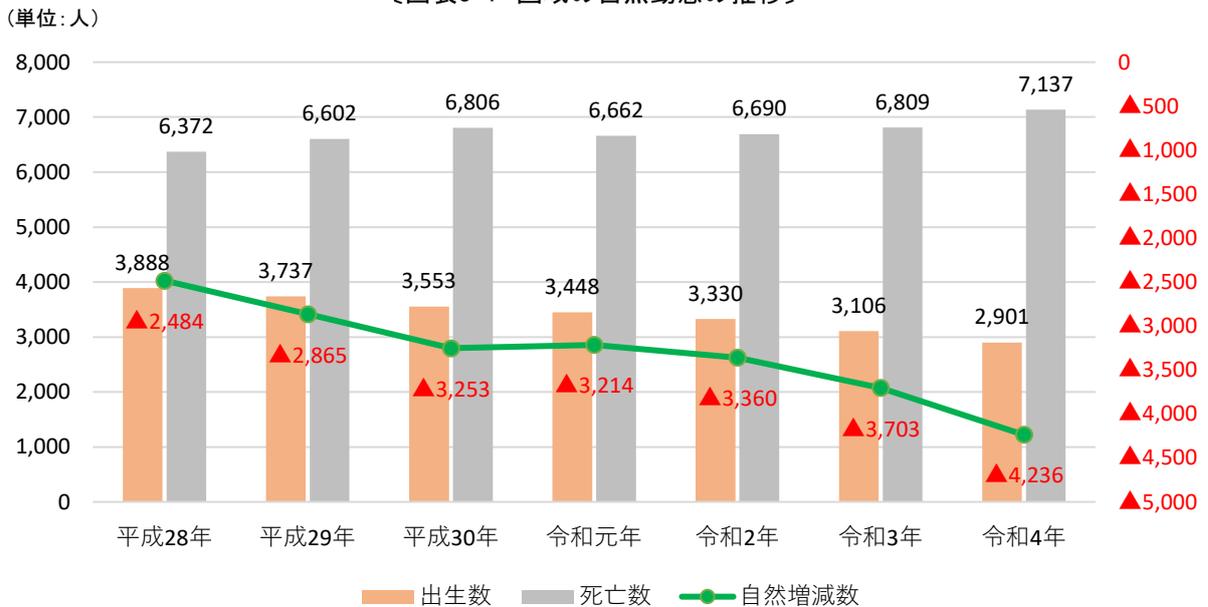


(出典)「令和2年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年12月)

### (3) 圏域の自然動態

少子高齢化の進行により、圏域の自然動態は出生数が減少、死亡数が増加傾向となっており、自然減の拡大傾向で推移しています。

〔図表3-1 圏域の自然動態の推移〕



(出典)厚生労働省「人口動態調査」

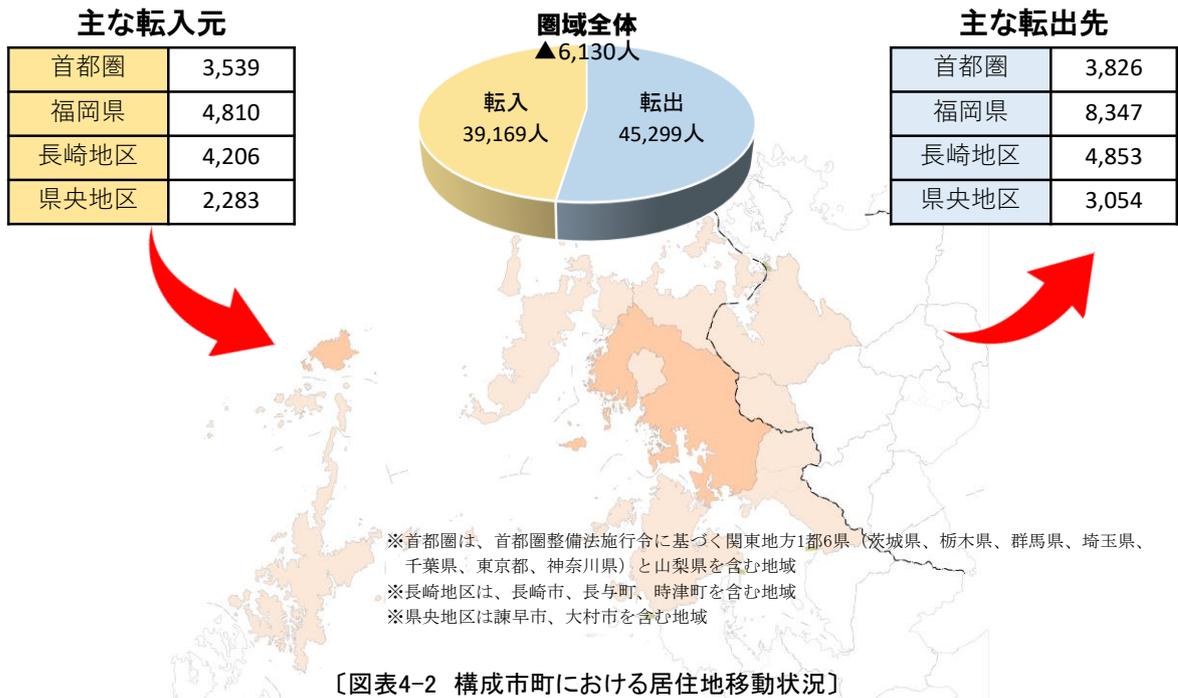
#### (4) 圏域の社会動態

圏域全体では、5年間で6,130人の転出超過となっています。

特に首都圏・福岡県への転出者数は12,173人で転出者全体の約26.9%を占めており、約4人に1人が首都圏・福岡県へ転出していることとなります。

圏域内の動きでは、佐世保市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、伊万里市、有田町が転入超過となっているものの、圏域外の動きも合わせると、小値賀町、佐々町を除き、転出超過となっています。

〔図表4-1 圏域の社会動態の状況〕



〔図表4-2 構成市町における居住地移動状況〕

	①内訳													②内訳(一部)				③全体計 ①+②	
	①	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	②	首都圏	福岡県	長崎地区		県央地区
佐世保市	93	247	175	197	0	▲79	▲145	▲27	▲224	40	▲4	▲87	▲2,480	▲262	▲2,126	▲251	▲353	▲2,387	
平戸市	▲427	▲247	▲46	▲2	1	▲17	▲5	1	▲89	▲4	▲20	1	▲374	55	▲206	▲72	▲43	▲801	
松浦市	▲307	▲175	46	▲6	2	▲5	▲4	0	▲12	6	▲153	▲6	▲384	▲22	▲163	▲31	▲35	▲691	
西海市	▲237	▲197	2	6	6	▲18	▲12	▲4	▲14	▲5	7	▲8	▲425	13	▲149	▲210	▲65	▲662	
東彼杵町	113	0	▲1	▲2	▲6	110	17	▲1	▲4	▲1	4	▲3	▲122	▲3	▲52	0	▲65	▲9	
川棚町	31	79	17	5	18	▲110	28	▲4	0	0	0	▲2	▲310	▲22	▲79	▲18	▲71	▲279	
波佐見町	83	145	5	4	12	▲17	▲28	1	▲2	7	▲9	▲35	▲232	▲12	▲64	25	▲52	▲149	
小値賀町	36	27	▲1	0	4	1	4	▲1	1	1	0	0	3	16	▲6	0	▲3	39	
佐々町	359	224	89	12	14	4	0	2	▲1	0	10	5	37	▲1	▲82	32	▲13	396	
新上五島町	▲45	▲40	4	▲6	5	1	0	▲7	▲1	0	▲1	0	▲481	12	▲157	▲143	▲99	▲526	
伊万里市	201	4	20	153	▲7	▲4	0	9	0	▲10	1	35	▲927	▲19	▲334	33	▲3	▲726	
有田町	100	87	▲1	6	8	3	2	35	0	▲5	0	▲35	▲435	▲42	▲119	▲12	31	▲335	
合計	0	▲93	427	307	237	▲113	▲31	▲83	▲36	▲359	45	▲201	▲100	▲6,130	▲287	▲3,537	▲647	▲771	▲6,130

※5年前（平成27年10月1日）の居住地移動状況集計（5年前にどこに居住していたのか）  
 （出典）「令和2年国勢調査」(5年前(平成27年10月1日)の居住地移動状況集計)

## (5) 構成市町から佐世保市への通勤・通学の状況

佐世保市への通勤通学割合は、佐々町、川棚町、波佐見町及び西海市が10%を超えており、その中でも佐々町から佐世保市への通勤通学割合が46.2%と高くなっています。

〔図表 5-1 佐世保市への通勤通学割合〕

構成市町	就業・通学者数(人) (A)	佐世保市への 就業・通学者数(人) (B)	佐世保市への 通勤通学割合(%) (C) = (B) / (A) × 100
平戸市	13,870	1,044	7.5
松浦市	11,290	957	8.5
西海市	13,317	1,394	10.5
東彼杵町	3,859	304	7.9
川棚町	7,376	1,851	25.1
波佐見町	7,942	1,725	21.7
小値賀町	913	3	0.3
佐々町	7,985	3,687	46.2
新上五島町	8,267	12	0.1
伊万里市	29,457	612	2.1
有田町	10,493	881	8.4

※「就業・通学者数」は、自宅での従業者数および就業・通学先不詳者数を除く。

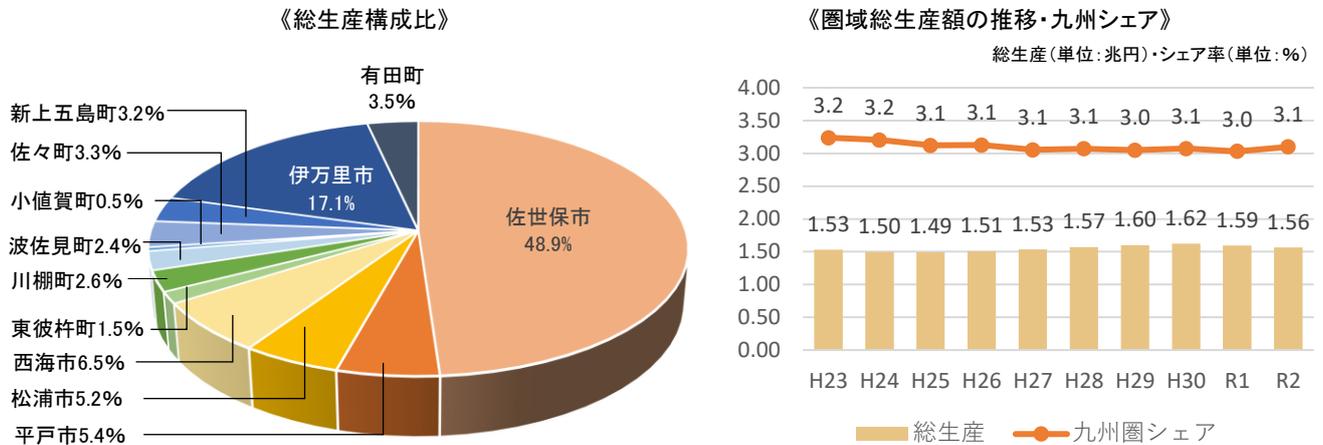
(出典)「令和2年国勢調査」

## (1)産業全体

## ①総生産・課税対象所得

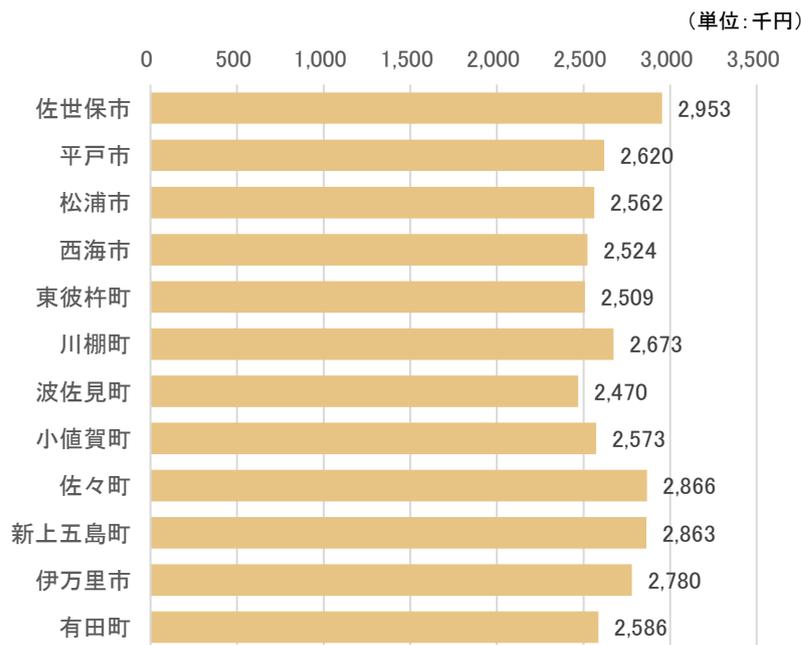
圏域の総生産は1.6兆円前後、圏域の総生産の約半分は佐世保市、次に伊万里市が大きなウェイトを占めています。また、九州圏（沖縄含む）におけるシェアは3.0%程度で推移しています。一方、圏域における納税義務者1人当たりの課税対象所得は佐世保市が最も多く、次に佐々町と新上五島町がほぼ同程度で続きます。

〔図表6-1 圏域の総生産〕



(出典)長崎県・佐賀県「令和2年度市町民経済計算」

〔図表6-2 圏域の納税義務者1人当たりの課税対象所得(令和4年度課税)〕



※納税義務者1人当たりの課税対象所得＝課税所得÷納税義務者数

(出典)「令和4年度市町村税課税状況等の調」

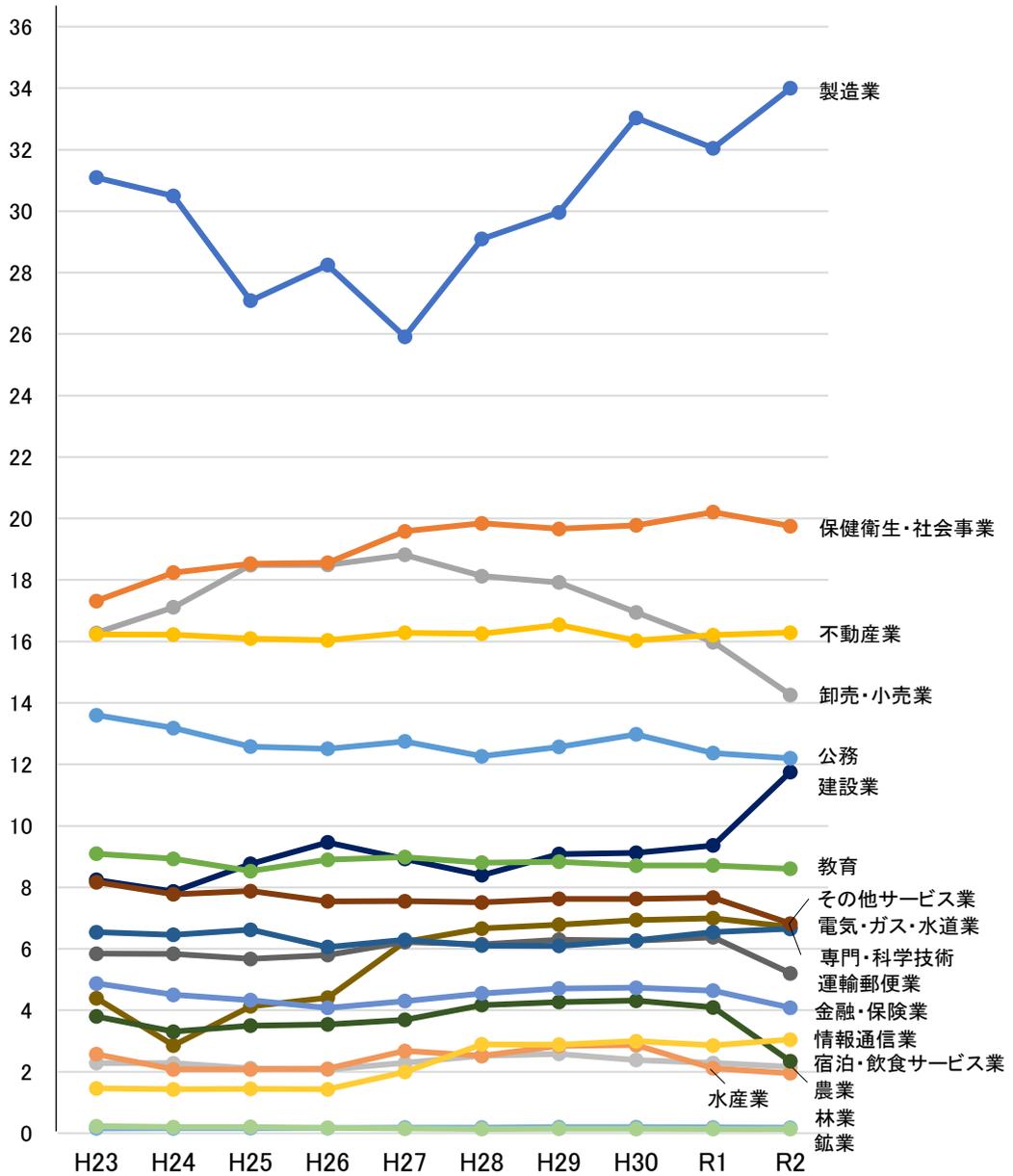
## ②総生産(経済活動別)

圏域の総生産を経済活動別に見ると、「製造業」が最も多く、次いで「保健衛生・社会事業」、「不動産業」の順で続いています。

年度ごとの推移を見ると、多くの産業においては概ね長期的に横ばい傾向ですが、近年では、「製造業」及び「建設業」が増加傾向となっています。

〔図表6-3 圏域の総生産(経済活動別)〕

(単位:百億円)

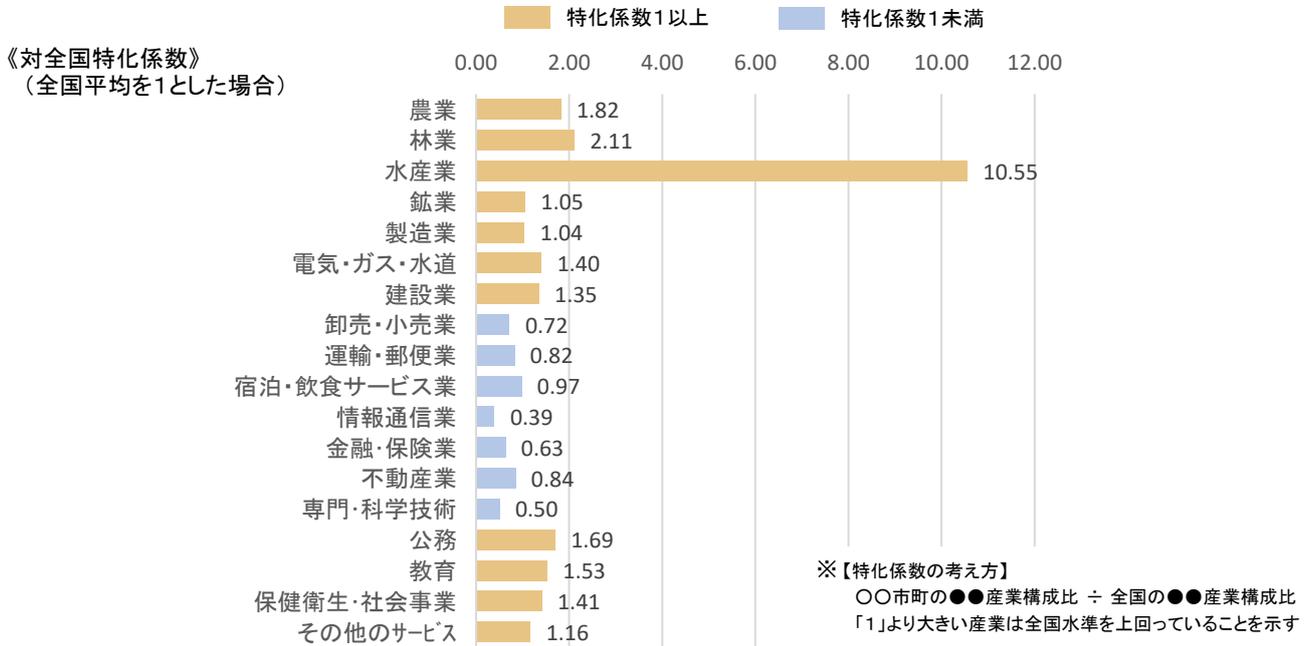


(出典)長崎県・佐賀県「令和2年度市町民経済計算」

### ③総生産(産業別:特化係数)

産業別の特化傾向を見ると、全国比較では、第一次産業である水産業の特化が著しくなっています。また、長崎県・佐賀県比較では水産業、林業、公務等に特化傾向が見られます。

〔図表6-4 圏域の総生産(産業別特化係数)〕



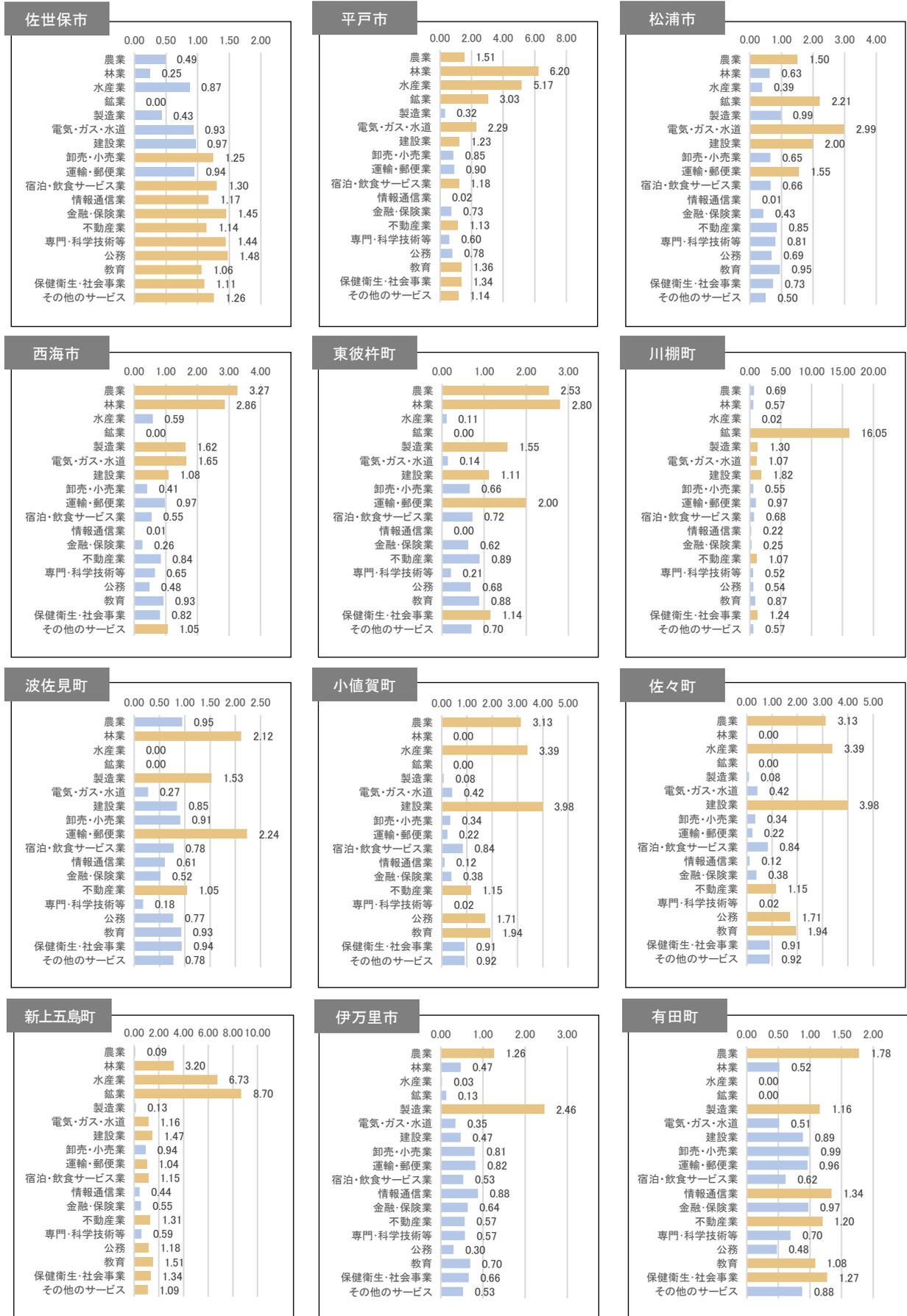
(出典)長崎県・佐賀県「令和2年度市町民経済計算」  
内閣府「令和2年度県民経済計算」

〔図表6-5 圏域の総生産(産業別特化係数)構成市町別〕

【算出式】自市町構成比÷圏域構成比

■ 特化係数1以上

■ 特化係数1未満



(出典)長崎県・佐賀県「令和2年度市町民経済計算」

#### ④産業別事業所数及び従業員数

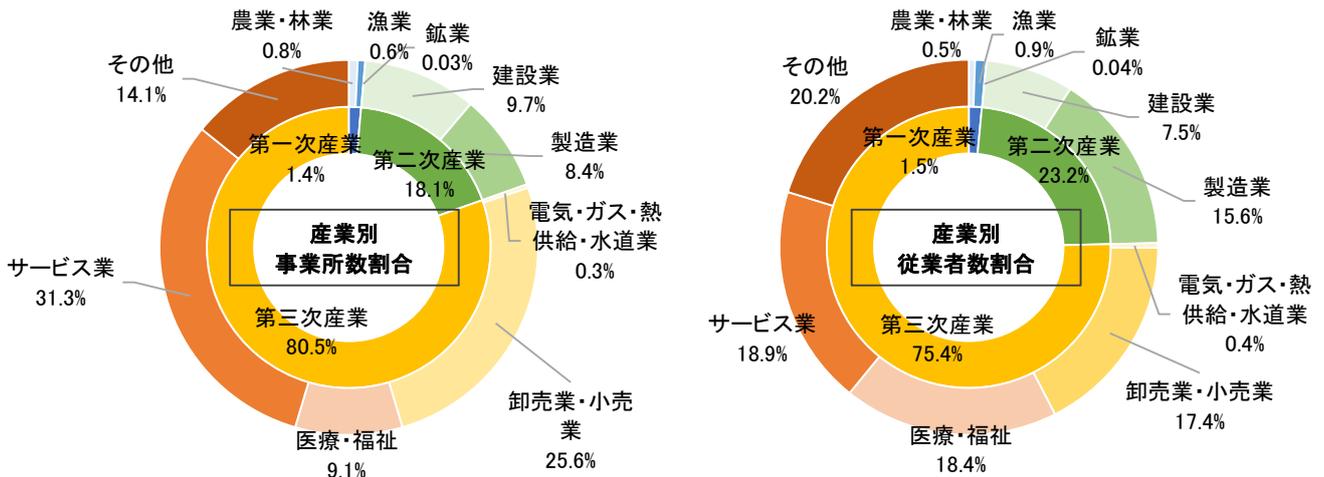
圏域の総事業所数は21,558箇所、総従業員数は204,554人で、そのうち事業所数47.6%、従業員数52.7%が佐世保市に集中しています。

その中で、第一次産業では佐世保市、平戸市、松浦市、西海市に事業所及び従業員の集積が見られるほか、第二次産業では佐世保市、伊万里市、波佐見町の集積が大きくなっており、第三次産業では佐世保市、伊万里市の集積が大きくなっています。

〔図表7-1 構成市町の産業別事業所数及び従業員数(産業別)〕

	合計		第一次産業		第二次産業		第三次産業	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
佐世保市	10,254	107,707	79	1,159	1,502	16,646	8,673	89,902
平戸市	1,717	11,932	43	561	301	2,259	1,373	9,112
松浦市	1,086	9,464	46	318	178	2,769	862	6,377
西海市	1,049	11,136	39	387	202	3,832	808	6,917
東彼杵町	289	3,072	3	12	73	869	213	2,191
川棚町	522	4,800	5	8	103	1,427	414	3,365
波佐見町	918	6,818	10	81	388	3,190	520	3,547
小値賀町	163	819	2	22	26	94	135	703
佐々町	624	5,541	4	36	107	1,641	513	3,864
新上五島町	1,111	6,813	31	290	196	1,180	884	5,343
伊万里市	2,614	27,666	30	101	488	10,219	2,096	17,346
有田町	1,211	8,786	8	49	347	3,246	856	5,491
合計	21,558	204,554	300	3,024	3,911	47,372	17,347	154,158

〔図表7-2 圏域の産業別事業所数割合及び従業員数割合(産業別)〕



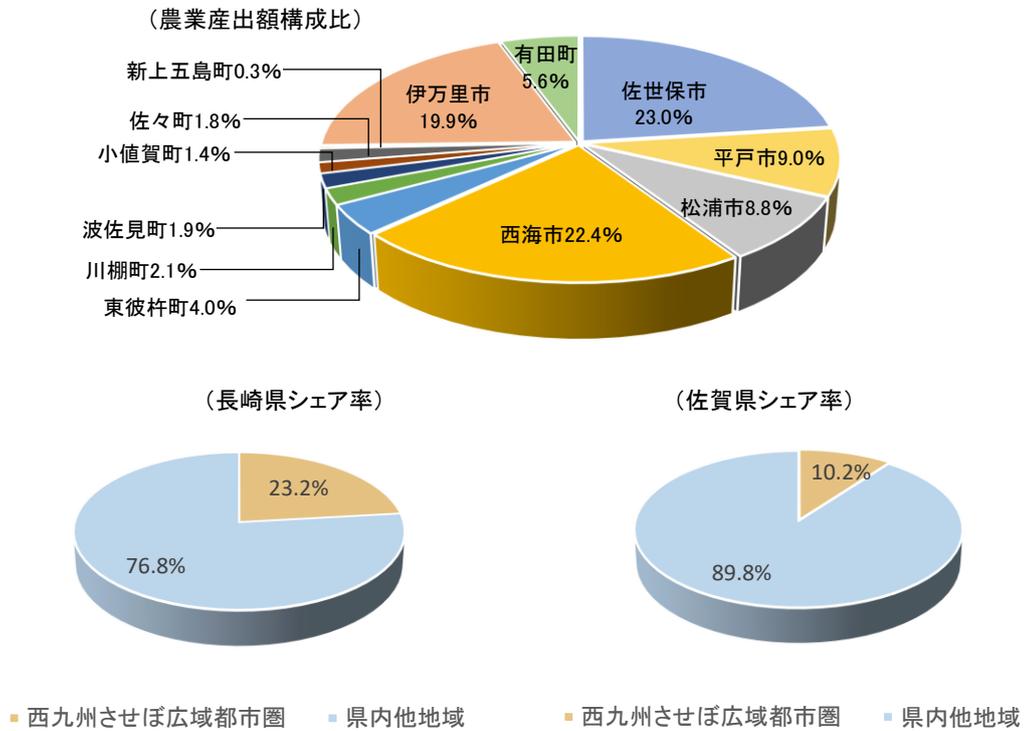
(出典)「令和3年経済センサス-活動調査」

(2)農林業

①農業算出額

農業産出額は、佐世保市が圏域内シェア率23.0%でトップとなっており、次いで西海市、伊万里市が続いています。

〔図表8-1 圏域の農業産出額〕



(農業産出額)

(単位:1000万円)



(出典) 農林水産省「令和3年市町村別農業産出額(推計)」

〔図表8-2 品目別農業産出額 上位5品目：構成市町別〕

(単位：1000万円)

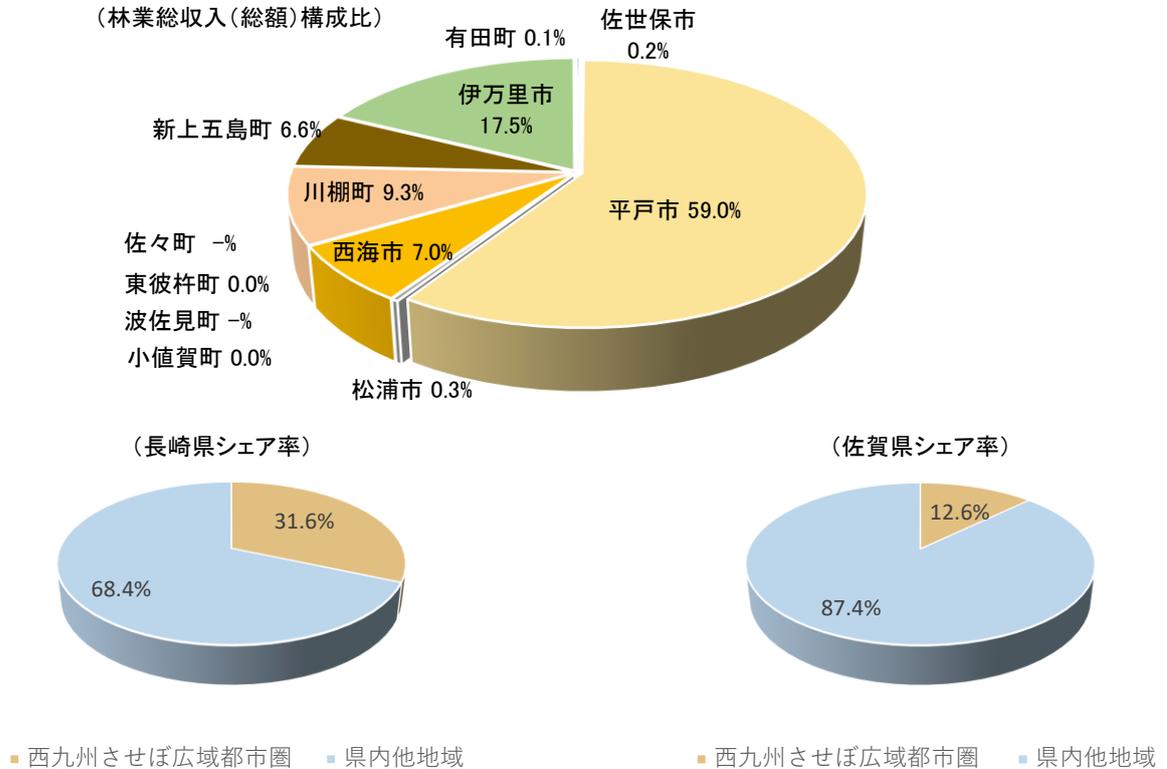
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
佐世保市	果実(256)	肉用牛(213)	野菜(161)	米(126)	乳用牛(93)
平戸市	肉用牛(192)	米(93)	野菜(75)	いも類(24)	鶏(20)
松浦市	肉用牛(149)	米(67)	野菜(47)	花き(36)	工芸農作物(20)
西海市	豚(477)	野菜(188)	果実(176)	肉用牛(81)	鶏(61)
東彼杵町	肉用牛(42)	野菜(40)	工芸農作物(38)	米(29)	果実(20)
川棚町	肉用牛(52)	果実(15)	野菜(12)	米(10)	花き(6) 鶏(6)
波佐見町	米(32)	肉用牛(23)	野菜(11)	鶏(10)	果実(4)
小値賀町	肉用牛(44)	野菜(14)	米(7)	いも類(1) 工芸農作物(1) 豆類(1)	—
佐々町	肉用牛(34)	野菜(20)	米(16)	鶏(11)	工芸農作物(3)
新上五島町	肉用牛(8)	いも類(3)	野菜(2)	—	—
伊万里市	肉用牛(286)	果実(230)	野菜(146)	鶏(129)	米(123)
有田町	鶏(149)	肉用牛(49)	米(31)	野菜(14)	果実(8)

(出典)農林水産省「令和3年市町村別農業産出額(推計)」

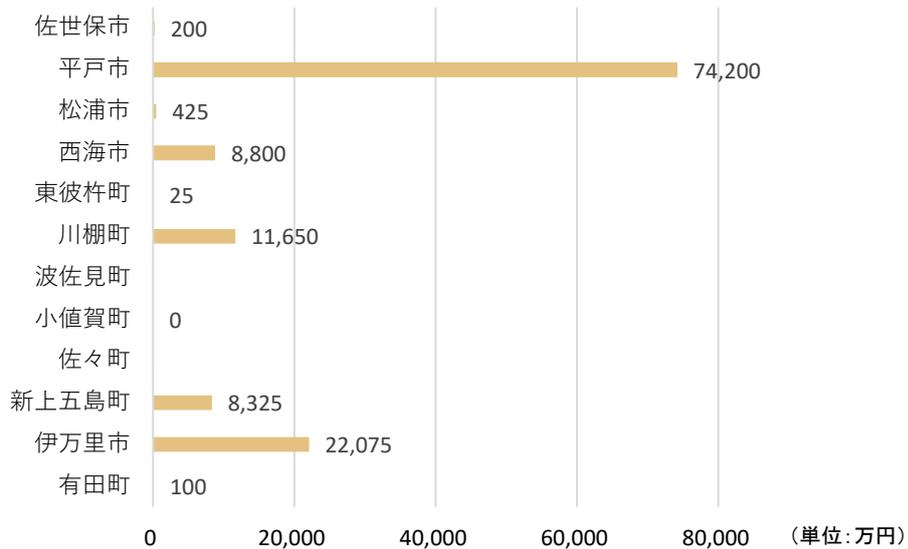
## ② 林業総収入

林業総収入は、平戸市が圏域内シェア率59.0%で最も多く、次に伊万里市が17.5%で続いています。

〔図表8-3 圏域の林業総収入〕



(林業総収入(総額))



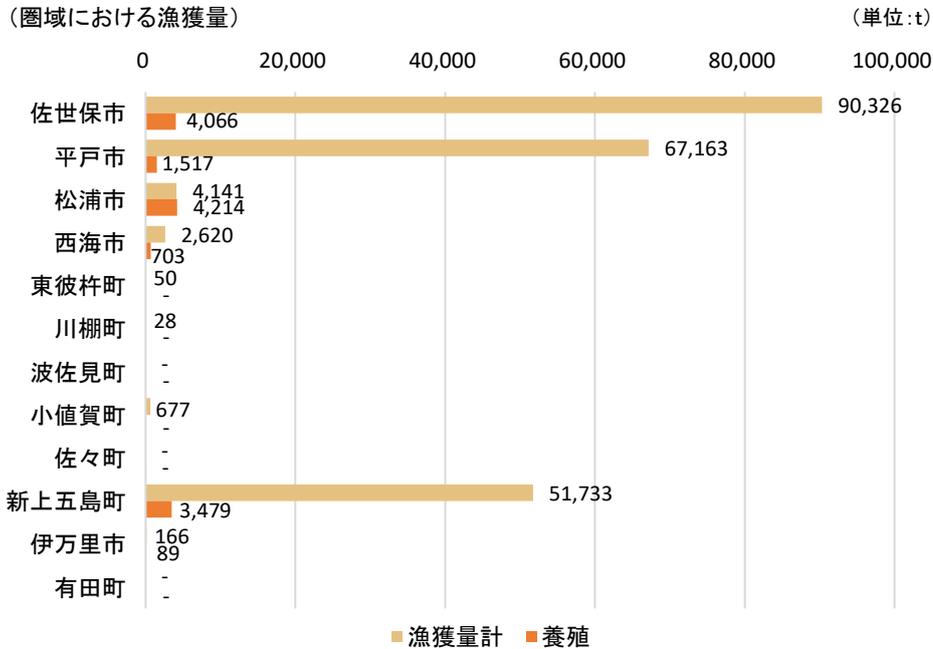
(出典)2020農林水産省「農林業センサス」再編加工

※波佐見町、佐々町は、調査対象者が少数などの理由により、秘密保護の観点から統計数値が公表されていない。

### (3)水産業

漁獲量は、佐世保市が最も多く、次いで平戸市、新上五島町の順が続いています。また、養殖業は、松浦市が最も多く、次いで佐世保市、新上五島町の順で続いています。

〔図表9-1 圏域の海面・養殖漁業漁獲量〕



(魚種別・海面漁獲量 上位5種)

(単位:t)

佐世保市	さば類	27,216	平戸市	さば類	29,756	松浦市	かたくちいわし	1,078
	かたくちいわし	20,567		まあじ	12,441		その他の魚類	778
	うるめいわし	11,995		まいわし	12,183		さば類	404
	まいわし	9,027		ぶり類	4,256		その他の海藻類	367
	まあじ	8,920		その他の魚類	2,599		まいわし	329
西海市	かたくちいわし	1,246	東彼杵町	その他の水産動物類	18	川棚町	その他の水産動物類	13
	その他の魚類	196		その他のいか類、その他	7		うに類、その他のえび類、その他	2
	さば類	177		の魚類	7		またい、さざえ、たこ類、その他	1
	まあじ	168		がざみ類、たこ類、いか	4		の貝類、その他のいか類、その他	1
	いさき	113		類	4		の海藻類	1
小値賀町	ぶり類	185	新上五島町	さば類	29,084	伊万里市	その他の魚類	82
	その他の魚類	170		まあじ	13,301		かたくちいわし	53
	いさき	147		ぶり類	4,051		その他の水産動物類	3
	たちうお	33		その他の魚類	2,022		しらす、さば類、さわら類	2
	その他のいか類	27		うるめいわし	845			

(魚種別・養殖漁獲量 上位5種)

佐世保市	ぶり	935	平戸市	ぶり	980	松浦市	ぶり	2,265
	その他のぶり類	541		ふぐ類	138		ふぐ類	610
	かき類(殻付き)	525		またい	108		またい	349
	またい	509		その他のぶり類	58		その他の魚類	82
	その他の魚類	157		その他の魚類	17		-	-
西海市	わかめ類	187	新上五島町	ぶり	2,091	伊万里市	ふぐ類	27
	かき類(殻付き)	52		くろまぐろ	686		かき類(殻付き)	11
	-	-		その他のぶり類	455		-	-
	-	-		かき類(殻付き)	224		-	-
	-	-		その他の貝類	10		-	-

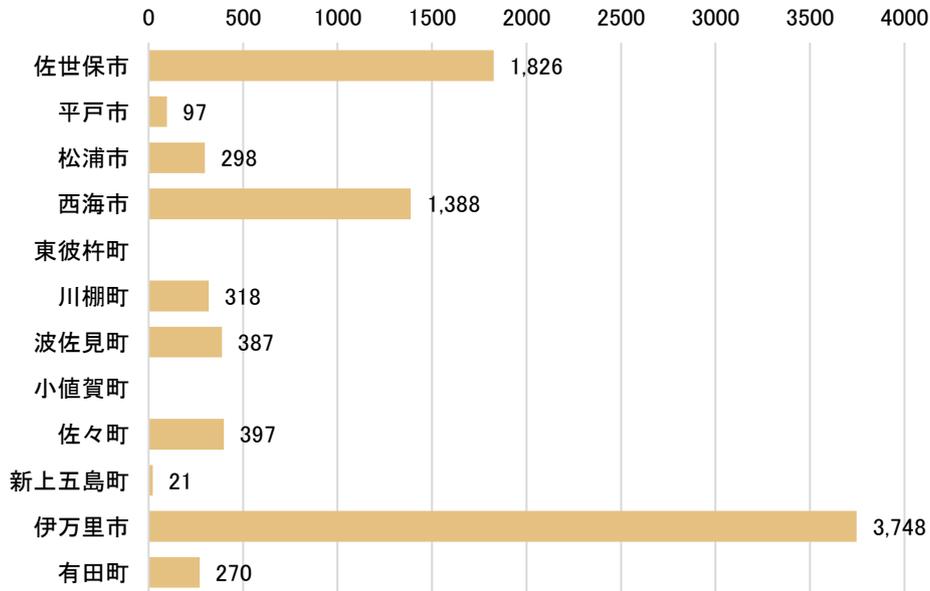
(出典)「平成30年海面漁業生産統計調査」

(4)製造業

製造業は、造船業（輸送用機械器具製造業）を中心とした工業集積が進んでいます。圏域内では伊万里市が最も多く、次いで佐世保市、西海市の順で続いています。

〔図表10-1 圏域の製造品出荷額〕

(製造品出荷額<従業者4人以上の事業所>) (単位:億円)



※東彼杵町、小値賀町については、調査対象者が少数などの理由により、秘密保護の観点から、統計数値が公表されていない。

(分野別製造品出荷額<従業者4人以上の事業所>)

(単位:億円)

市町村	製造品出荷額 (億円)	製造業	製造品出荷額 (億円)	製造業	製造品出荷額 (億円)	製造業		
佐世保市	611	輸送用機械器具製造業	平戸市	29	輸送用機械器具製造業	松浦市	72	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
	294	食料品製造業		23	食料品製造業		69	輸送用機械器具製造業
	254	はん用機械器具製造業		16	プラスチック製品製造業(別掲を除く)		50	食料品製造業
	132	飲料・たばこ・飼料製造業		10	窯業・土石製品製造業		12	金属製品製造業
	87	窯業・土石製品製造業		6	繊維工業		11	繊維工業
西海市	1,262	輸送用機械器具製造業	東彼杵町	-	-	川棚町	-	-
	18	窯業・土石製品製造業		-	-		-	-
	11	繊維工業		-	-		-	-
	10	食料品製造業		-	-		-	-
波佐見町	-	-	小値賀町	-	-	佐々町	-	-
	-	-		-	-		-	-
	-	-		-	-		-	-
	-	-		-	-		-	-
新上五島町	-	-	伊万里市	1,911	電子部品・デバイス・電子回路製造業	有田町	-	-
	-	-		1,001	輸送用機械器具製造業		-	-
	-	-		195	食料品製造業		-	-
	-	-		176	木材・木製品製造業(家具を除く)		-	-
				164	飲料・たばこ・飼料製造業			

※「-」は、集計対象者が少数などの理由により、秘密保護の観点から統計数値が公表されていない。または、該当値なし。

(出典)「令和3年経済センサス-活動調査」

## (5)小売業

### ①小売業年間販売額

年間商品販売額（総額、店舗あたり、従業者あたり）は、佐世保市が最も多くなっています。事業所あたりの年間商品販売額は佐々町や伊万里市でも多くなっています。

〔図表11-1 圏域の小売年間販売額〕



(出典)「令和3年経済センサス-活動調査」



## (6)観光

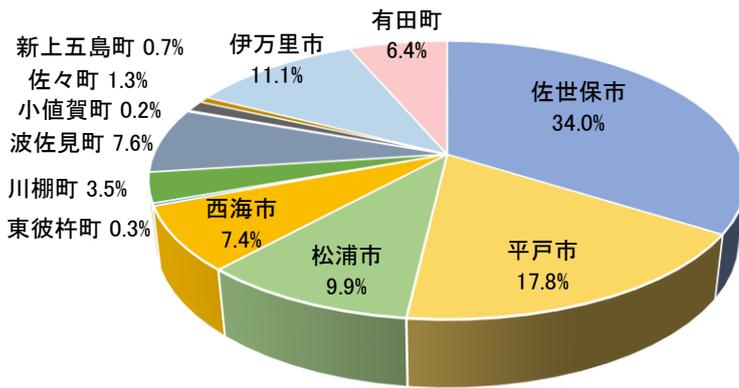
### ①観光客数

佐世保市が圏域全体の観光客数割合34.0%で最も多くなっています。

観光客数は横ばい傾向でしたが、令和2年にはコロナウイルスの影響を受けて激減しています。

〔図表12-1 圏域への観光客数〕

(令和3年 観光客数割合(実数))

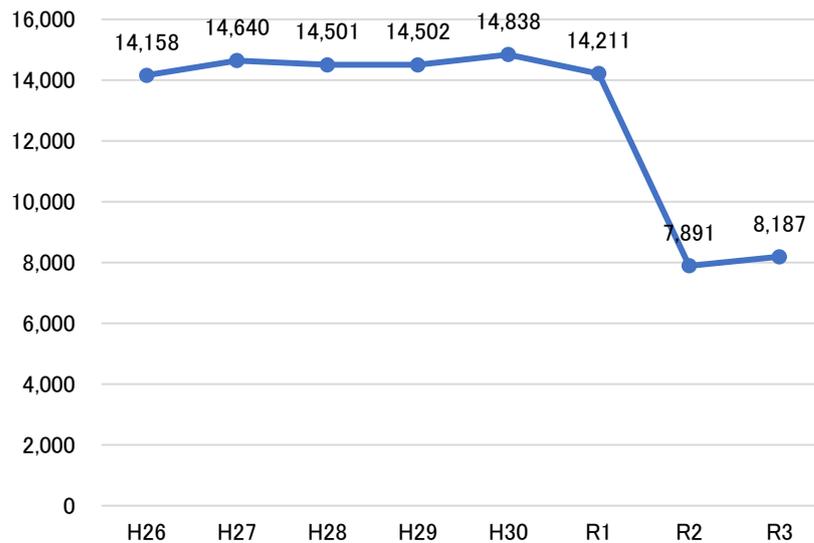


(令和3年 観光客数(実数))



(圏域の観光客数推移(実数))

(単位:千人)



(出典)「令和3年長崎県観光統計」、「令和3年佐賀県観光客動態調査」

〔図表12-2 都道府県別・観光客数順位(令和4年1月～12月)※多い順〕

佐世保市		平戸市		松浦市	
1位	福岡県	1位	福岡県	1位	福岡県
2位	東京都	2位	長崎県	2位	長崎県
3位	大阪府	3位	東京都	3位	熊本県
4位	神奈川県	4位	佐賀県	4位	神奈川県
5位	埼玉県	5位	大阪府	5位	愛知県
6位	愛知県	6位	神奈川県	6位	大阪府
7位	兵庫県	7位	愛知県	7位	広島県
8位	長崎県	8位	熊本県	8位	千葉県
9位	千葉県	9位	兵庫県	9位	山口県
10位	広島県	10位	埼玉県	10位	佐賀県

西海市		川棚町		波佐見町	
1位	福岡県	1位	長崎県	1位	福岡県
2位	東京都	2位	福岡県	2位	長崎県
3位	長崎県	3位	大阪府	3位	東京都
4位	京都府	4位	熊本県	4位	熊本県
5位	兵庫県	5位	兵庫県	5位	宮崎県
6位	広島県	6位	愛知県	6位	鹿児島県
7位	滋賀県	7位	山口県	7位	兵庫県
8位	大阪府	8位	千葉県	8位	新潟県
9位	静岡県	9位	佐賀県	9位	神奈川県
10位	神奈川県	10位	東京都	10位	京都府

新上五島町		伊万里市	
1位	東京都	1位	福岡県
2位	神奈川県	2位	神奈川県
3位	大阪府	3位	東京都
4位	福岡県	4位	佐賀県
5位	長崎県	5位	熊本県
6位	愛知県	6位	大阪府
7位	千葉県	7位	愛知県
8位	兵庫県	8位	埼玉県
9位	京都府	9位	長崎県
10位	埼玉県	10位	大分県

(出典)観光予報プラットフォーム(令和4年1月～12月)  
 ※東彼杵町、小値賀町、佐々町、有田町はデータ無しのため非掲載

## ②クルーズ船乗船者数等

	乗船者数	寄港隻数	出典年度
佐世保港(佐世保市)	3,077人	6隻	令和4年度
青方港(新上五島町)	517人	1隻	令和4年度

(出典)各自自治体～照会

## (1)医療

圏域全体の病院数は51施設、一般診療所は394施設、歯科診療所は226施設となっており、人口1万人あたりの医師数は佐世保市が最も多く、次に川棚町となっています。

〔図表13-1 圏域の医療機関数〕 (単位:施設)

	病院			一般診療所	歯科診療所	人口1万人あたり 医師数(人/万人)
	一般	精神	合計			
佐世保市	18	6	24	221	130	28.7
平戸市	6	1	7	19	11	17.0
松浦市	2	0	2	17	7	8.9
西海市	1	1	2	21	9	12.9
東彼杵町	1	0	1	7	4	16.8
川棚町	1	0	1	10	6	21.7
波佐見町	1	1	2	12	7	16.8
小値賀町	0	0	0	2	1	8.7
佐々町	0	1	1	11	8	7.9
新上五島町	1	0	1	19	11	20.6
伊万里市	7	2	9	38	25	15.8
有田町	1	0	1	17	7	17.9
合計	39	12	51	394	226	22.4

## (主要指定病院)

項目	市町名	病院名
三次救急医療機関	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター/独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院/社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院/医療法人アリス会 京町病院/国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院/医療法人篤信会 杏林病院/医療法人雄人会 三川内病院/地方独立行政法人 北松中央病院/特定医療法人雄博会 千住病院/医療法人わかば会徳町浜野病院/医療法人交省会 福田外科医院/医療法人是心会 久保内科医院
二次救急医療機関	平戸市	国民健康保険 平戸市民病院/医療法人青洲会 青洲会病院/平戸市立 生月病院/医療法人医理会 楠添病院
	松浦市	独立行政法人地域医療機能推進機構 松浦中央病院
	川棚町	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター
	小値賀町	小値賀町国民健康保険診療所
	新上五島町	長崎県上五島病院
	伊万里市	医療法人 いび整形外科/小副川医院/医療法人光仁会 西田病院/泌尿器科 いまりクリニック/医療法人幸善会 前田病院/医療法人朋友会 山口病院/社会医療法人謙仁会 山元記念病院
有田町	伊万里有田共立病院	
初期救急医療体制 (休日夜間急患センター)	佐世保市	佐世保市立急病診療所
	伊万里市	伊万里休日・夜間急患医療センター
地域周産期母子医療センター	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
災害拠点病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター/独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院/地方独立行政法人 北松中央病院
	新上五島町	長崎県上五島病院
	有田町	伊万里有田共立病院
長崎DMAT指定病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター/独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院/地方独立行政法人 北松中央病院
	川棚町	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター
	新上五島町	長崎県上五島病院
がん診療連携拠点病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
高次脳卒中センター	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
地域脳卒中センター	佐世保市	独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院/社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
認知症疾患医療センター	佐世保市	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
	新上五島町	長崎県上五島病院
	伊万里市	医療法人博友会 堀田病院

(出典)厚生労働省「令和2年度医療施設調査」、「令和2年長崎県医療統計」、「令和2年佐賀県医療施設調査・病院報告」、「令和2年国勢調査」、「長崎県の救急医療体制」、「佐賀県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」、「第7次佐賀県保健医療計画」

## (2) 高等教育機関(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校)

圏域における高等教育機関は14施設であり、学生総数（専修学校を除く）は約5,800名となっています。

〔図表14-1 圏域の高等教育機関〕

分類	所在地	名称	学部・学科	学生数	備考			
大学	公立	佐世保市	長崎県立大学佐世保校	経営学部 経営学科	602	令和5年 5月1日 現在		
				国際経営学科	235			
				公共政策学科	505			
	私立	佐世保市	長崎国際大学	地域創造学部 実践経済学科	543	令和4年 5月1日 現在		
				人間社会学部 国際観光学科	892			
				社会福祉学科	245			
	国立	有田町	佐賀大学	健康管理学部 健康栄養学科	289	令和4年 5月1日 現在		
				薬学部 薬学科	687			
				芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科※	489			
短期大学	私立	佐世保市	長崎短期大学	—	地域共生学科 保育学科 専攻科	246 164 9	419	令和4年 5月1日 現在
高等 専門学校	国立	佐世保市	佐世保工業高等専門学校	—	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科 物質工学科 専攻科	219 213 211 208 48	899	令和4年 5月1日 現在
専修学校	【佐世保市】佐世保市看護専門学校／佐世保市医師会看護専門学校／九州文化学院歯科衛生士学院／こころ医療福祉専門学校佐世保校／九州文化学園調理師専門学校／佐世保市美容専門学校／専門学校させぼ公務員オプビジネス／専門学校公務員ゼミナール佐世保校 【伊万里市】伊万里看護学校			9校	長崎県 佐賀県 HP			

※有田セラミック分野以外の学生(圏域外)も含む  
(出典)「各大学等HP」、「長崎県・佐賀県HP」

## (3) 研究機関

圏域内には農業・水産業に関する試験研究機関が多く立地しています。

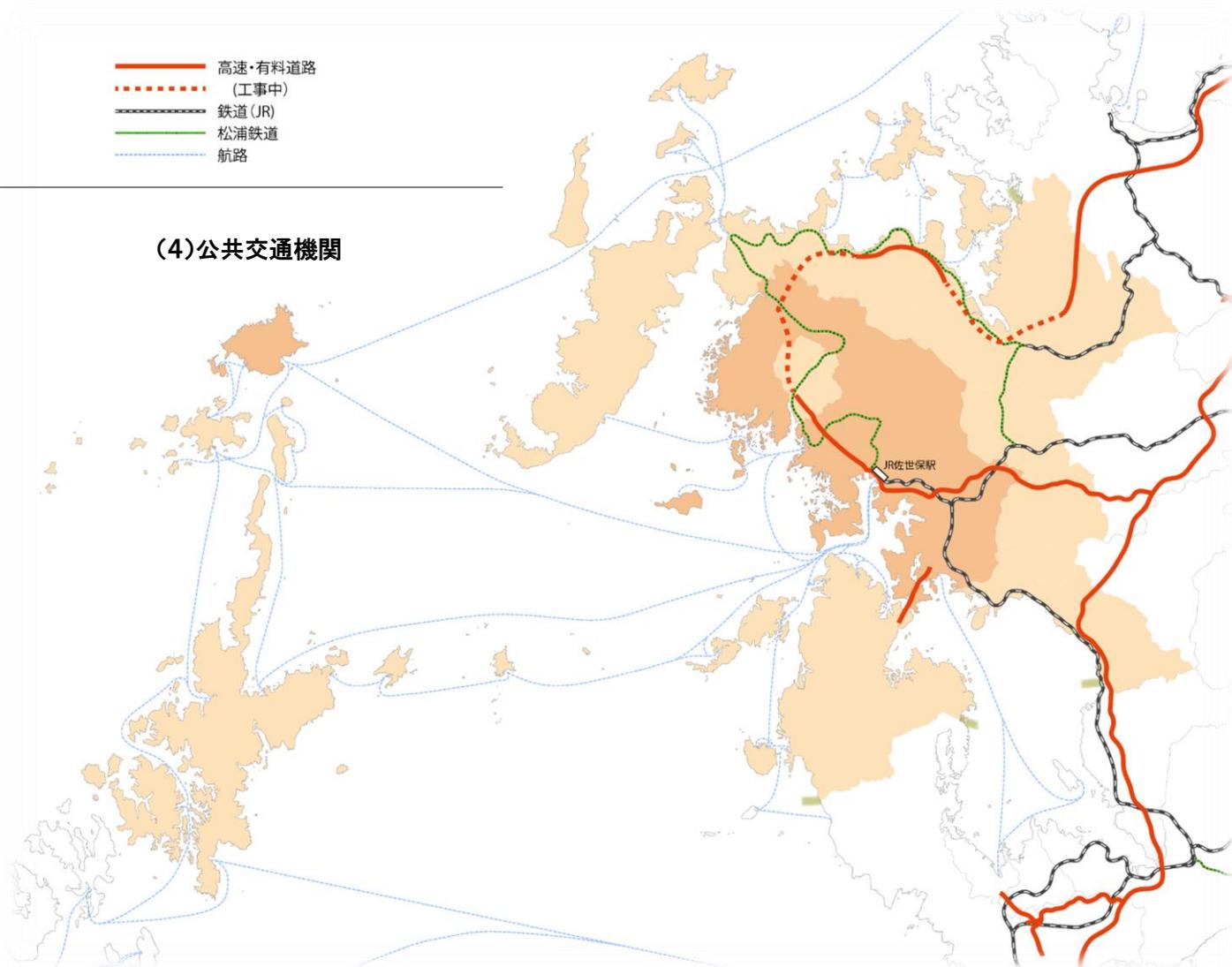
〔図表15-1 圏域の試験研究機関数〕

分類	所在地	施設名
水産	佐世保市	長崎県栽培漁業センター(県)
		佐世保市水産センター
		佐世保市宇久栽培漁業センター
	小値賀町	小値賀町アワビ種苗センター、小値賀町あわび館(水産加工室)
農業	新上五島町	新上五島町アワビ中間育成施設
	佐世保市	佐世保市食肉衛生検査所
	平戸市	長崎県肉用牛改良センター(県)
	西海市	西海市江島農産加工センター
		西海市西彼農村環境改善センター
	川棚町	長崎県川棚食肉衛生検査所(県)
	東彼杵町	長崎県農林技術開発センター茶業研究室(県)
	小値賀町	小値賀町担い手公社／小値賀町農産加工施設
新上五島町	新上五島町家畜診療所	
窯業	波佐見町	長崎県窯業技術センター(県)
	有田町	佐賀県窯業技術センター(県)
		佐賀大学肥前セラミック研究センター
環境	西海市	西海市炭化センター
	伊万里市	佐賀大学海洋エネルギー研究所

(出典)自治体HP等

- 高速・有料道路
- - - - (工事中)
- 鉄道(JR)
- 松浦鉄道
- - - - 航路

#### (4)公共交通機関



##### ①主な公共交通機関

種類	事業者名
バス	【佐世保市】西肥自動車(株)、させぼバス(株)、宇久観光バス(株) 【平戸市】西肥自動車(株)、生月自動車(有)、さつき観光(株)、平戸市コミュニティバス 【松浦市】西肥自動車(株)、(有)松浦観光バス、鷹島タクシー、昭和自動車(株) 【西海市】さいかい交通(株) 【東彼杵町】東彼杵町町営バス、JR九州バス(株) 【川棚町】西肥自動車(株) 【波佐見町】西肥自動車(株) 【小値賀町】小値賀交通(株) 【佐々町】西肥自動車(株) 【新上五島町】西肥自動車(株) 【伊万里市】西肥自動車(株)、昭和自動車(株)、いまりんバス、(有)肥前観光 【有田町】西肥自動車(株)、有田町コミュニティバス
鉄道	九州旅客鉄道(JR)、松浦鉄道(MR)

※佐世保市内において、させぼバス(株)が西肥自動車(株)の一部路線の受託運行を行っている。  
(出典)各事業者HP等

##### ②主な公共交通機関利用者数

公共交通機関	利用者数	出典年度
JR(佐世保駅のみ)	約949,000人	令和3年度
MR(松浦鉄道全体)	1,871,608人	令和3年度
西肥バス	約11,434,000人	令和3年度

(出典)長崎県統計年鑑(運輸)、佐世保市運輸統計、JR九州HP

## ③航路

構成市町間航路	運航主体	1日便数
佐世保 ～ 上五島航路	九州商船株式会社	16
友住 ～ 佐世保航路	崎戸商船株式会社	2
佐世保 ～ 大島・池島航路	西海沿岸商船株式会社	25
佐世保 ～ 横瀬・川内航路	瀬川汽船株式会社	22
津吉 ～ 相浦 ～ 佐世保航路	津吉商船株式会社	6
佐世保(神浦・寺島) ～ 柳航路	佐世保市	12

(出典)各運航主体HP等

## (5)主な工業団地

	工業団地名
佐世保市	ウエストテクノ佐世保、佐世保相浦工業団地、佐世保テクノパーク、佐世保ニューテクノパーク、吉井町御橋工業団地
平戸市	平戸市工業団地
松浦市	松浦市東部工業団地、堂山工業団地、平野工業団地
西海市	パールテクノ西海
波佐見町	波佐見テクノパーク、波佐見町営工業団地
東彼杵町	東そのぎグリーンテクノパーク、赤木工業団地
伊万里市	伊万里団地、久原工業団地、里工業団地、七ツ島工業団地、長浜工業団地、伊万里東部工業団地
有田町	有田工業団地、有田町南部工業団地、南原工業団地、前原工業団地

(出典)自治体HP等

## (6)道の駅

	駅名	路線名
佐世保市	させぼつくす99	国道497号
平戸市	生月大橋 昆虫の里たびら	主要地方道平戸生月線、国道204号
松浦市	松浦海のふるさと館、鷹ら島	国道204号、県道鷹島肥前線
西海市	西海みかんだーム	主要地方道西彼太田和港線
東彼杵町	彼杵の荘	国道205号
伊万里市	伊万里ふるさと村	国道202号

(出典)国土交通省道路局(休憩・情報発信・地域連携機能)

## (7)地域資源

### ①主な地域資源

分野	地域資源
自然	<p>【佐世保市】西海国立公園九十九島、弓張岳、烏帽子岳、虚空蔵岳</p> <p>【平戸市】川内峠、塩俵の断崖、中瀬草原、大賀断崖</p> <p>【松浦市】土谷棚田、イロハ島、椿の群生林、龍王の滝、玄海国立公園</p> <p>【西海市】セツ釜鍾乳洞、つがね落としの滝、虚空蔵山</p> <p>【佐々町】古川岳遊歩道(石仏巡り)・展望台</p> <p>【川棚町】川棚町大崎自然公園、虚空蔵山、日向の棚田</p> <p>【波佐見町】鬼木棚田</p> <p>【東彼杵町】多良岳県立自然公園、集団茶園</p> <p>【小値賀町】赤浜海岸、ポットホール、野崎島ワイルドパーク、姫の松原</p> <p>【新上五島町】西海国立公園(若松瀬戸)、蛤浜・高井旅海水浴場、奈良尾のあこう樹</p> <p>【伊万里市】伊万里湾カブトガニ繁殖地、東山代の明星桜、玄海国立公園</p> <p>【有田町】岳の棚田、竜門峡</p>
歴史文化	<p>【佐世保市】黒島の集落、黒島天主堂、福井洞窟、泉福寺洞窟ほか洞窟遺跡等、針尾送信所ほか近代化遺産群、平戸八景、五島神楽(宇久)</p> <p>【平戸市】春日集落、安満岳、中江ノ島、田平天主堂、平戸のジャンガラ、平戸神楽</p> <p>【松浦市】鷹島神崎遺跡、松浦党梶谷城跡</p> <p>【西海市】中浦ジュリアン記念公園、音浴博物館、ホゲツ石鍋製作遺跡</p> <p>【佐々町】市の瀬窯跡、狸山支石墓群</p> <p>【川棚町】片島魚雷発射試験場跡、特攻殉国の碑、木場浮立・百津浮立</p> <p>【波佐見町】畑ノ原窯跡・中尾上登窯跡・智恵治窯跡、皿山人形浄瑠璃</p> <p>【東彼杵町】千綿人形浄瑠璃、坂本浮立、ひさご塚古墳</p> <p>【小値賀町】旧野首教会、沖ノ神嶋神社神官屋敷</p> <p>【新上五島町】頭ヶ島の集落、崎浦の五島石集落と北魚目の文化的景観、青砂ヶ浦天主堂、五島神楽(上五島・有川)</p> <p>【伊万里市】伊万里トンテントン祭り、脇野の大念仏、府招の浮立、大川内鍋島窯跡</p> <p>【有田町】有田内山重要伝統的建造物群保存地区、泉山磁石場跡、有田大イチョウ、天狗谷窯跡、旧田代家西洋館(有田異人館)</p>
観光	<p>【佐世保市】ハウステンボス、九十九島パールシーリゾート、九十九島動植物園、山暖簾、九十九島観光公園</p> <p>【平戸市】平戸城、根獅子海水浴場、生月サンセットウェイ</p> <p>【松浦市】ほんなもん体験、九州オルレ松浦・福島コース、不老山総合公園、鷹島モンゴル村</p> <p>【西海市】長崎バイオパーク、伊佐ノ浦公園、北緯33度線展望台</p> <p>【佐々町】皿山公園(窯体験施設)</p> <p>【川棚町】大崎くじゃく園、大崎海水浴場、川棚大崎温泉しおさいの湯</p> <p>【波佐見町】陶芸の館、西の原、波佐見温泉、陶芸の里中尾山</p> <p>【東彼杵町】千綿溪谷、JR千綿駅、龍頭泉いこいの広場、歴史公園彼杵の荘</p> <p>【小値賀町】あわび館、野崎島ビジターセンター、野崎島自然学塾村</p> <p>【新上五島町】龍観山公園、鯨見山展望所、矢堅目公園、龍馬ゆかりの広場</p> <p>【伊万里市】伊万里鍋島焼会館、伊万里・有田焼伝統産業会館、伊万里温泉白磁乃湯</p> <p>【有田町】有田ポーセリンパーク</p>
伝統工芸	<p>【佐世保市】三川内焼、佐世保独楽</p> <p>【波佐見町】波佐見焼</p> <p>【小値賀町】小値賀焼</p> <p>【伊万里市】伊万里・鍋島焼</p> <p>【有田町】有田焼</p>

分野	地域資源
特産物	【佐世保市】世知原茶、九十九島かき、九十九島いりこ、九十九島とらふぐ、西海みかん、長崎和牛
	【平戸市】あご、ひらめ、ウチワエビ、いか、菌床しいたけ(平戸ロマン)、アスパラガス、平戸夏香、かまぼこ、カスドース、平戸牛
	【松浦市】アジ、サバ、トラフグ、松浦アールスメロン、松浦キンショーメロン、御厨ぶどう、アジフライ、いりこ、青島かまぼこ、松浦本まぐろ、福島くるまえび
	【西海市】ゆでぼし大根、あらかぶ、うず潮カキ、糸べす蛸、西海ポーク、みかん、大島トマト
	【佐々町】いちご、お茶、シロウオ
	【川棚町】小串トマト、長崎和牛、川棚なまこ、ひなた米/棚田米
	【東彼杵町】そのぎ茶、いちご、アスパラガス、みかん、くじら、なまこ
	【小値賀町】値賀咲/長崎イサキ、実えんどう、落花生
	【新上五島町】五島手延うどん、椿油、かんころもち、焼酎、海塩、あご
	【伊万里市】伊万里牛、伊万里梨・ぶどう、車エビ
【有田町】キンカン、アスパラガス、棚田米、酒、焼酎	

(出典) 自治体HP等

## ②主な文化施設等(図書館は別掲)

	施設名	利用者数(人)	
		平成30年度	令和4年度
佐世保市	アルカスSASEBO	493,118	346,921
	市民文化ホール	49,779	23,710
	木場浮立資料館兼伝習研修所	237	96
	福井洞窟ミュージアム(R3開館)	—	14,039
	博物館島瀬美術センター	106,961	69,377
	海上自衛隊佐世保史料館(セイルタワー)	62,383	32,918
	浦頭引揚記念資料館	9,102	5,879
	うつわ歴史館	3,745	2,661
	小佐々郷土館	395	R3閉館
	世知原炭鉱資料館	609	1,064
	宇久島資料館	217	124
	少年科学館	58,354	40,647
	江迎地区文化会館インフィニタス	15,468	11,823
三川内焼伝産業会館	16,875	13,389	
平戸市	松浦史料博物館	26,103 (暦年)	21,195
	平戸市生月町博物館・島の館	19,517 (暦年)	9,710
	平戸オランダ商館	31,259 (暦年)	26,723
	切支丹資料館	4,010 (暦年)	3,186
松浦市	松浦市立福島歴史民俗資料館	364	203
	松浦市立埋蔵文化財センター	3,542	5,216
西海市	西海市崎戸歴史民俗資料館	3,540	2,517
川棚町	川棚町郷土資料館	472	0
波佐見町	農民具資料館	1,000	1,000
東彼杵町	東彼杵町歴史民俗資料館	9,157	6,144
小値賀町	小値賀町歴史民俗資料館	1,490	1,340
新上五島町	石油備蓄記念会館	80,265	70,949
	鯨賓館ミュージアム・ホール	15,688	11,712

(出典) 各自自治体へ照会

	施設名	利用者数(人)	
		平成30年度	令和4年度
伊万里市	伊万里市歴史民俗資料館	2,345	1,686
	伊万里市陶器商家資料館	2,721	2,363
	伊万里・鍋島ギャラリー	3,055	6,452
	伊万里市海のシルクロード館	3,460	2,907
	伊万里・有田焼伝統産業会館	57,456	30,611
有田町	有田町歴史民俗資料館	4,200	2,531
	有田焼参考館	4,200	2,531
	有田陶磁美術館	5,319	3,201
	旧田代家西洋館(有田異人館)	4,031	3,491
	炎の博記念堂	66,350	38,448
	佐賀県立九州陶磁文化館	50,474	34,542

(出典)各自治体へ照会

### ③図書館

	公立図書館数	公民館 図書室等数	蔵書数(冊)	年間貸出(冊)
佐世保市	1	27	609,815	899,172
平戸市	2	4	256,032	235,737
松浦市	2	6	171,709	111,321
西海市	2	3	205,474	109,271
佐々町	1	0	116,618	144,570
川棚町	0	1	19,800	20,065
波佐見町	1	0	46,337	19,417
東彼杵町	0	1	27,583	10,302
小値賀町	1	0	61,542	16,925
新上五島町	5	0	178,152	139,596
伊万里市	1	5	391,396	351,646
有田町	2	0	78,742	67,881

※佐賀県内自治体の蔵書数及び年間貸出は、公民館図書室等の冊数は含まない。

(出典)長崎県内自治体は「令和4年度長崎県立長崎図書館要覧」  
佐賀県内自治体は「佐賀県統計年鑑(令和3年版)」、各市町HP

## 【附属資料】

### KPI の解説

## KPI の解説

項目	解説
役割/施策/連携事業名	① KPI・社会指標名
	② 設定理由
	③ 指標算出の数式
<b>【役割】</b>	
【役割1】 圏域全体の 経済成長のけん引	① 圏域内総生産額
	② 生産額の向上が、経済、産業活性化の指標となる
	③ 長崎県・佐賀県「市町民経済計算」の“市町内総生産”総額の構成市町の合計
【役割2】 高次の都市機能の 集積・強化	① 公示地価
	② 都市および周辺地域の土地売買に関する指標であり、ニーズ(魅力)や利便性等で変化する地価が指標となる
	③ 構成市町の「商業地」の最高額の平均
【役割3】 圏域全体の 生活関連機能サービスの向上	① 圏域人口の社会動態
	② 圏域の人口滞留状態を確認するため
	③ 圏域の年間転入者数－圏域の年間転出者数
<b>【施策】</b>	
【施策1-①】 産学金官民一体となった経済 戦略の策定、国の成長戦略の ための体制整備	① 全施策の KPI 達成率
	② ビジョンの進捗管理及びその取組内容の見直しを行うため。
	③ 本施策を除く施策の KPI 達成数／本施策を除く施策の KPI 設定数
【施策1-②】 産業クラスターの形成、イノベ ーション実現、新規創業促進、 地域の中堅企業等を核とした 戦略産業の育成	① 利益を上げた企業の割合
	② 利益を上げた企業が増えることで圏域の経済が活性化するため。
	③ 関係市町法人市町民税法人税割納税企業数／関係市町法人市町民税納税企業数
【施策1-③】 地域資源を活用した地域経済 の裾野拡大	① 農水産物総生産額
	② 経済成長に寄与し、農水産物の販路拡大等により生産者の所得向上に繋がるため。
	③ 長崎県・佐賀県「市町民経済計算」の“農水産物生産額”の構成市町の合計
【施策1-④】 戦略的な観光施策	① 観光消費額
	② 観光関連産業の生産額向上が地域経済活性化に繋がるため。
	③ 構成市町観光統計による数値の合計
【施策1-⑤】 その他、圏域全体の経済成長 のけん引に係る施策	① 大学生・高校生の地元就職率
	② 生産年齢人口を維持・増加させることが地場企業の活性化、ひいては圏域の経済活性化につながるため。
	③ 圏域内大学生・高校生の就職者数／圏域内大学生・高校生就職者数
【施策2-①】 高度な中心拠点の整備・広域 的公共交通網の構築	① 佐世保駅(JR・MR)利用者数
	② 都市機能としてのアクセス機能の充実度を測定するもの。また、都市機能としての施設(屋内遊び場、観光公園等)の充実により、利用者数が増加するもの。
	③ 佐世保駅利用者数の合計(JR・MR)

項目	解説
【施策2-②】 その他、都市機能の集積・強化に係る施策	① 圏域滞在人口率
	② 圏域の都市機能の魅力向上等による域外からの人の流入状態を確認するため(平日:買い物客、通勤・通学者等 休日:観光客等)
	③ 指定時間(4時・10時・14時・20時)に圏域に2時間以上滞在していた人数/圏域人口
【施策3-①】 生活機能の強化に係る政策分野	① 圏域の20～29歳の社会動態
	② 子育て・生活環境の充実による、主に若年(子育て世帯)層流出抑制の割合を測定するもの。 ※1期人口流出の要因
	③ 圏域全体の20代の社会増減 算出式:圏域の年間転入者数－圏域の年間転出者数
【施策3-②】 結びつきやネットワークに係る政策分野	① 移住者数
	② 移住者数の増加により、新たな住民交流や結びつきの強化につながるため。
	③ 構成市町の移住者数合計
【施策3-③】 圏域マネジメント 能力の強化に係る政策分野	① 各研修等参加者の評価(満足度)
	② 職員の資質が向上することで、住民の満足度が高まるため。
	③ 対象事業の受講者アンケートによる満足度の平均

## 【連携事業】

## 【役割1】 圏域全体の経済成長のけん引

## 【施策1-①】 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略のための体制整備

西九州させば広域都市圏 ビジョン懇談会等運営	① 全施策のKPI達成率
	② ビジョンの進捗管理及びその取組内容の見直しを行うため。
	③ 施策1-①を除く施策のKPI達成数/施策1-①を除く施策のKPI設定数

## 【施策1-②】 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

創業支援の連携	① 新規創業者数(各市町で国による認定を受けた創業支援事業計画に定める年間目標数)
	② 新規創業の増加により、圏域内の経済成長に正の影響を与えるものと考えられるため。
	③ 関係市町の新規創業者数の累積数

## 【施策1-③】 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

農水産物等特産品 販路拡大	① 西九州食財ネットワークの会員の満足度
	② 生産者(会員)の満足度が高まることで、生産者の所得向上につながり、経済成長に寄与するもの。
	③ 西九州食財ネットワーク会員へのアンケート調査結果
共同物産展の開催	① 共同物産展での売上額
	② 販売額を向上させることにより購入者数の増加による認知度上昇にもつながるため。
	③ 共同物産展期間中での全体の総売上の金額

## 【施策1-④】 戦略的な観光施策

広域連携による 周遊観光の推進	① 圏域における観光客数
	② 観光客の周遊により圏域内の経済成長につながるため。
	③ 圏域における日帰り観光客数及び宿泊観光客数の合計

項目	解説
<b>【施策1-⑤】 その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策</b>	
自治体新電力を活用したGX事業の構築	① 本事業を通じて組成した事業費・民間投資額
	② CN推進にとどまらず、経済成長等に係る効果測定として設定したもの。
	③ 本事業を通じて組成した事業費・民間投資額の累積額
圏域内企業の認知度向上	① 参加者に対するアンケート調査結果(認知度件数割合)
	② 事業実施による企業の認知度が増加した件数の割合が増加することにより、若者の地元定着に繋がるため。
	③ 参加者に対するアンケート(※参加企業名を認知されたか)結果
<b>【役割2】 高次の都市機能の集積・強化</b>	
<b>【施策2-①】 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築</b>	
高度な交流拠点整備の検討	① —
	② —
	③ —
佐世保市・佐々町 地域公共交通活性化	① 地域公共交通計画の達成率
	② 公共交通の利便性向上及び持続可能な公共交通ネットワークの確立のために必要な取組を「地域公共交通計画」として位置付けるため、計画の達成率をもって成果を測るもの。
	③ 完了した取組項目数／計画に記載した取組項目数
<b>【施策2-②】 その他、都市機能の集積・強化に係る施策</b>	
世界遺産の保全活用	① 構成資産への来訪者数
	② 圏域の魅力向上
	③ 関係市町の世界遺産構成資産見学者数の合計
伊万里港ポートセールスの推進	① 伊万里港のコンテナ貨物取扱量(実入)
	② 船社や荷主に積極的にポートセールスを行い、伊万里港のコンテナ取扱量の拡大を図る必要があるため。
	③ 伊万里港のコンテナ取扱量(実入) (〇〇TEU/暦年)
海洋エネルギーの推進	① 海洋エネルギー研究所への圏域内住民の年間見学者数
	② 再生可能エネルギーに関する関心や理解が進む
	③ 海洋エネルギー研究所への圏域内住民の年間見学者数
アルベルゴ・ディフーズ (分散型ホテル)推進	① 分散型ホテルの供用開始数
	② 広域観光周遊における高付加価値観光を実現するため
	③ 分散型ホテルの供用を開始した数
佐世保中央公園の 利用促進	① 中央公園の来園者数
	② 賑わいを測る指標の1つとして利用状況を設定するもの
	③ 特定公園施設(駐車場を除く)利用者及び公募対象公園施設利用者の合計

項目	解説
<b>【役割3】 圏域全体の生活関連機能サービスの向上</b>	
<b>【施策3-①】 生活機能の強化に係る政策分野</b>	
地域医療の確保に関する取組	① 関係市町内の救急搬送者に占める軽症者の割合
	② 後期高齢者の増加に伴い、今後も救急搬送の増加が推測される中、不要不急な救急搬送(軽症者の割合)の減少は、関係市町内住民に地域医療体制を守る意識が醸成された指標となるため。
	③ 関係市町内の救急搬送者数に占める軽症者の割合(低い方が良い)
在宅医療・介護連携推進	① 関係市町において訪問診療を受けた(延べ)患者数
	② 訪問診療等を受けた患者数(レセプト件数)の増加は、在宅医療と介護を一体的に提供できているという指標となるため。
	③ R4年度実績と人口推計から試算した第2期ビジョン期間中の各年の訪問診療患者数(レセプト件数)と、実際に訪問診療を受けた患者数との比較(多い方が良い)
障がい福祉サービスの充実	① 研修参加者の研修内容理解度
	② 障がい福祉サービス事業所職員が障がい者への理解を深めることにより、より適切で質の高いサービスの提供が可能となるため。
	③ 研修参加者のアンケート結果
療育機能の改善	① 関係専門職の事業内メニューに対する実効感評価
	② 療育は医療・福祉・教育の複合的なサービス提供により成り立つもので、定量的な住民便益の計測は難しいことから、中間的受益者である参加専門職の実効感評価を計測するもの
	③ 5段階評価で業務に活かせる内容であったかどうかを各メニュー実施後に参加専門職に問い、各メニューの平均点を算出し、その平均点の平均値を算出する。
病児・病後児保育室の利用に関する連携	① 関係市町内病児・病後児保育施設の利用人数に占める相互利用者の割合
	② 連携事業の実施による関係市町内病児・病後児保育施設の相互利用者数への影響を図るため
	③ 関係市町内病児・病後児保育施設の相互利用人数/関係市町内病児・病後児保育施設の全利用人数
幼児教育センターのサービス提供	① 研修会・講演会内容の活用意向率
	② 研修会等の内容が、乳幼児教育・保育の質の向上等に有意義なもので今後の活用に繋がるものか把握するため
	③ 研修会等受講後アンケートにおいて活用意向がある人数/研修会等の受講人数
ファミリー・サポート・センターの充実	① 提供会員の新規登録者数
	② 提供会員の新規登録者数が増加することによる地域の子育て支援体制の充実
	③ 提供会員の新規登録者数合計
図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)	① 図書館の貸出利用者数
	② 圏域の貸出利用者数の増加を目指し設定
	③ 関係市町の貸出利用者数の合計
図書館相互利用サービス	① 図書館の貸出利用者数
	② 圏域の貸出利用者数の増加を目指し設定
	③ 関係市町の貸出利用者数の合計
少年科学館事業・理科学習支援	① 関係市町の魅力の周知度
	② 事業目的と直結している目標であるため
	③ 事業対象者のアンケート結果

項目	解 説
<b>【施策3-①】 生活機能の強化に係る政策分野</b>	
サテライトあすなろ教室運営 (学校適応指導教室)	① 対応児童生徒数 ② 教育政策の課題解決に直結する指標であるため ③ 関係市町の対応児童生徒数の合計
中心市文化芸術プログラムの 広域連携	① 各文化芸術プログラムに参加した市町数 ② 文化芸術に触れた圏域住民の広がりを把握できるため ③ 各文化芸術プログラム(しまび特別展、芸術鑑賞体験教室等)に参加した市町数の年度合計 ※R5:計11市町(しまび特別展9、芸術鑑賞2)
スポーツ施設相互利用検討	① — ② — ③ —
栽培漁業の広域連携	① 計画種苗に対する供給率 ② 計画的な種苗生産により種苗供給量の安定化につながり、地域振興に寄与する影響が大きいため。 ③ 種苗供給数量/関係市町からの要望数量
赤潮監視装置設置	① 赤潮による漁業被害の件数 ② 赤潮の発生をリアルタイムで監視することで漁業被害を最小限にできるため ③ 赤潮による漁業被害件数合計
災害時における 相互応援体制の確立	① 関係市町における支援実行率 ② 応援の実行率として数値化 ③ (支援実行市町数/非被災市町数)×100(%)
防災行政に関する情報の共有 及び職員の資質向上	① 研修参加職員の理解度 ② 研修を受講し、防災行政に関する理解が進むことにより、職員の資質向上が図られるため。 ③ (アンケートによる「災害対応業務に有効」回答者/研修参加者)×100(%)
圏域内のエコライフ推進 (「させぼエコラボ」環境啓発 ツールの広域展開)	① 環境啓発ツールを活用した講座やイベント等の参加者数 ② 本市が有する環境啓発ツールを共有し活用する事業であることから、提供ツールを活用した講座等への参加人数をKPIとして設定。 ③ 啓発ツールを活用した講座等への参加者数
ごみの広域処理に関する研究	① — ② — ③ —
<b>【施策3-②】 結びつきやネットワークに係る政策分野</b>	
広域圏サポーターの拡大	① 関係市町の移住者数 ② 移住を促進することで、圏域内の社会経済の維持・発展を目的とする ③ 関係市町の移住者数の合計
移住・定住連携窓口の 広域圏活用	① 関係市町の移住者数 ② 移住を促進することで、圏域内の社会経済の維持・発展を目的とする ③ 関係市町の移住者数の合計

項目	解説
<b>【施策3-②】 結びつきやネットワークに係る政策分野</b>	
離島地域の移住・観光における広域連携の研究	① 関東圏での移住相談件数
	② 3島連携でのスケールメリットを活かした独自イベントを(交流会、相談会)を実施する。当該イベントへの参加人数を KPI として設定。
	③ 関係市町の関東圏での年間移住相談件数合計
<b>【施策3-③】 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野</b>	
男女共同参画啓発	① セミナー等参加者数
	② セミナー等を受講し、関心や理解が進むことにより、男女共同参画社会の推進が図られるため
	③ セミナー等参加者数の合計
人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成	① 人事交流の実施率
	② 交流職員の能力向上によりマネジメント能力の強化につながるため。
	③ 人事交流を実施した関係市町の割合
教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)	① 受講者の研修目標達成率
	② 研修目的と直結している目標であるため
	③ 受講者のアンケート結果
公民連携プラットフォームの形成	① プラットフォームへの参加者数
	② 多数の職員や民間事業者が参加することにより、PPP/PFI の理解、導入案件の検討や案件への参画が進む
	③ 当該年度のプラットフォームに参加した関係市町職員数、民間事業者数の合計

令和6年3月発行

発行：佐世保市

編集：佐世保市企画部政策経営課

〒857-8585 佐世保市八幡町1-10

TEL：0956-24-1111 Fax：0956-25-9676

